

令和3年度 介護予防効果測定調査 報告書



令和4年7月



福岡県介護保険広域連合

<目次>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の種類と位置づけ	3
II. 事業対象者等調査	5
1. 調査の概要	7
(1) 調査設計	7
(2) 分析の視点	8
(3) 分析対象者数	8
2. 調査終了・中断者の状況	9
(1) 調査終了・中断の理由	9
(2) 調査終了・中断者が介護給付対象者になった原因	10
(3) 調査終了・中断者が入院した場合の病名等	10
(4) 調査終了・中断を本人が希望した理由	11
3. 客観的効果の状況	12
(1) 状態像・リスク項目の変化の状況	13
(2) 生活機能の変化の状況（基本チェックリスト25項目）	15
4. 主観的効果の状況	21
(1) サービス満足度・効果に対する評価の状況	21
(2) サービス利用による生活態様の変化の状況	25
(3) サービスと生活態様の変化の関連分析（コレスポネンス分析）	27
5. 客観的効果・主観的効果の関連分析	28
6. 客観的効果に関する状態像分析	30
(1) 客観的効果と基本属性の関係	30
(2) 客観的効果と生活状況の関係	32
(3) 客観的効果とサービス利用状況の関係	38
7. 支部別の主要指標の状況	42
(1) 要介護・要支援認定者の支部別状況	42
(2) 事業対象者の支部別状況	46
8. 介護予防に資する住民主体の「通いの場」への参加について	50
(1) 「通いの場」への参加状況	50
9. 将来の介護について	52
(1) 要介護状態になった場合の家族介護者	52
(2) 家族介護者の就労について	53
III. 介護予防・日常生活支援総合事業に関する構成市町村調査	55
1. 調査の概要	57
(1) 調査設計	57
2. 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況	57
(1) 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況	57
(2) 訪問型サービス（第1号訪問事業）	59
(3) 通所型サービス（第1号通所事業）	59
(4) その他の生活支援サービス（第1号生活支援事業）	60
3. 一般介護予防事業の実施状況	63
(1) 一般介護予防事業の実施状況	63
(2) 介護予防普及啓発事業	65
(3) 地域介護予防活動支援事業	69
(4) 地域リハビリテーション活動支援事業	73

IV. まとめ	75
1. 事業対象者等調査	77
2. 介護予防・日常生活支援総合事業に関する構成市町村調査	79
V. 参考資料	81
1. 用語解説	83
2. 使用調査票	84
(1) 事業対象者等調査票	84
(2) 介護予防・日常生活支援総合事業に関する構成市町村調査票.....	100

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、第8期介護保険事業計画の進捗管理・評価検証作業の一環として、予防給付及び介護予防事業（総合事業）に係る調査を実施し、介護予防効果の分析を行うものです。

2. 調査の種類と位置づけ

本調査では、以下の2種類の調査を実施しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小した場合、又は中止された場合についても、本報告書には区別なく掲載していません。

調査種別	事業対象者等調査 (事業対象者・要支援認定者 介護予防効果測定調査)	構成市町村調査 (介護予防・日常生活支援総合事業に 関する構成市町村調査)
調査目的	令和3年度における 予防給付・介護予防事業利用者の心身状態 の改善状況やサービス利用に対する満足 度・評価等の把握	令和3年度における 介護予防・日常生活支援総合事業（介護予 防・生活支援サービス、一般介護予防事業） の実施状況の把握
調査対象	・要介護認定者（※） ・要支援認定者（予防給付利用者） ・事業対象者（介護予防事業利用者）	構成市町村
調査対象数	・要介護認定者：5人 （うち分析対象者数：1人） ・要支援認定者：1,592人 （うち分析対象者数：1,447人） ・事業対象者：393人 （うち分析対象者数：317人）	33市町村

（※）地域とのつながりを継続する観点から事業の見直しが図られ、令和3年度から、市町村の判断により、要介護認定を受ける前から予防給付及び介護予防事業を継続的に利用していた方が要介護認定者となった場合についても、事業を継続して利用できるようになったため、新たに調査対象としました。

II. 事業対象者等調査

1. 調査の概要

(1) 調査設計

事業対象者等調査の調査目的・方法・対象等は以下のとおりです。
調査は、要介護・要支援認定者、事業対象者に対する2回の追跡調査を実施しました。

調査目的	事業対象者・要支援認定者を追跡調査し、総合事業及び予防給付について、利用者の心身状態の改善状況(客観的な効果)、並びに利用者の生活態様の変化に対する評価、及びサービス満足度(主観的な効果)を把握する。
調査方法	● 地域包括支援センター単位で実施(センター職員による聞き取り)
調査対象と調査方法	<p>▶▶ 要介護・要支援認定者</p> <ul style="list-style-type: none">・年度内に総合事業・予防給付を利用する要介護・要支援認定者で、追跡が可能と思われる者。・対象者を11月に特定し、2回の追跡調査を実施。・調査時期:11・2月 <p>▶▶ 事業対象者</p> <ul style="list-style-type: none">・年度内に総合事業を利用する者で、追跡が可能と思われる者。・調査時期は、各地域の事業実施時期に合わせて任意に設定し、事業実施前後に調査を実施(2回)。
調査数 (標本数)	構成市町村ごとに ● 要介護・要支援認定者 50人程度(男女半数ずつ) ● 事業対象者 50人程度(男女半数ずつ)

(2) 分析の視点

本調査では、予防給付及び介護予防事業の『効果』を、要介護度や心身状態等の改善によるもの（客観的効果）と、利用者の満足度や効果に対する評価、サービスを受けてどのように生活が改善したか（生活様の変化）という利用者の意識によるもの（主観的効果）の2つの指標で把握するとともに、両指標間の関連性の検証、並びに客観的効果がみられた利用者の属性及び生活状況等の分析を行いました。

《分析の視点》

- ①利用者の要介護度や心身状態の改善状況（客観的効果）の把握
- ②利用者の生活様の変化に対する評価やサービス満足度（主観的効果）の把握
- ③「客観的効果」「主観的効果」の関連性の把握
- ④要介護度の改善等の客観的効果がでている利用者の基本属性、生活状況及びサービス利用状況の把握

(3) 分析対象者数

本調査においては、初回・2回調査の追跡調査が実施できた以下の人数を対象に、分析を行いました。

《分析対象者数》

調査区分	分析対象者数
要介護認定者	1人
要支援認定者	1,447人
事業対象者	317人

《支部別分析対象者数》

(人)

	構成市町村数	要介護認定者			要支援認定者			事業対象者			合計
		男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
粕屋支部	6	0	1	1	56	174	230	1	27	28	259
遠賀支部	4	0	0	0	68	121	189	19	50	69	258
鞍手支部	3	0	0	0	44	82	126	2	5	7	133
朝倉支部	2	0	0	0	20	43	63	1	0	1	64
うきは・大刀洗支部	2	0	0	0	20	65	85	9	26	35	120
柳川・大木・広川支部	3	0	0	0	33	110	143	2	20	22	165
田川・桂川支部	9	0	0	0	123	288	411	9	40	49	460
豊築支部	4	0	0	0	50	150	200	26	80	106	306
計	33	0	1	1	414	1,033	1,447	69	248	317	1,765

2. 調査終了・中断者の状況

初回調査実施後、第2回調査時点で調査を終了・中断した者（終了・中断理由に回答があった者）の状況は以下のとおりです。

(1) 調査終了・中断の理由

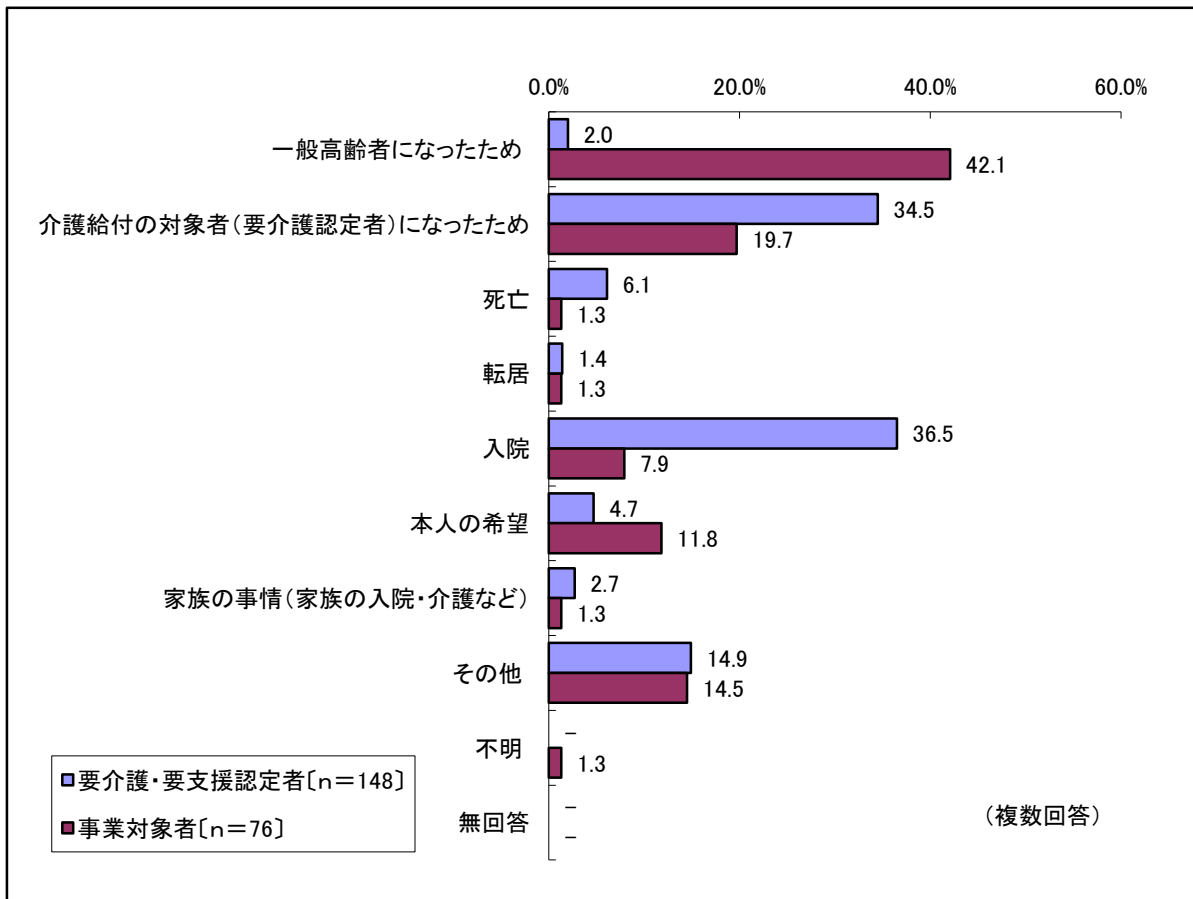
《要介護・要支援認定者》

- 第2回調査時点で終了・中断した者は148人で、初回調査回答者（1,596人）の9.3%にあたります。
- 終了・中断理由は、「入院」（36.5%）、「介護給付の対象者になったため」（34.5%）等の状態の悪化による理由が上位を占めています。

《事業対象者》

- 第2回調査時点で終了・中断した者は76人で、初回調査回答者（393人）の19.3%にあたります。
- 終了・中断理由は、「一般高齢者になったため」（42.1%）が最も多く、状態の改善によるものとなっています。

図表－1 調査終了・中断の理由（要介護・要支援認定者、事業対象者）



(2) 調査終了・中断者が介護給付対象者になった原因

《要介護・要支援認定者》

- 介護給付の対象者（要介護認定者）になったために終了・中断した人（51人）の原因では、「既往症の悪化」（45.1%）が最も多くなっています。また、「既往症の悪化」の具体的内容としては「認知症」（11件）が多くあがっています。

《事業対象者》

- 事業対象者では該当者は15人であり、その原因では「転倒などの事故」（33.3%）、「既往症の悪化」（26.7%）が多くなっています。

図表－2 調査終了・中断者が介護給付対象者になった原因（要介護・要支援認定者、事業対象者）

（上段：人、下段：％）

区分	調査数	悪既往症の	新たな疾患の	転倒などの	廃用症候群	その他	不明	無回答
要介護・要支援認定者	51 100.0	23 45.1	11 21.6	12 23.5	9 17.6	4 7.8	1 2.0	0 -
事業対象者	15 100.0	4 26.7	1 6.7	5 33.3	3 20.0	2 13.3	1 6.7	0 -

(3) 調査終了・中断者が入院した場合の病名等

《要介護・要支援認定者》

- 入院のために終了・中断した人（54人）の病名等は、「骨折・転倒」（42.6%）が4割強を占めて多くなっています。

《事業対象者》

- 事業対象者では該当者は6人であり、「骨折・転倒」が多くなっています。

図表－3 調査終了・中断者が入院した場合の病名等（要介護・要支援認定者、事業対象者）

（上段：人、下段：％）

区分	調査数	脳血管疾患（脳出血、脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	腫呼吸器疾患（肺炎等）	関節疾患（リウマチ等）	認知症	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
要介護・要支援認定者	54 100.0	5 9.3	5 9.3	3 5.6	5 9.3	5 9.3	1 1.9	0 -	2 3.7	0 -	23 42.6	1 1.9	10 18.5	0 -	0 -
事業対象者	6 100.0	0 -	1 16.7	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 16.7	3 50.0	1 16.7	1 16.7	0 -	0 -

(4) 調査終了・中断を本人が希望した理由

《要介護・要支援認定者》

- 本人の希望で終了・中断した人は7人であり、その理由では「その他」で「新型コロナウイルスのため」(3件)が多くなっています。

《事業対象者》

- 事業対象者では該当者は9人であり、その理由では「その他」で「新型コロナウイルスのため」(2件)が多くなっています。

図表－4 調査終了・中断を本人が希望した理由（要介護・要支援認定者、事業対象者）

(上段：人、下段：%)

区分	調査数	身体的な改善	身体的な悪化	な プ 提 た ロ 供 め グ さ め ラ れ め ム る 不 内 サ 満 容 ビ ス 不 ス 、	員 サ との ー 関 ビ 係 ン の ン 提 ン 供 ン す ン る ン 職 ン	た 通 た う め こ が ン 困 ン 難 ン と ン な ン つ ン	他 の 利 用 者 と の 関 係	そ の 他	不 明	無 回 答
要介護・ 要支援認定者	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 -	0 -	1 14.3	3 42.9	0 -	0 -
事業対象者	9 100.0	1 11.1	1 11.1	0 -	0 -	1 11.1	0 -	7 77.8	1 11.1	0 -

3. 客観的効果の状況

- 『客観的効果』（要介護度や心身状態等の改善状況）については、基本チェックリストや要介護度を指標として把握を行いました。
- 初回・2回調査間での状態像の変化を以下の区分で整理しています。
- 基本チェックリストに基づくリスク項目該当状況では、「改善」＋「リスクなし維持」層を事業の効果があつた層と位置づけて分析を行っています。

<客観的効果における改善・維持・悪化区分>

■要介護認定者の要介護度

		最終調査					
		要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援等
初回調査	要介護5	維持	改善	改善	改善	改善	改善
	要介護4	悪化	維持	改善	改善	改善	改善
	要介護3	悪化	悪化	維持	改善	改善	改善
	要介護2	悪化	悪化	悪化	維持	改善	改善
	要介護1	悪化	悪化	悪化	悪化	維持	改善
	要支援等	悪化	悪化	悪化	悪化	悪化	

■要支援認定者の要介護度

		最終調査		
		要介護	要支援2	要支援1
初回調査	要介護		改善	改善
	要支援2	悪化	維持	改善
	要支援1	悪化	悪化	維持

■基本チェックリストに基づくリスク項目該当状況

		最終調査	
		該当 (リスクあり)	非該当 (リスクなし)
初回調査	該当 (リスクあり)	リスクあり継続	改善
	非該当 (リスクなし)	悪化	リスクなし維持

<基本チェックリストに基づくリスク項目の整理>

- 全 般リスク：項目1-20のうち10項目以上に該当
- 運 動リスク：項目6-10のうち3項目以上に該当
- 栄 養リスク：項目11・12の両方に該当
- 口 腔リスク：項目13-15のうち2項目以上に該当
- 閉じこもりリスク：項目16に該当
- 認 知 症リスク：項目18-20のうち1項目以上に該当
- う つリスク：項目21-25のうち2項目以上に該当

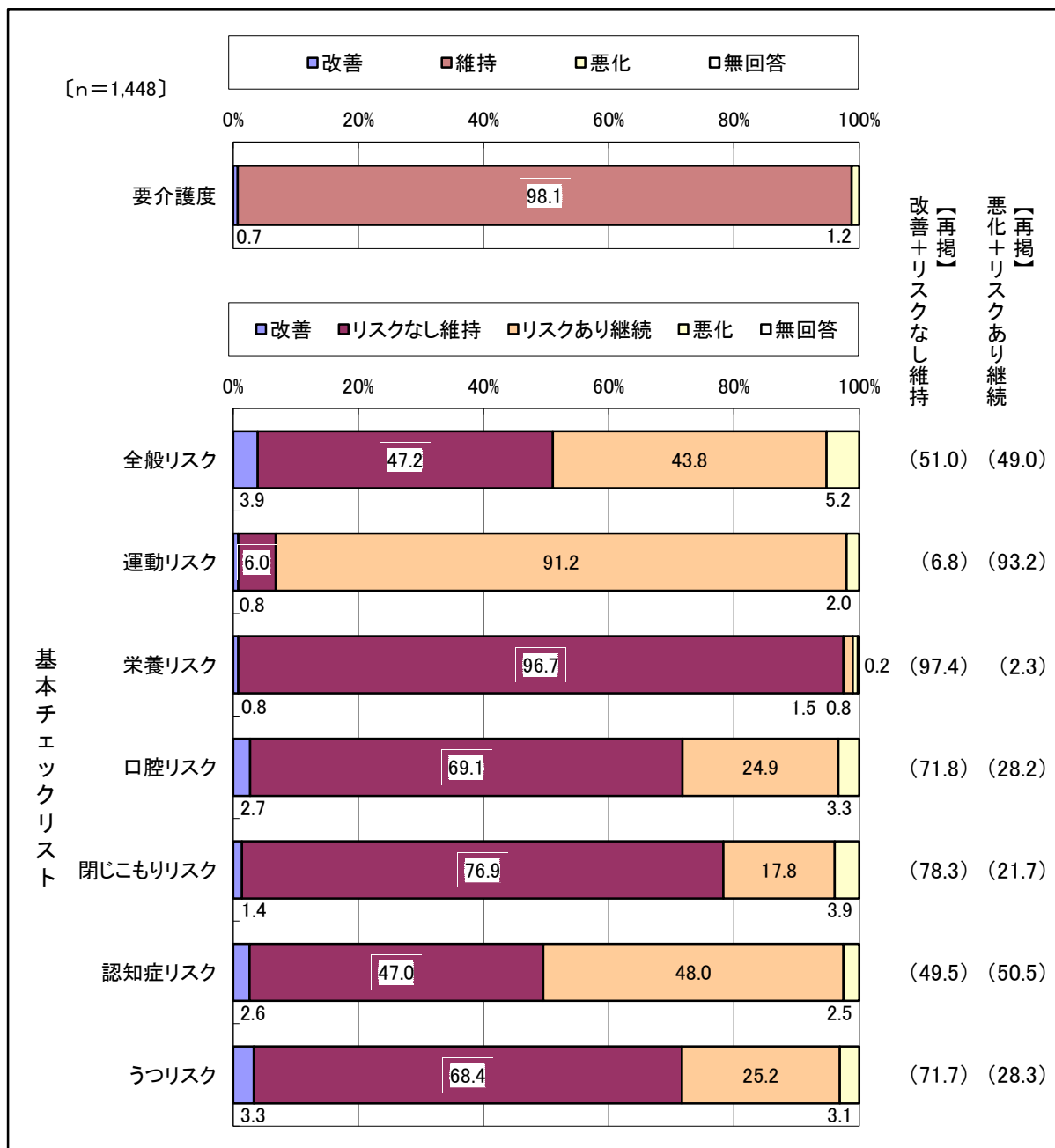
全般～口腔リスクのいずれかに該当
⇒事業対象者候補者

(1) 状態像・リスク項目の変化の状況

《要介護・要支援認定者》

- 要介護度の変化の状況は、要介護度が変わらない維持層が98.1%を占めて最も多く、次いで、要介護度が上がる悪化層（1.2%）、要介護度が下がる改善層（0.7%）となっています。
- 基本チェックリスト25項目に基づく7つのリスク項目ごとの変化の状況をみると、リスクなし維持層の割合は「栄養リスク」（96.7%）が9割以上で高くなっています。
- これに対して、「運動リスク」はリスクあり継続層が91.2%と、運動リスクに該当したままの状態の人が多く、悪化+リスクあり継続層が9割強（93.2%）を占めています。

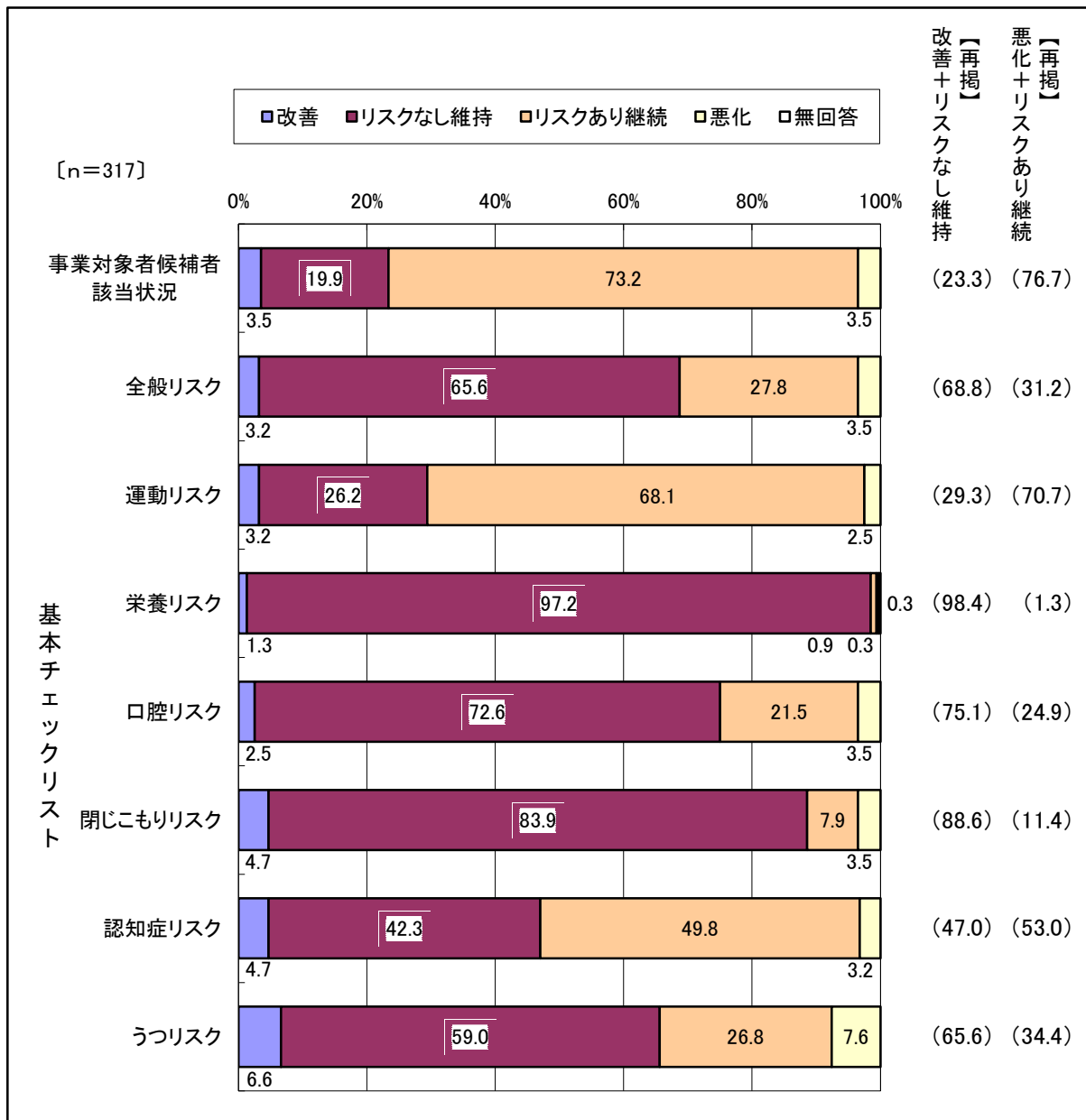
図表－5 状態像・リスク項目の変化の状況（要介護・要支援認定者）【初回→第2回調査】



《事業対象者》

- 事業対象者候補者該当状況（基本チェックリストによる事業対象者該当・非該当判定）の変化をみると、事業対象者候補者に該当した状態のままのリスクあり継続層が73.2%と7割強を占めています。また、改善+リスクなし維持層は23.3%に留まり、悪化+リスクあり継続層は76.7%と8割弱となっています。
- 基本チェックリスト25項目に基づく7つのリスク項目ごとの変化の状況をみると、改善+リスクなし維持層の割合は「栄養リスク」（98.4%）で9割以上と高く、「閉じこもりリスク」（88.6%）で9割弱を占めています。
- 「運動リスク」は、他のリスク項目に比べてリスクあり継続層（68.1%）の割合が高く、悪化+リスクあり継続層が7割（70.7%）を占めています。

図表－6 状態像・リスク項目の変化の状況（事業対象者）【初回→第2回調査】

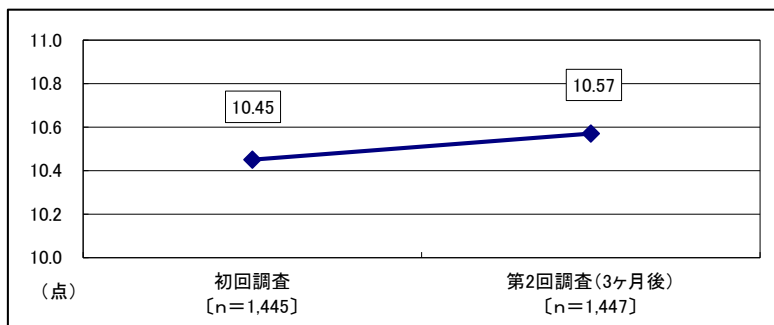


(2) 生活機能の変化の状況（基本チェックリスト25項目）

《要介護・要支援認定者》

- 基本チェックリスト25項目の合計得点¹の平均値は、初回調査（10.45点）と第2回調査（10.57点）で大きな変化はなく、今回の調査においては基本チェックリストに関する生活機能の変化に改善はみられませんでした。
- また、基本チェックリスト25項目別にリスク保有者の割合の変化をみても、初回→第2回調査でリスク保有者の割合に大きな変化はありませんでした。

図表－7 基本チェックリスト合計得点の変化（要介護・要支援認定者）



※合計得点は基本チェックリスト25項目すべてに回答がある者のみで算出

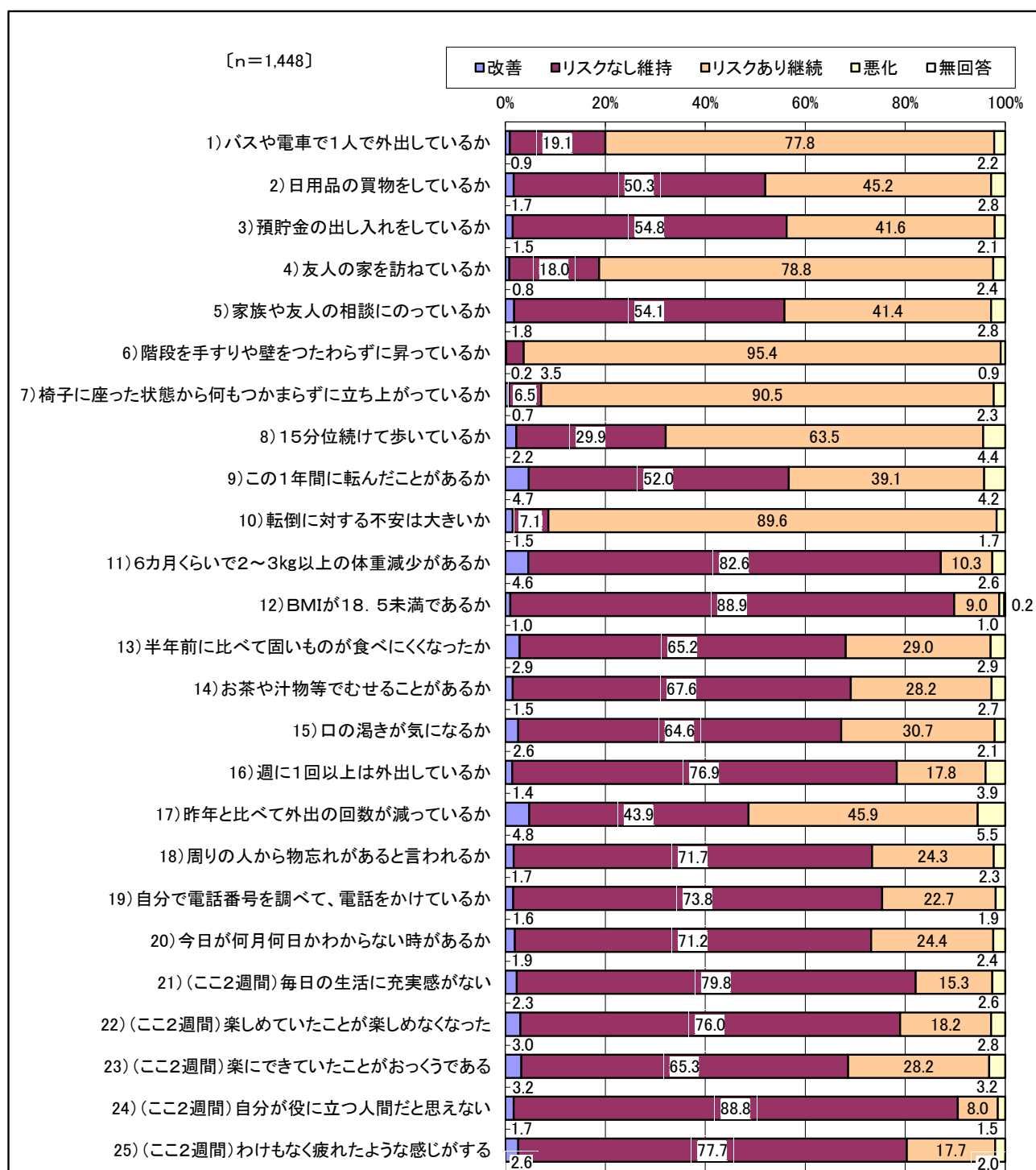
図表－8 基本チェックリスト25項目別 リスク保有者の割合の変化（要介護・要支援認定者）

項目区分	項目番号	質問項目	調査数 (人)	リスク保有者の割合 (%)		
				初回調査	(第3ヶ月調査後)	初回調査から第2回調査までの増減
—	1	バスや電車で1人で外出しているか	1,448	78.7	80.0	1.3
	2	日用品の買物をしているか	1,448	46.9	47.9	1.0
	3	預貯金の出し入れをしているか	1,448	43.1	43.8	0.7
	4	友人の家を訪ねているか	1,448	79.6	81.2	1.6
	5	家族や友人の相談にのっているか	1,448	43.2	44.1	0.9
運動	6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	1,448	95.6	96.3	0.7
	7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	1,448	91.2	92.8	1.6
	8	15分位続けて歩いているか	1,448	65.7	67.9	2.2
	9	この1年間に転んだことがあるか	1,448	43.8	43.3	▲ 0.5
栄養	10	転倒に対する不安は大きい	1,448	91.2	91.4	0.2
	11	6カ月くらいで2～3kg以上の体重減少があるか	1,448	14.8	12.8	▲ 2.0
口腔	12	BMIが18.5未満であるか	1,448	9.9	9.9	0.0
	13	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	1,448	31.9	31.9	0.0
	14	お茶や汁物等でむせることがあるか	1,448	29.7	30.9	1.2
閉じこもり	15	口の渇きが気になるか	1,448	33.3	32.8	▲ 0.5
	16	週に1回以上は外出しているか	1,448	19.2	21.7	2.5
認知症	17	昨年と比べて外出の回数が減っているか	1,448	50.7	51.4	0.7
	18	周りの人から物忘れがあるとと言われるか	1,448	26.0	26.6	0.6
	19	自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	1,448	24.3	24.7	0.4
	20	今日が何月何日かわからない時があるか	1,448	26.4	26.9	0.5
うつ	21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1,448	17.6	17.8	0.2
	22	(ここ2週間) 楽しめていたことが楽しめなくなった	1,448	21.2	21.0	▲ 0.2
	23	(ここ2週間) 楽にできていたことがおっくうである	1,448	31.4	31.4	0.0
	24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1,448	9.7	9.5	▲ 0.2
	25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1,448	20.3	19.7	▲ 0.6

¹ 基本チェックリスト合計得点は、得点が高いほど、生活機能の程度が低く、リスクが高い状態を表す (0≦合計得点≦25)

- 基本チェックリスト25項目ごとの変化状況を整理すると、項目11以降の『栄養』『口腔』『閉じこもり』『認知症』『うつ』分野では全般的にリスクなし維持層の占める割合が高く、項目12「低体重」(88.9%)や項目24「自己有用感」(88.8%)をはじめとした大半の項目でリスクなし維持層が過半数を占めています。
- これに対して、項目10以前の『運動』等の分野では、項目6「階段昇降」(95.4%)や項目7「立ち上がり」(90.5%)、項目10「転倒不安」(89.6%)などをはじめ、全般的にリスクあり継続層の占める割合が高くなっています。

図表－9 基本チェックリスト25項目の変化の状況（要介護・要支援認定者）



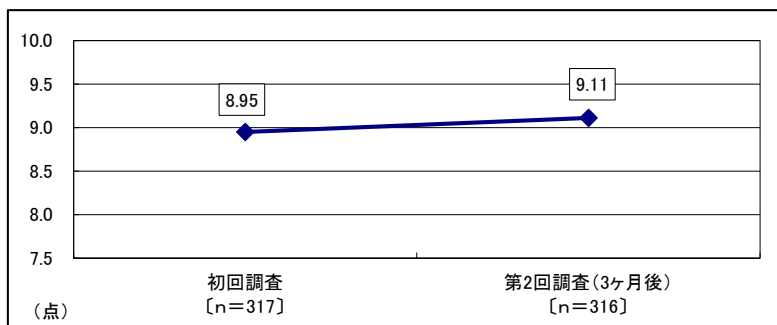
図表－１０ 基本チェックリスト25項目の変化の状況[詳細] (要介護・要支援認定者)

		調査数 (人)	改善	リスク		悪化	改善(再掲)		悪化(再掲)		無回答
				リスクなし維持	リスクあり継続		改善+リスクなし維持	悪化+リスクあり継続			
—	1	バスや電車で1人で外出しているか	1,448	0.9	19.1	77.8	2.2	20.0	80.0	—	
	2	日用品の買物をしているか	1,448	1.7	50.3	45.2	2.8	52.1	47.9	—	
	3	預貯金の出し入れをしているか	1,448	1.5	54.8	41.6	2.1	56.2	43.8	—	
	4	友人の家を訪ねているか	1,448	0.8	18.0	78.8	2.4	18.8	81.2	—	
	5	家族や友人の相談にのっているか	1,448	1.8	54.1	41.4	2.8	55.9	44.1	—	
運動	6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	1,448	0.2	3.5	95.4	0.9	3.7	96.3	—	
	7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	1,448	0.7	6.5	90.5	2.3	7.2	92.8	—	
	8	15分位続けて歩いているか	1,448	2.2	29.9	63.5	4.4	32.1	67.9	—	
	9	この1年間に転んだことがあるか	1,448	4.7	52.0	39.1	4.2	56.7	43.3	—	
	10	転倒に対する不安は大きいのか	1,448	1.5	7.1	89.6	1.7	8.6	91.4	—	
栄養	11	6カ月くらいで2～3kg以上の体重減少があるか	1,448	4.6	82.6	10.3	2.6	87.2	12.8	—	
	12	BMIが18.5未満であるか	1,448	1.0	88.9	9.0	1.0	89.8	9.9	0.2	
口腔	13	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	1,448	2.9	65.2	29.0	2.9	68.1	31.9	—	
	14	お茶や汁物等でむせることがあるか	1,448	1.5	67.6	28.2	2.7	69.1	30.9	—	
	15	口の渇きが気になるか	1,448	2.6	64.6	30.7	2.1	67.2	32.8	—	
閉じこもり	16	週に1回以上は外出しているか	1,448	1.4	76.9	17.8	3.9	78.3	21.7	—	
	17	昨年と比べて外出の回数が減っているか	1,448	4.8	43.9	45.9	5.5	48.6	51.4	—	
認知症	18	周りの人から物忘れがあると言われるか	1,448	1.7	71.7	24.3	2.3	73.4	26.6	—	
	19	自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	1,448	1.6	73.8	22.7	1.9	75.3	24.7	—	
	20	今日が何月何日かわからない時があるか	1,448	1.9	71.2	24.4	2.4	73.1	26.9	—	
うつ	21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1,448	2.3	79.8	15.3	2.6	82.2	17.8	—	
	22	(ここ2週間) 楽しめていたことが楽しめなくなった	1,448	3.0	76.0	18.2	2.8	79.0	21.0	—	
	23	(ここ2週間) 楽にできていたことがおっくうである	1,448	3.2	65.3	28.2	3.2	68.6	31.4	—	
	24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1,448	1.7	88.8	8.0	1.5	90.5	9.5	—	
	25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1,448	2.6	77.7	17.7	2.0	80.3	19.7	—	

《事業対象者》

- 基本チェックリスト25項目の合計得点の平均値は、初回調査(8.95点)と第2回調査(9.11点)に大きな変化はありませんでした。
- また、基本チェックリスト25項目別にリスク保有者の割合の変化をみると、初回→第2回調査でリスク保有者の割合は、項目17「外出回数減」、項目25「疲労感」で3.5ポイント増加しています。

図表－11 基本チェックリスト合計得点の変化（事業対象者）



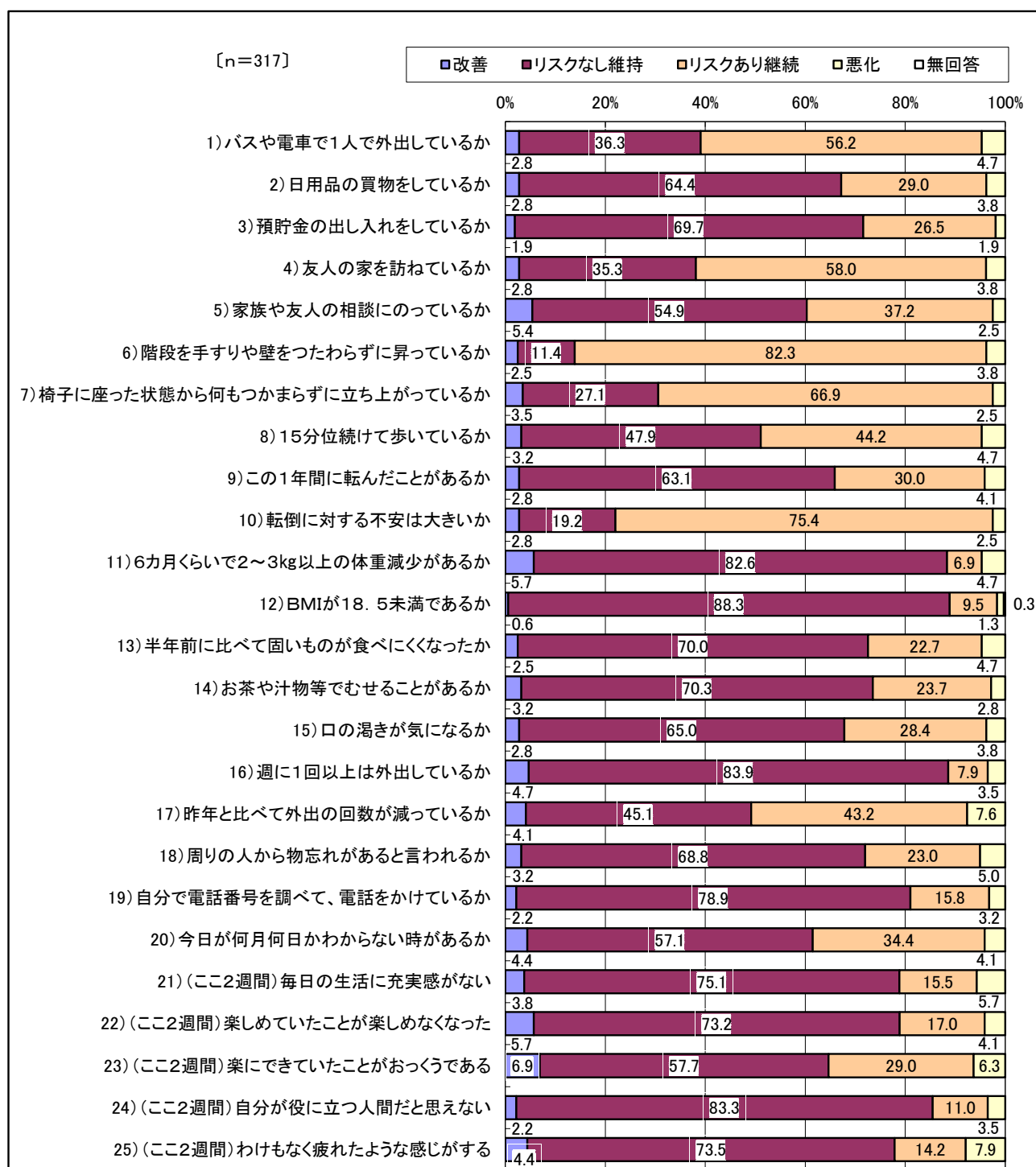
※合計得点は基本チェックリスト25項目すべてに回答がある者のみで算出

図表－12 基本チェックリスト25項目別 リスク保有者の割合の変化（事業対象者）

項目区分	項目番号	質問項目	調査数(人)	リスク保有者の割合(%)		
				初回調査	(第3ヶ月調査)	回減初回 ↓ 回 ↓ 回 ↑ 初増
—	1	バスや電車で1人で外出しているか	317	59.0	60.9	1.9
	2	日用品の買物をしているか	317	31.9	32.8	0.9
	3	預貯金の出し入れをしているか	317	28.4	28.4	0.0
	4	友人の家を訪ねているか	317	60.9	61.8	0.9
	5	家族や友人の相談にのっているか	317	42.6	39.7	▲ 2.9
運動	6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	317	84.9	86.1	1.2
	7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	317	70.3	69.4	▲ 0.9
	8	15分位続けて歩いているか	317	47.3	48.9	1.6
	9	この1年間に転んだことがあるか	317	32.8	34.1	1.3
	10	転倒に対する不安は大きい	317	78.2	77.9	▲ 0.3
栄養	11	6カ月くらいで2～3kg以上の体重減少があるか	317	12.6	11.7	▲ 0.9
	12	BMIが18.5未満であるか	317	10.4	10.7	0.3
口腔	13	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	317	25.2	27.4	2.2
	14	お茶や汁物等でむせることがあるか	317	26.8	26.5	▲ 0.3
	15	口の渇きが気になるか	317	31.2	32.2	1.0
閉じこもり	16	週に1回以上は外出しているか	317	12.6	11.4	▲ 1.2
	17	昨年と比べて外出の回数が減っているか	317	47.3	50.8	3.5
認知症	18	周りの人から物忘れがあると云われるか	317	26.2	28.1	1.9
	19	自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	317	18.0	18.9	0.9
	20	今日が何月何日かわからない時があるか	317	38.8	38.5	▲ 0.3
うつ	21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	317	19.2	21.1	1.9
	22	(ここ2週間) 楽しめていたことが楽しめなくなった	317	22.7	21.1	▲ 1.6
	23	(ここ2週間) 楽にできていたことがおっくうである	317	36.0	35.3	▲ 0.7
	24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	317	13.2	14.5	1.3
	25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	317	18.6	22.1	3.5

- 基本チェックリスト25項目ごとの変化状況を整理すると、『運動』分野等の一部の項目を除き、全般的にリスクなし維持層の占める割合が高く、項目12「低体重」(88.3%)や項目11「体重減少」(82.6%)、項目24「自己有用感」(83.3%)、項目16「外出頻度」(83.9%)をはじめ、多くの項目でリスクなし維持層が過半数を占めています。
- これに対して、項目6-10の『運動』分野において、項目6「階段昇降」(82.3%)や項目10「転倒不安」(75.4%)ではリスクあり継続層の占める割合が高く、8割前後を占めています。

図表－13 基本チェックリスト25項目の変化の状況（事業対象者）



図表－１４ 基本チェックリスト25項目の変化の状況[詳細]（事業対象者）

		調査数（人）	改善	リスクなし維持	リスクあり継続	悪化	改善〔「再掲」〕 ＋リスクなし維持	悪化〔「再掲」〕 ＋リスクあり継続	無回答	
										(%)
－	1	バスや電車で1人で外出しているか	317	2.8	36.3	56.2	4.7	39.1	60.9	－
	2	日用品の買物をしているか	317	2.8	64.4	29.0	3.8	67.2	32.8	－
	3	預貯金の出し入れをしているか	317	1.9	69.7	26.5	1.9	71.6	28.4	－
	4	友人の家を訪ねているか	317	2.8	35.3	58.0	3.8	38.2	61.8	－
	5	家族や友人の相談にのっているか	317	5.4	54.9	37.2	2.5	60.3	39.7	－
運動	6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	317	2.5	11.4	82.3	3.8	13.9	86.1	－
	7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	317	3.5	27.1	66.9	2.5	30.6	69.4	－
	8	15分位続けて歩いているか	317	3.2	47.9	44.2	4.7	51.1	48.9	－
	9	この1年間に転んだことがあるか	317	2.8	63.1	30.0	4.1	65.9	34.1	－
	10	転倒に対する不安は大きいのか	317	2.8	19.2	75.4	2.5	22.1	77.9	－
栄養	11	6カ月くらいで2～3kg以上の体重減少があるか	317	5.7	82.6	6.9	4.7	88.3	11.7	－
	12	BMIが18.5未満であるか	317	0.6	88.3	9.5	1.3	89.0	10.7	0.3
口腔	13	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	317	2.5	70.0	22.7	4.7	72.6	27.4	－
	14	お茶や汁物等でむせることがあるか	317	3.2	70.3	23.7	2.8	73.5	26.5	－
	15	口の渇きが気になるか	317	2.8	65.0	28.4	3.8	67.8	32.2	－
閉じこもり	16	週に1回以上は外出しているか	317	4.7	83.9	7.9	3.5	88.6	11.4	－
	17	昨年と比べて外出の回数が減っているか	317	4.1	45.1	43.2	7.6	49.2	50.8	－
認知症	18	周りの人から物忘れがあると言われるか	317	3.2	68.8	23.0	5.0	71.9	28.1	－
	19	自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	317	2.2	78.9	15.8	3.2	81.1	18.9	－
	20	今日が何月何日かわからない時があるか	317	4.4	57.1	34.4	4.1	61.5	38.5	－
うつ	21	（ここ2週間）毎日の生活に充実感がない	317	3.8	75.1	15.5	5.7	78.9	21.1	－
	22	（ここ2週間）楽しめていたことが楽しめなくなった	317	5.7	73.2	17.0	4.1	78.9	21.1	－
	23	（ここ2週間）楽にできていたことがおっくうである	317	6.9	57.7	29.0	6.3	64.7	35.3	－
	24	（ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない	317	2.2	83.3	11.0	3.5	85.5	14.5	－
	25	（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする	317	4.4	73.5	14.2	7.9	77.9	22.1	－

4. 主観的効果の状況

(1) サービス満足度・効果に対する評価の状況

《要支援認定者》

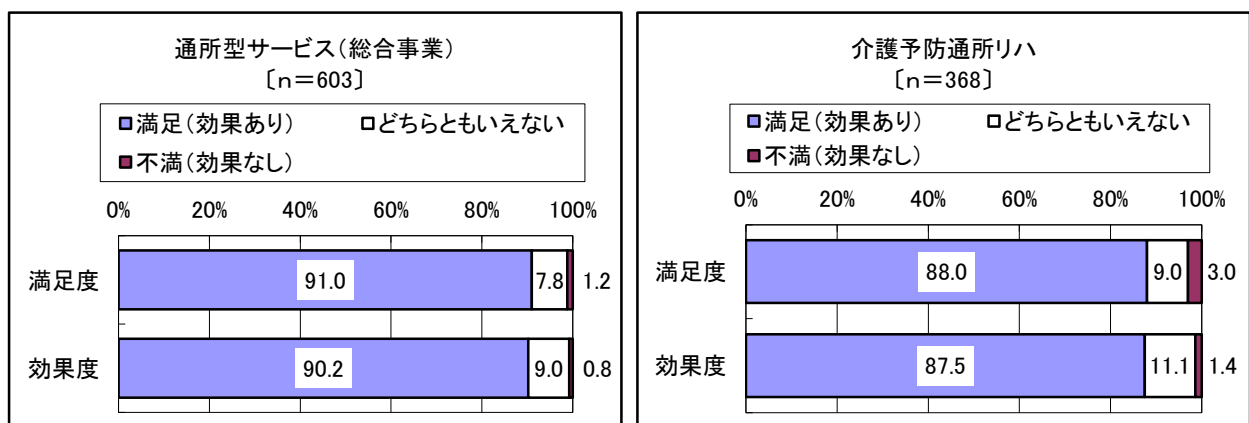
- 予防給付に対する利用者のサービス満足度と効果度は全般的に高く、「総合的に」についての評価は、満足：93.0%、効果あり：92.7%と利用者の9割強が満足しており、効果もあったと評価しています。
- 回答者（利用者）が50人以上のサービスに着目すると、「介護予防福祉用具」や「訪問型サービス（総合事業）」、「通所型サービス（総合事業）」は満足度・効果度ともに特に高く、利用者の9割以上が満足しており、効果もあったと評価しています。
- 満足度・効果度得点の関係を散布図でみると、全サービスが第1群（満足度・効果度ともに高い）に属しています。

図表－15 サービス満足度・効果度²（要支援認定者）【第2回調査】

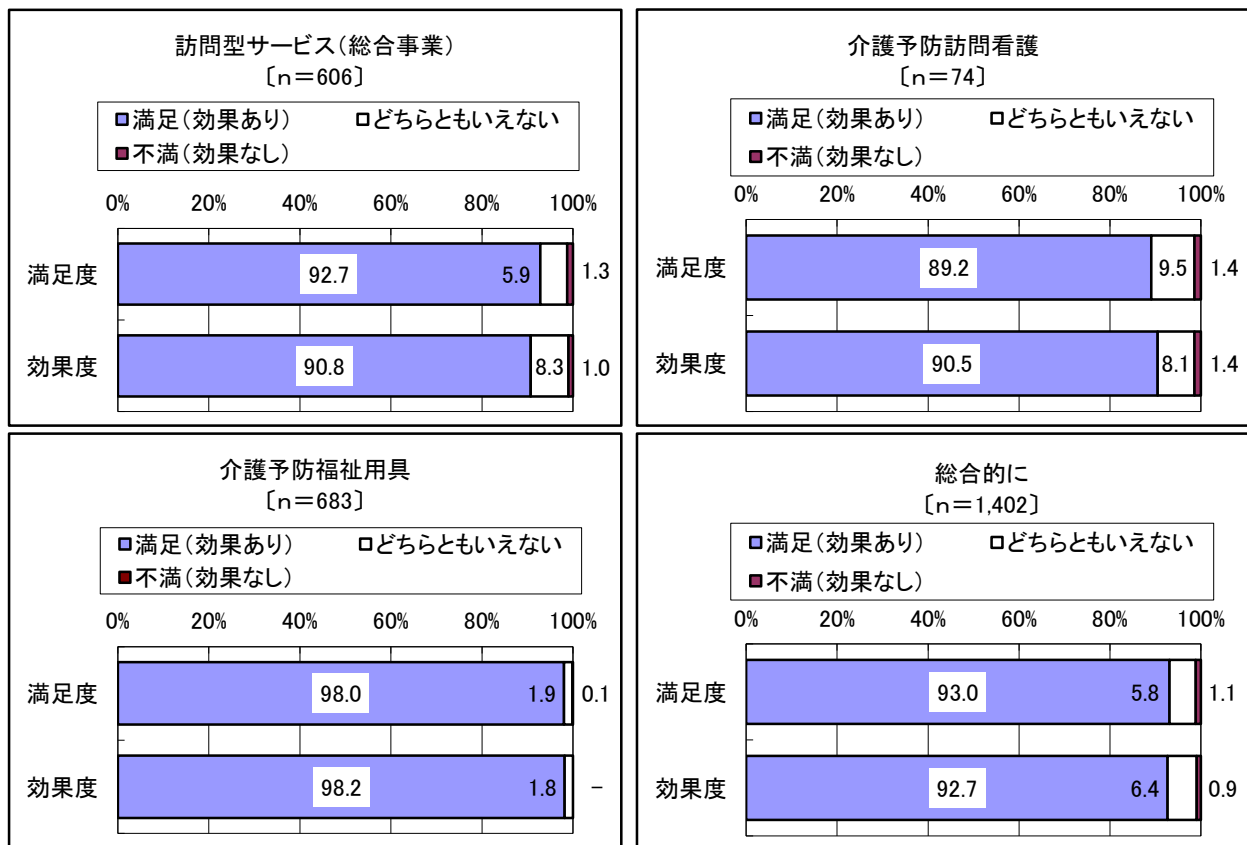
	調査数 (人)	サービス満足度 (%)			(満足度 得点 平均)	サービス効果度 (%)			(効果度 得点 平均)
		満足	い ど ち ら と も い え な い	不 満		効果 あり	い ど ち ら と も い え な い	効果 なし	
通所型サービス（総合事業）	603	91.0	7.8	1.2	3.57	90.2	9.0	0.8	3.44
介護予防通所リハ	368	88.0	9.0	3.0	3.37	87.5	11.1	1.4	3.15
訪問型サービス（総合事業）	606	92.7	5.9	1.3	3.67	90.8	8.3	1.0	3.51
介護予防訪問入浴	1	100.0	-	-	5.00	100.0	-	-	5.00
介護予防訪問看護	74	89.2	9.5	1.4	3.64	90.5	8.1	1.4	3.43
介護予防訪問リハ	43	90.7	9.3	-	3.33	83.7	14.0	2.3	3.51
介護予防福祉用具	683	98.0	1.9	0.1	4.31	98.2	1.8	-	4.27
介護予防短期入所	9	88.9	-	11.1	3.00	100.0	-	-	1.89
介護予防居宅療養管理	21	90.5	9.5	-	3.57	85.7	14.3	-	3.71
介護予防認知症通所介護	1	100.0	-	-	5.00	100.0	-	-	5.00
総合的に	1,402	93.0	5.8	1.1	3.73	92.7	6.4	0.9	3.62

※調査数10人以下の結果は参考程度にとどめる。

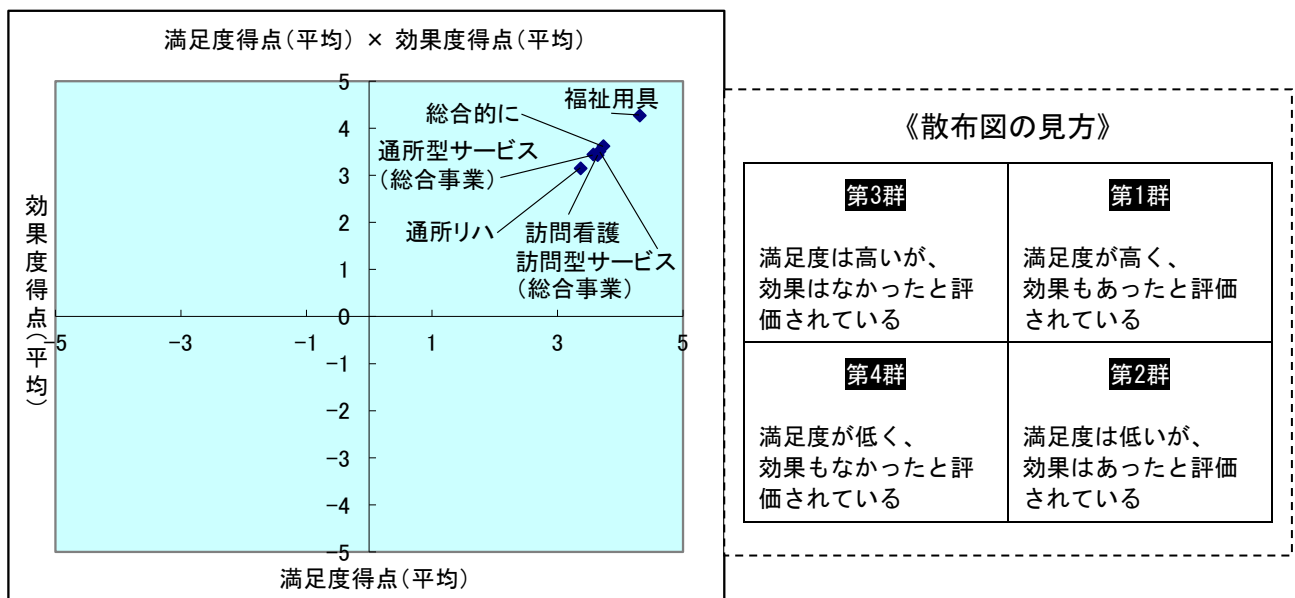
図表－16 主要サービスの満足度・効果度（要支援認定者）【第2回調査】



²満足度・効果度の平均値は、満足（効果があった）＝5点、やや満足（やや効果があった）＝1点、どちらともいえない＝0点、やや不満（あまり効果がなかった）＝-1点、不満（効果がなかった）＝-5点で算出。
（-5≤満足度（効果度）点数≤5）



図表－１７ サービス満足度得点×効果度得点の相関関係（要支援認定者）【第２回調査】



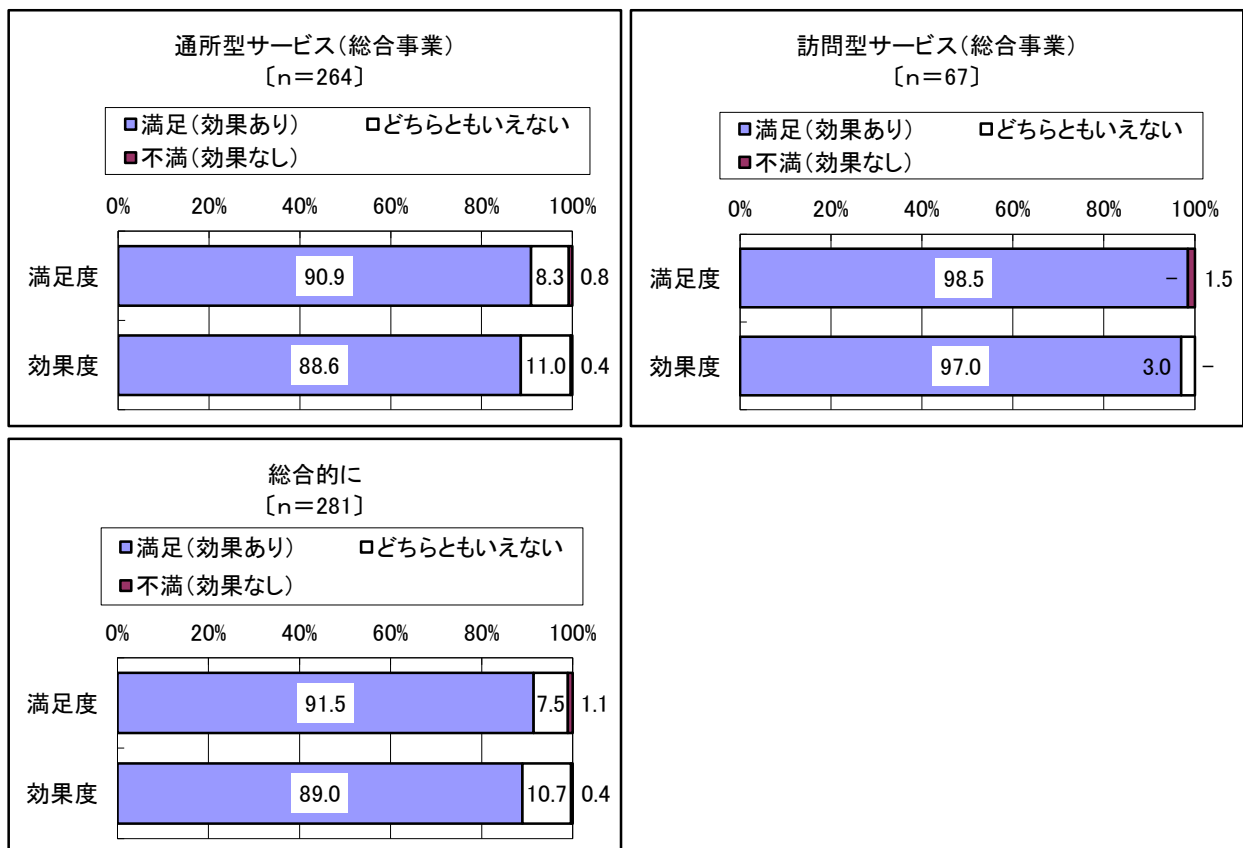
《事業対象者》

- 介護予防事業に対する主観的効果は全般的に高く、「総合的に」についての評価は、満足：91.5%、効果あり：89.0%と利用者の9割が満足しており、効果もあったと評価しています。
- サービス別にみると、「通所型サービス（総合事業）」「訪問型サービス（総合事業）」ともに利用者の9割が満足しており、効果もあったと評価しています。
- 満足度・効果度得点の関係を散布図でみると、予防給付同様、全サービスが第1群（満足度・効果度ともに高い）に属しています。

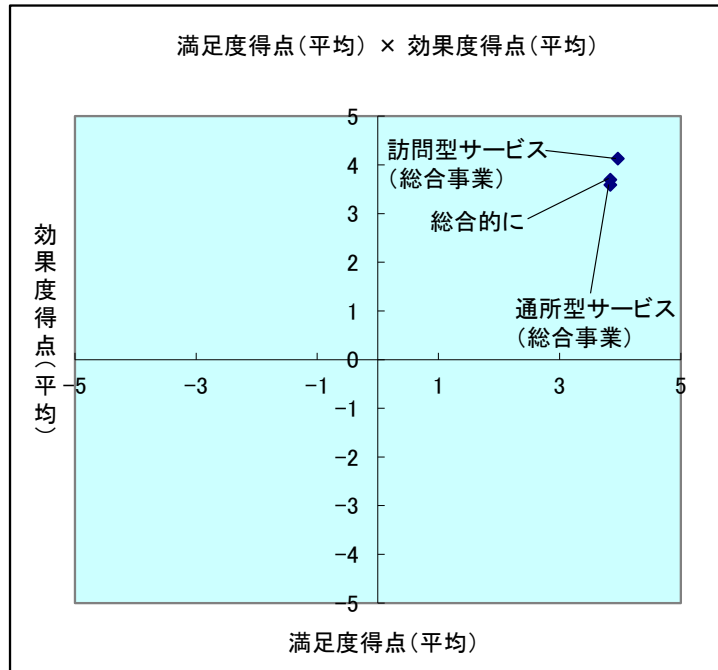
図表－18 サービス満足度・効果度（事業対象者）【第2回調査】

	調査数 (人)	サービス満足度 (%)			満足度 得点 (平均)	サービス効果度 (%)			効果度 得点 (平均)
		満足	どちらとも いえない	不満		効果あり	どちらとも いえない	効果なし	
通所型サービス（総合事業）	264	90.9	8.3	0.8	3.84	88.6	11.0	0.4	3.59
訪問型サービス（総合事業）	67	98.5	-	1.5	3.96	97.0	3.0	-	4.13
総合的に	281	91.5	7.5	1.1	3.84	89.0	10.7	0.4	3.70

図表－19 主要サービスの満足度・効果度（事業対象者）【第2回調査】



図表－２０ サービス満足度得点×効果度得点の相関関係（事業対象者）【第２回調査】



(2) サービス利用による生活態様の変化の状況

《要支援認定者》

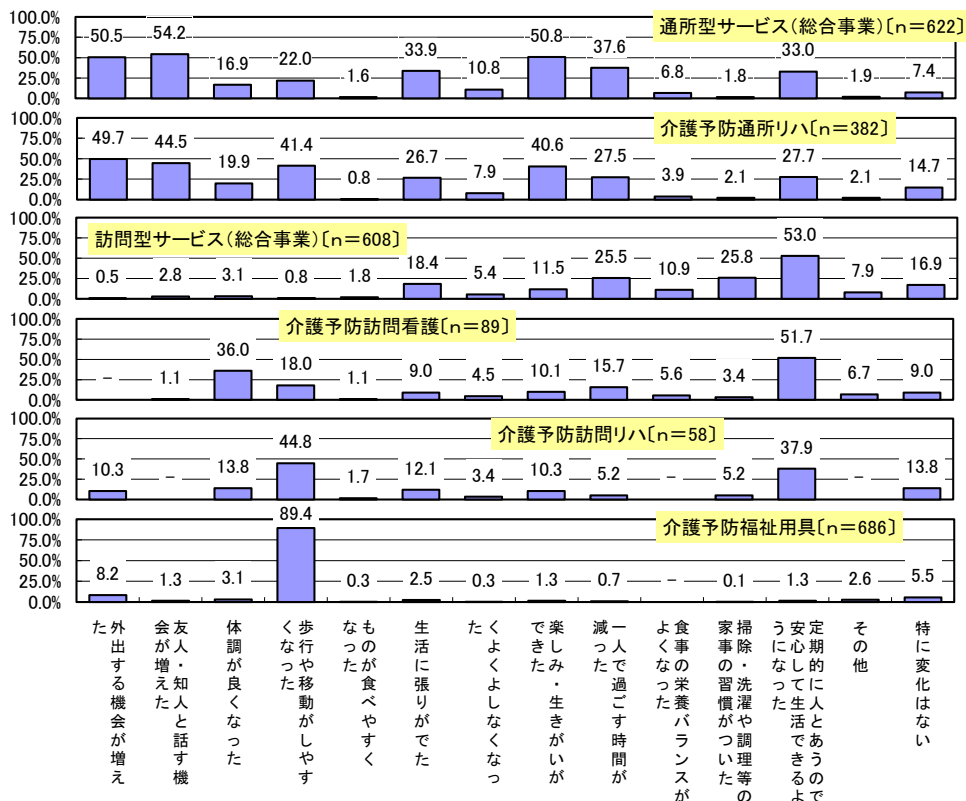
- 回答者（利用者）が50人以上のサービスに着目すると、通所型サービス（総合事業）や介護予防通所リハの通所系サービスについては、「外出する機会が増えた」（通所型サービス：50.5%、通所リハ：49.7%）や「友人・知人と話す機会が増えた」（通所型サービス：54.2%、通所リハ：44.5%）の割合が高く、利用者の5割前後が評価しています。
- 訪問型サービス（総合事業）や介護予防訪問看護の訪問系サービスについては、利用者の5割強が「定期的にとあうので安心して生活できるようになった」（訪問型サービス：53.0%、訪問看護：51.7%）と評価しています。また介護予防訪問リハでは利用者の4割強が「歩行や移動がしやすくなった」（44.8%）と評価しています。
- 介護予防福祉用具については、利用者の9割が「歩行や移動がしやすくなった」（89.4%）と評価しています。

図表－21 サービス利用による生活態様の変化（要支援認定者）【第2回調査】

	調査数（人）	サービス利用による生活態様の変化（%） 複数回答													
		た外出する機会が増えた	会友・知人と話す機会が増えた	体調が良くなった	歩行や移動がしやすくなった	ものが食べやすくなった	生活に張りがあった	たよくよしくなってきた	楽しさ・生きがいが増えた	一人で過ごす時間が減った	が食事の栄養バランスがよくなった	た家事の習慣や調理等	定期的に人とあうので安心して生活できるようになった	その他	特に変化はない
通所型サービス（総合事業）	622	50.5	54.2	16.9	22.0	1.6	33.9	10.8	50.8	37.6	6.8	1.8	33.0	1.9	7.4
介護予防通所リハ	382	49.7	44.5	19.9	41.4	0.8	26.7	7.9	40.6	27.5	3.9	2.1	27.7	2.1	14.7
訪問型サービス（総合事業）	608	0.5	2.8	3.1	0.8	1.8	18.4	5.4	11.5	25.5	10.9	25.8	53.0	7.9	16.9
介護予防訪問入浴	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.8	62.5	6.3	12.5
介護予防訪問看護	89	-	1.1	36.0	18.0	1.1	9.0	4.5	10.1	15.7	5.6	3.4	51.7	6.7	9.0
介護予防訪問リハ	58	10.3	-	13.8	44.8	1.7	12.1	3.4	10.3	5.2	-	5.2	37.9	-	13.8
介護予防福祉用具	686	8.2	1.3	3.1	89.4	0.3	2.5	0.3	1.3	0.7	-	0.1	1.3	2.6	5.5
介護予防短期入所	27	3.7	7.4	-	-	-	-	3.7	11.1	11.1	-	11.1	63.0	-	14.8
介護予防居宅療養管理	38	-	-	18.4	2.6	7.9	-	2.6	-	2.6	-	7.9	50.0	5.3	13.2
介護予防認知症通所介護	23	4.3	4.3	4.3	4.3	-	-	-	8.7	-	-	13.0	65.2	-	4.3

※調査数が少ないサービスの結果は参考程度にとどめる。

図表－22 主要サービスにおける生活態様の変化（要支援認定者）【第2回調査】



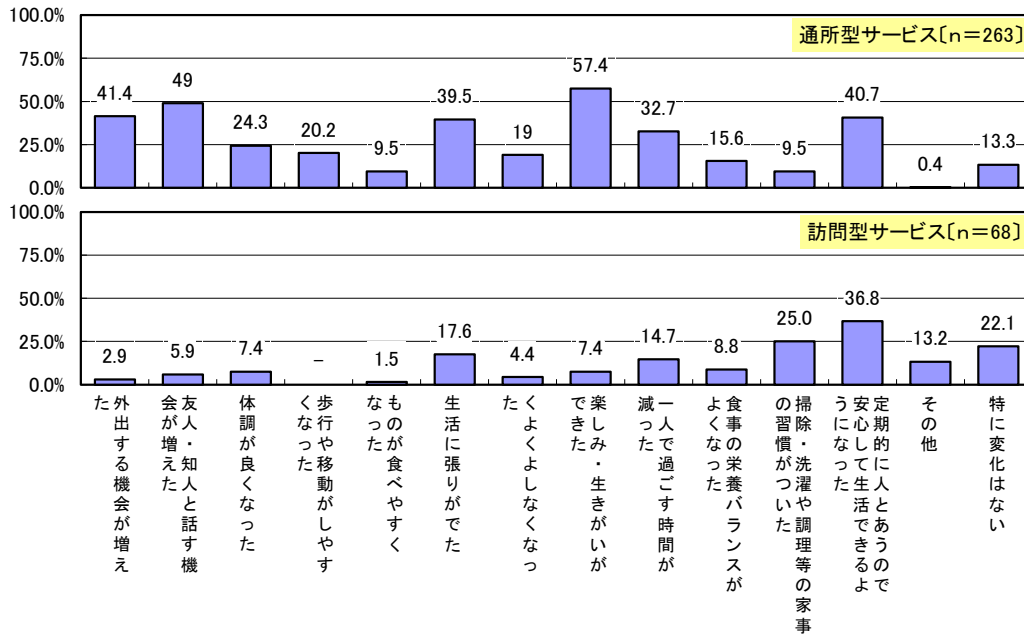
《事業対象者》

- 通所型サービスについては、「楽しみ・生きがいができた」(57.4%)や「友人・知人と話す機会が増えた」(49.0%)の割合が高く、利用者の5割が評価しています。
- 訪問型サービスについては、利用者の4割弱が「定期的に人とあうので安心して生活できるようになった」(36.8%)と評価しています。

図表－23 サービス利用による生活態様の变化（事業対象者）【第2回調査】

	調査数(人)	サービス利用による生活態様の变化(%)													
		外出する機会が増えた	友人・知人と話す機会が増えた	体調が良くなった	歩行や移動がしやすくなった	ものが食べやすくなった	生活に張りがあった	楽しく生きがいができた	一人で過ごす時間が減った	食事の栄養バランスがよくなった	掃除・洗濯や調理等の家事の習慣がついた	定期的に人とあうので安心して生活できるようになった	その他	特に変化はない	
通所型サービス	263	41.4	49.0	24.3	20.2	9.5	39.5	19.0	57.4	32.7	15.6	9.5	40.7	0.4	13.3
訪問型サービス	68	2.9	5.9	7.4	-	1.5	17.6	4.4	7.4	14.7	8.8	25.0	36.8	13.2	22.1

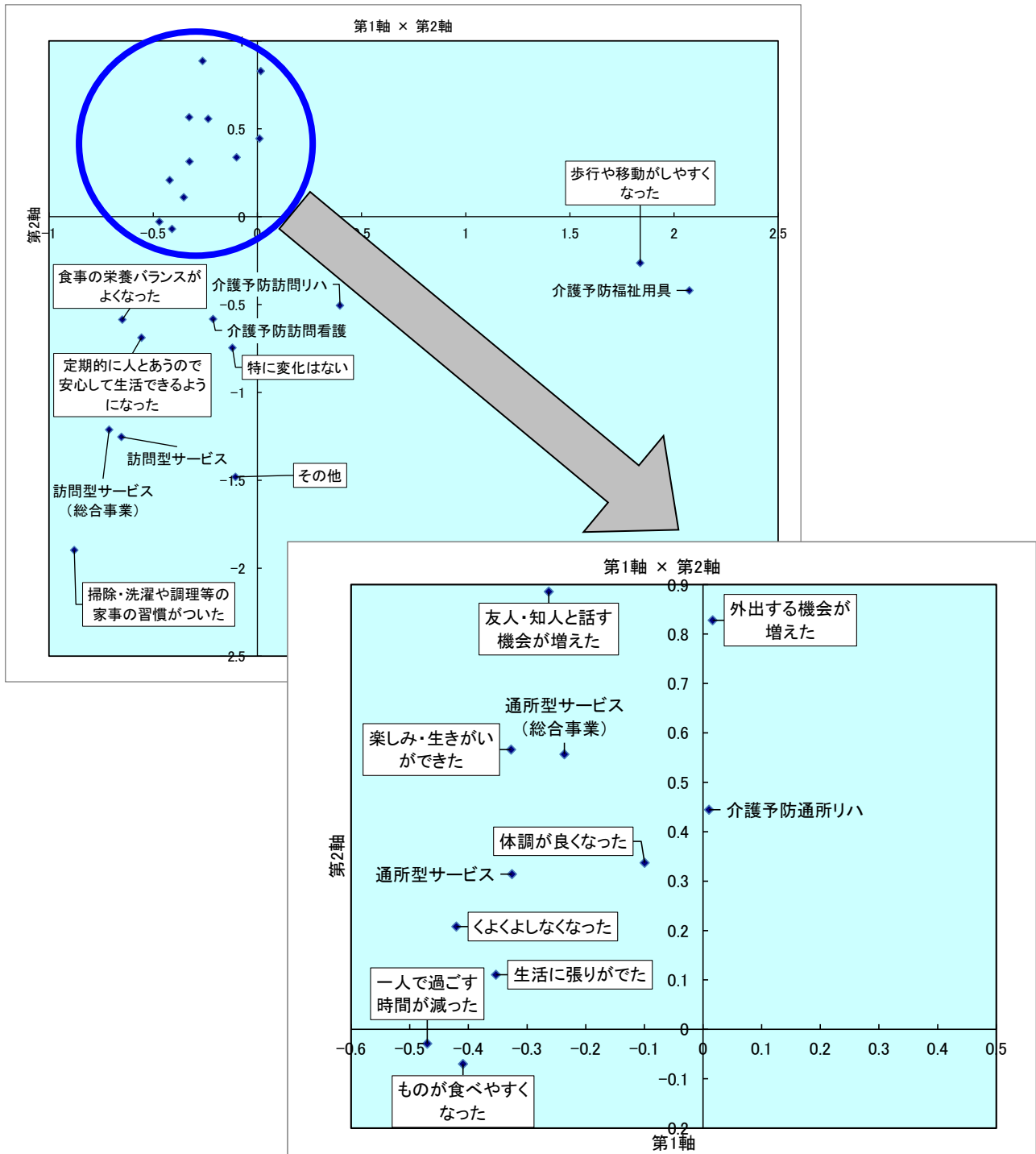
図表－24 主要サービスにおける生活態様の变化（事業対象者）【第2回調査】



(3) サービスと生活態様の変化の関連分析（コレスポネンス分析）

- 前項で整理したサービス別の生活態様の変化結果を基に、コレスポネンス分析³により、各サービスと生活態様の変化の関連性の整理を行いました。
- 通所型サービス（総合事業）や通所型サービス、介護予防通所リハは「体調が良くなった」「楽しみ・生きがいがあった」「くよくよしなくなった」をはじめとした多様な生活態様の変化と関連性が高いことがわかります。

図表－２５ 主要サービスにおける生活態様の変化のコレスポネンス分析
（要支援認定者、事業対象者）



³ 巻末『用語説明』参照。

5. 客観的効果・主観的効果の関連分析

本項では、利用者数が50人以上の主要サービスについて、『客観的効果』と『主観的効果』との関連性を把握するため、客観的効果に係る3つの指標（要介護度等の変化、基本チェックリストに基づく7つのリスク項目の変化、チェックリスト全25項目の変化）と、サービスに対する効果度の評価の相関分析を行いました。

《要支援認定者》

- 一般的に相関係数⁴は小さく、主観的効果と客観的効果の相関はあまり強くありません。
- 介護予防訪問看護については、基本チェックリスト項目25「疲労感」（相関係数0.23）で弱い相関がみられます。

図表－26 主な予防給付に関する客観的効果・主観的効果の相関分析（相関係数一覧）

		通所型サービス (総合事業)	介護予防 通所リハ	訪問型サービス (総合事業)	介護予防 訪問看護	介護予防 福祉用具	総合的に
要介護度の変化《初回→2回》		0.00	-0.10	0.01	-0.08	0.00	0.00
リスク項目 (7分類)の 変化 《初回 → 2回》	全般リスクの変化	0.09	0.01	0.09	0.01	0.09	0.08
	運動リスクの変化	-0.02	0.00	0.03	-0.07	0.01	0.00
	栄養リスクの変化	0.02	0.03	-0.03	-0.08	0.09	0.02
	口腔リスクの変化	0.11	0.07	0.10	-0.02	0.09	0.10
	閉じこもりリスクの変化	0.07	-0.01	0.01	-0.12	-0.04	0.00
	認知症リスクの変化	0.08	0.06	0.03	0.04	0.05	0.05
	うつリスクの変化	0.08	0.09	0.13	0.03	0.02	0.08
リスク項目 (チェック リスト 25項目) の変化 《初回 → 2回》	1) バスや電車で1人で外出しているか	0.04	0.02	-0.03	-0.11	-0.03	0.03
	2) 日用品の買物をしているか	0.03	0.01	-0.03	0.08	0.00	0.02
	3) 預貯金の出し入れをしているか	-0.01	0.00	-0.01	0.03	-0.03	0.00
	4) 友人の家を訪ねているか	-0.01	0.01	0.04	-0.19	0.04	0.03
	5) 家族や友人の相談にのっているか	0.09	-0.02	0.09	-0.02	0.07	0.07
	6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	0.03	-0.06	-0.01	0.08	-0.01	0.00
	7) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	-0.05	-0.02	0.02	-0.07	0.01	-0.04
	8) 15分位続けて歩いているか	0.04	0.02	-0.05	0.11	0.08	0.02
	9) この1年間に転んだことがあるか	0.01	0.13	0.04	0.04	0.03	0.04
	10) 転倒に対する不安は大きい	-0.08	0.02	0.03	0.07	-0.03	-0.02
	11) 6カ月くらいで2～3kg以上の体重減少があるか	-0.01	-0.07	-0.01	-0.02	0.05	-0.04
	12) BMIが18.5未満であるか	0.05	0.05	-0.02	0.15	0.08	0.04
	13) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	0.13	0.01	0.10	-0.03	0.08	0.09
	14) お茶や汁物等でむせることがあるか	0.09	0.05	0.03	-0.07	0.07	0.08
	15) 口の渇きが気になるか	0.04	0.03	0.11	0.05	0.04	0.04
	16) 週に1回以上は外出しているか	0.07	-0.01	0.01	-0.12	-0.04	0.00
	17) 昨年と比べて外出の回数が減っているか	0.06	0.02	0.11	0.14	0.00	0.04
	18) 周りの人から物忘れがあるとと言われるか	0.04	0.04	0.06	0.13	-0.04	0.03
	19) 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	-0.01	0.00	-0.10	-0.11	0.04	-0.01
	20) 今日が何月何日かわからない時があるか	0.08	0.09	0.04	0.06	-0.01	0.04
	21) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	0.08	0.08	0.12	0.12	0.03	0.09
	22) (ここ2週間) 楽めていたことが楽しめなくなった	0.09	0.03	0.14	0.10	0.00	0.05
	23) (ここ2週間) 楽にできていたことがおっくうである	0.04	0.01	0.11	-0.09	0.01	0.05
	24) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	0.10	0.18	0.09	-0.19	0.03	0.09
	25) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	0.11	0.12	0.14	0.23	0.09	0.11

※色つき枠は相関の有意性が高いもの 有意水準0.05: 有意水準0.01:

⁴ 2変数間の相関の強さを表す数値。絶対値が1に近いほど相関が強い（巻末『用語解説』参照）。

《事業対象者》

- 介護予防事業についても、予防給付と同様に、全般的に相関係数は小さくなっています。
- 訪問型サービス（総合事業）については、基本チェックリスト項目5「相談にのる」（相関係数0.35）と項目9「転倒」（同0.30）である程度相関がみられます。

図表－27 主な介護予防事業に関する客観的効果・主観的効果の相関分析（相関係数一覧）

		通所型サービス (総合事業)	訪問型サービス (総合事業)	総合的に
事業対象者候補者該当状況の変化《初回→2回》		0.07	-0.09	-0.02
リスク項目(7分類)の変化 《初回→2回》	全般リスクの変化	0.13	0.07	0.13
	運動リスクの変化	0.06	-0.11	-0.03
	栄養リスクの変化	0.13	0.00	0.13
	口腔リスクの変化	0.03	0.05	0.04
	閉じこもりリスクの変化	0.00	-0.29	-0.08
	認知症リスクの変化	0.15	-0.02	0.12
	うつリスクの変化	-0.02	0.02	-0.04
リスク項目 (チェックリスト25項目)の変化 《初回→2回》	1) バスや電車で1人で外出しているか	0.06	0.08	0.07
	2) 日用品の買物をしているか	0.00	-0.04	0.01
	3) 預貯金の出し入れをしているか	-0.01	0.11	0.04
	4) 友人の家を訪ねているか	0.13	0.07	0.10
	5) 家族や友人の相談にのっているか	0.11	0.35	0.17
	6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	-0.01	-0.12	-0.08
	7) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	0.13	-0.11	0.04
	8) 15分位続けて歩いているか	0.10	0.19	0.10
	9) この1年間に転んだことがあるか	0.14	0.30	0.15
	10) 転倒に対する不安は大きいか	-0.14	-0.24	-0.19
	11) 6カ月くらいで2～3kg以上の体重減少があるか	0.13	0.02	0.14
	12) BMIが18.5未満であるか	-0.01	-0.16	-0.02
	13) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	0.02	0.05	0.02
	14) お茶や汁物等でむせることがあるか	0.01	0.03	0.04
	15) 口の渇きが気になるか	0.02	-0.01	0.01
	16) 週に1回以上は外出しているか	0.00	-0.29	-0.08
	17) 昨年と比べて外出の回数が減っているか	-0.01	0.02	0.00
	18) 周りの人から物忘れがあるとと言われるか	0.09	0.13	0.10
	19) 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	0.11	0.03	0.10
	20) 今日が何月何日かわからない時があるか	0.07	0.08	0.05
	21) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	0.08	0.03	0.05
	22) (ここ2週間) 楽めていたことが楽しめなくなった	-0.04	0.02	-0.07
	23) (ここ2週間) 楽にできていたことがおっくうである	-0.02	0.00	-0.05
	24) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	-0.01	0.08	-0.02
	25) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	0.05	0.05	0.05

※色つき枠は相関の有意性が高いもの

有意水準0.05:



有意水準0.01:



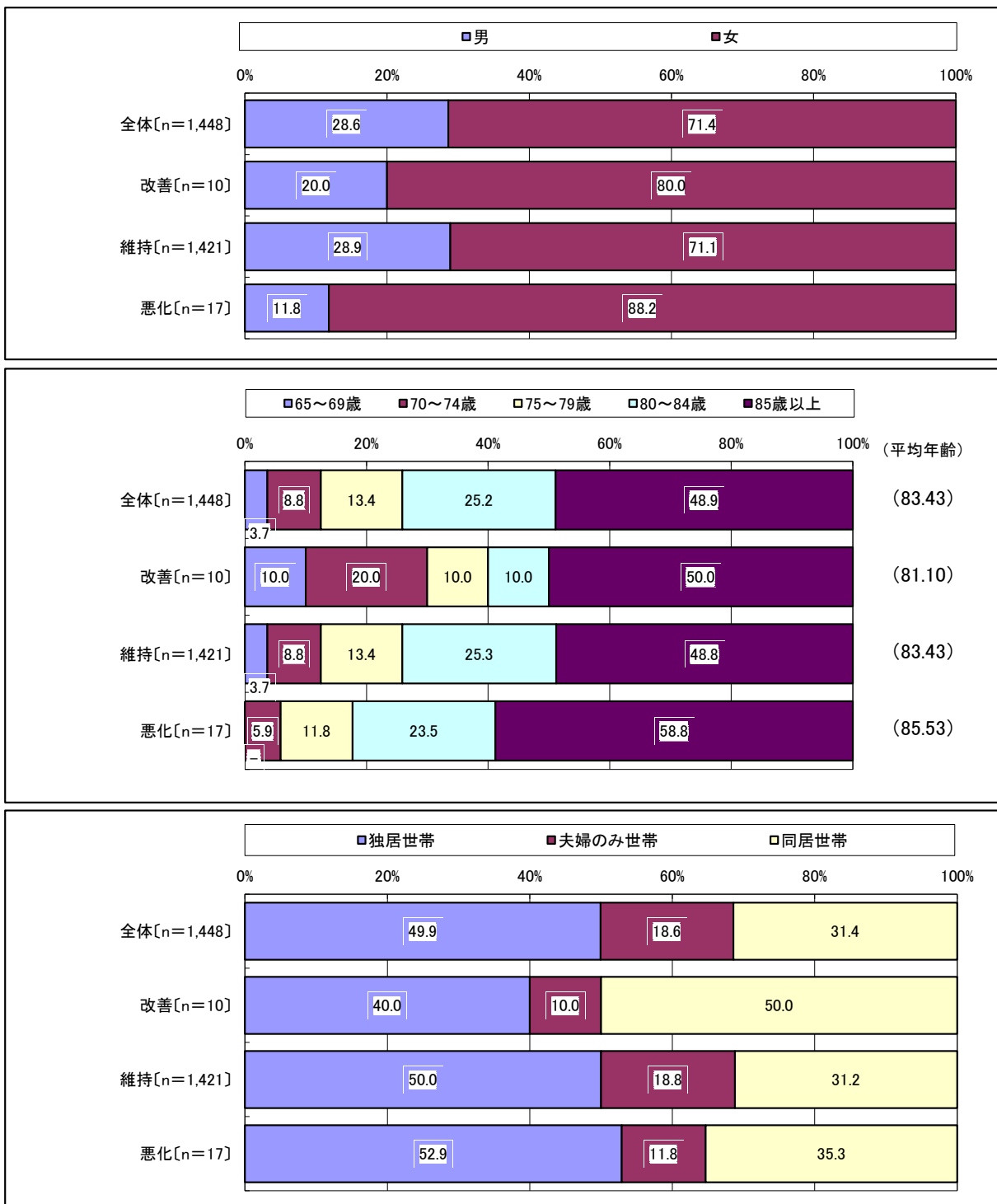
6. 客観的効果に関する状態像分析

(1) 客観的効果と基本属性の関係

《要介護・要支援認定者》

- 要介護度の変化状況別に基本属性の特徴をみると、性別は、改善層では女性が80.0%、維持層では女性が71.1%、悪化層では女性が88.2%となっています。
- 平均年齢は、全体で83.43歳です。また、改善層では81.10歳、維持層では83.43歳、悪化層では85.53歳と状態が悪化するにつれて平均年齢も高くなっています。
- 家族構成について、独居世帯の割合は、改善層で40.0%、維持層で50.0%、悪化層で52.9%となっています。

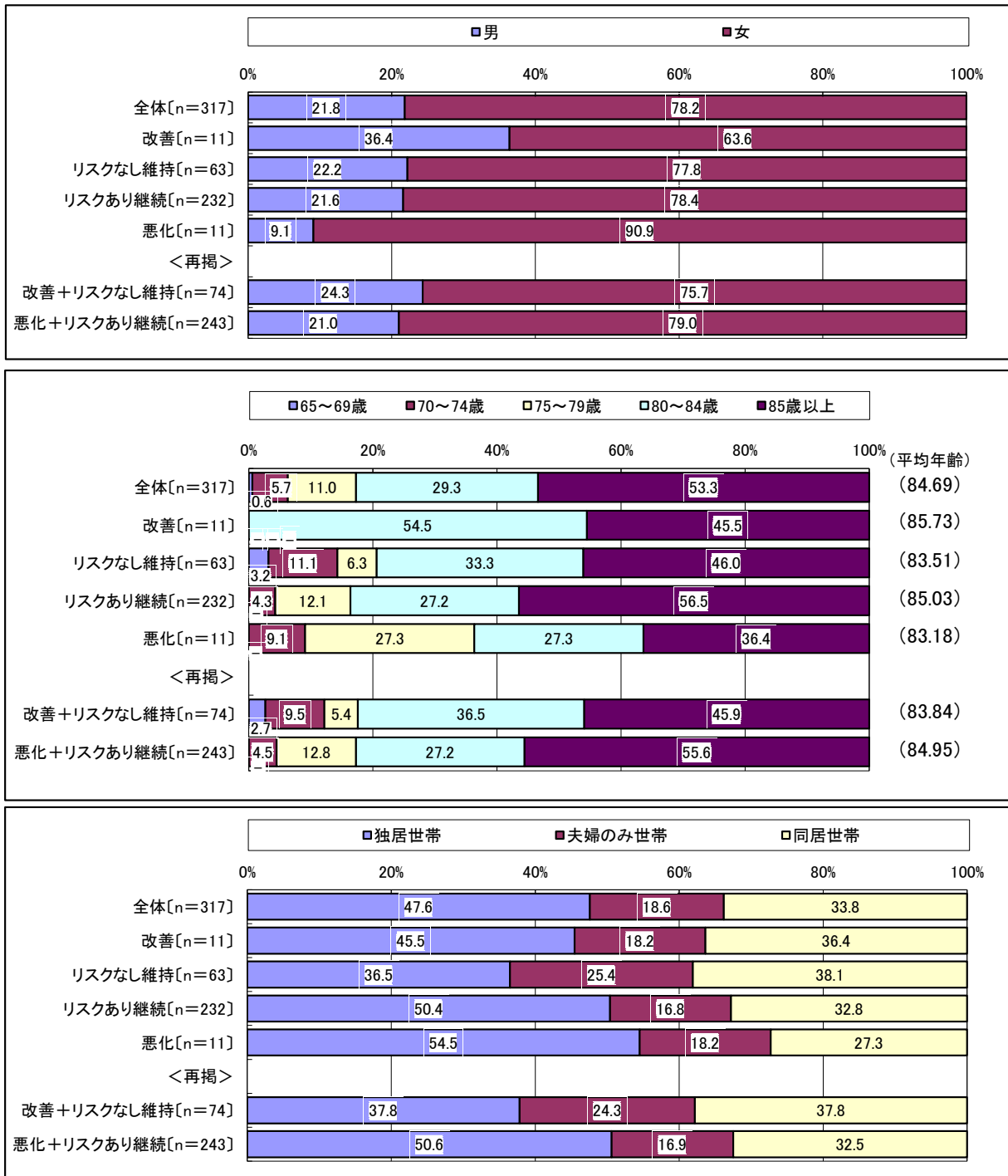
図表－28 要介護度の変化別 基本属性（要介護・要支援認定者）



《事業対象者》

- 事業対象者候補者該当状況の変化状況別に基本属性の特徴をみると、性別は、改善＋リスクなし維持層では女性が75.7%、悪化＋リスクあり継続層では女性が79.0%となっています。
- 平均年齢は、全体で84.69歳であり、改善＋リスクなし維持層（83.84歳）と悪化＋リスクあり継続層（84.95歳）では平均年齢に大きな違いはありません。
- 家族構成について、独居世帯の割合は、改善＋リスクなし維持層で37.8%、悪化＋リスクあり継続層で50.6%となっています。

図表－２９ 事業対象者候補者該当状況の変化別 基本属性（事業対象者）

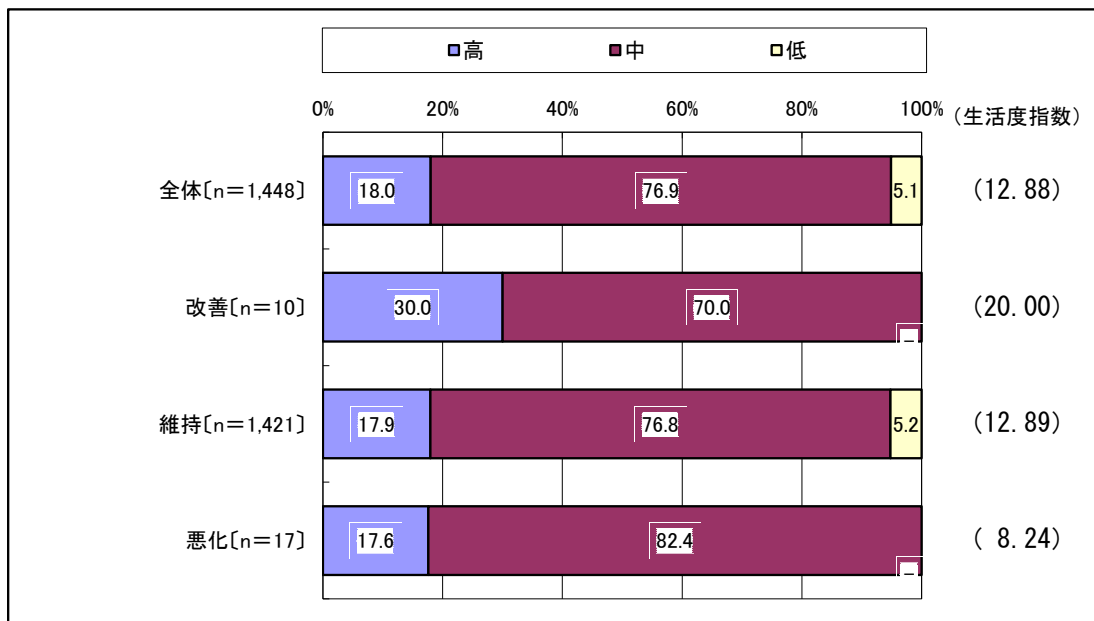


(2) 客観的効果と生活状況の関係

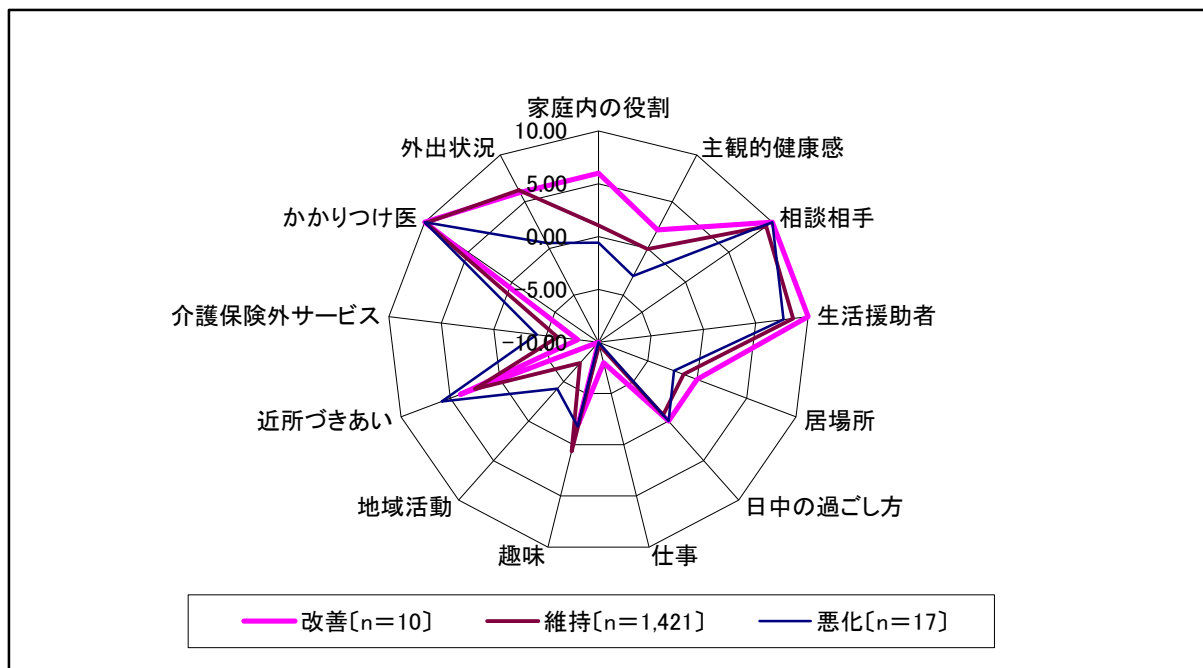
《要介護・要支援認定者》

- 日常生活状況に関する設問を得点化した『生活度指数』は、悪化層での8.24点に対して、改善層では20.00点と高く、生活度指数が高いほど改善しやすい傾向にあるといえます。
- 各設問項目別の指数をみると、改善層は悪化層よりも、家庭内の役割や外出状況、主観的健康観、生活援助者、居場所等が活発であるといえます。

図表－30 要介護度の変化別 生活度ランク・生活度指数⁵（要介護・要支援認定者）



図表－31 要介護度の変化別 項目別生活度指数（要介護・要支援認定者）



⁵ 生活度指数は、日常生活に関連する13の設問の各選択肢に配点した数値であり、生活度ランクはその合計点を高・中・低の3区分に分類したものである。生活度指数はその平均値（数値が大きいほど、社会参加等が活発）。詳細は巻末『用語解説』参照。

図表－３２ 日常生活関連項目 回答結果詳細（要介護・要支援認定者）

(%)

		全体 [n=1,448]	改善 [n=10]	維持 [n=1,421]	悪化 [n=17]
【家庭内の役割】	家事を担っている	37.0	40.0	36.9	41.2
	孫等の小さな子どもの世話をしている	0.6	-	0.6	-
	家族・親族の相談相手になっている	10.2	10.0	10.3	-
	家族・親族関係のまとめ役である	3.0	-	3.0	5.9
	病気や障がいを持つ家族・親族の世話や介護をしている	0.8	-	0.8	-
	家計の支え手(かせぎ手)である	1.1	10.0	1.1	-
	その他	2.7	20.0	2.6	-
	特にない	44.6	20.0	44.7	52.9
【主観的健康感】 (過去1ヶ月間の健康状態)	最高に良い	0.8	-	0.8	-
	とても良い	2.6	10.0	2.6	-
	良い	46.3	50.0	46.4	35.3
	あまり良くない	39.6	40.0	39.5	47.1
	良くない	8.4	-	8.3	17.6
	ぜんぜん良くない	2.4	-	2.5	-
【相談相手】 (相談相手がいるか)	はい	96.6	100.0	96.6	100.0
	いいえ	3.4	-	3.4	-
【生活援助者】 (日常生活援助者がいるか)	はい	92.8	100.0	92.8	88.2
	いいえ	7.2	-	7.2	11.8
【居場所】 (日中、主に過ごす場所)	自宅外	2.3	-	2.3	-
	自宅敷地内	11.2	30.0	11.2	-
	自宅屋内(自分の部屋以外)	59.3	40.0	59.2	76.5
	自分の部屋	27.3	30.0	27.3	23.5
【日中の過ごし方】	自宅外の仕事(役割)	1.7	-	1.7	-
	家の仕事(役割)	28.5	40.0	28.4	23.5
	趣味	12.2	-	12.2	17.6
	主にテレビ	42.1	40.0	42.1	41.2
	その他	7.7	20.0	7.5	17.6
	特にない	7.9	-	8.1	-
【仕事】(仕事の有無)	している	1.6	10.0	1.5	-
	していない	98.4	90.0	98.5	100.0
【趣味】(趣味の有無)	ある	53.1	40.0	53.3	41.2
	ない	46.9	60.0	46.7	58.8
【地域活動】 (地域活動への参加の有無)	参加している	13.5	-	13.4	29.4
	参加していない	86.5	100.0	86.6	70.6
【近所づきあい】 (近所づきあいの有無)	ある	41.0	50.0	40.6	70.6
	あまりない(あいさつする程度)	43.4	40.0	43.8	17.6
	ない	15.5	10.0	15.6	11.8
【介護保険外サービス】 (介護保険以外の利用サービスの有無)	ある	19.6	10.0	19.6	29.4
	ない	80.4	90.0	80.4	70.6
【かかりつけ医】 (かかりつけ医の有無)	いる	99.4	100.0	99.4	100.0
	いない	0.6	-	0.6	-
【外出状況】 (週に1回以上は外出しているか)	はい	80.8	80.0	81.1	52.9
	いいえ	19.2	20.0	18.9	47.1

<関連項目>

(%)


		全体 [n=284]	改善 [n=1]	維持 [n=278]	悪化 [n=5]
利用している介護保険以外のサービスの内容 [複数回答]	食事や調理に関するサービス	64.8	-	65.1	60.0
	外出に関するサービス	9.5	100.0	9.0	20.0
	家事や生活に関するサービス	9.2	-	9.0	20.0
	見守りや安否確認の声かけ	25.7	-	25.5	40.0
	成年後見制度	-	-	-	-
	日常生活自立支援事業	1.8	-	1.8	-
	その他	10.2	-	10.1	20.0


- 客観的効果に係る3つの指標（要介護度の変化、基本チェックリストに基づく7つのリスク項目の変化、チェックリスト全25項目の変化）と、生活状況の相関の状況をみると、生活度指数と全般リスクの変化（相関係数0.34）、閉じこもりリスクの変化（同0.33）、基本チェックリスト項目16「外出頻度」（同0.33）、項目5「相談にのる」（同0.32）は相関係数が0.3以上となっており、ある程度相関がみられます。
- 生活度指数に係る家庭内の役割の有無に着目すると、基本チェックリスト項目5「相談にのる」（相関係数0.27）で弱い相関がみられます。

図表－33 要介護・要支援認定者の生活状況と客観的効果の相関分析（相関係数一覧）

		生活度指数	家庭内の役割の有無
要介護度の変化《初回→2回》		0.02	0.04
リスク項目(7分類)の変化《初回→2回》	全般リスクの変化	0.34	0.13
	運動リスクの変化	0.11	-0.01
	栄養リスクの変化	0.05	-0.02
	口腔リスクの変化	0.11	0.03
	閉じこもりリスクの変化	0.33	0.03
	認知症リスクの変化	0.16	0.11
	うつリスクの変化	0.19	0.03
リスク項目(チェックリスト25項目)の変化《初回→2回》	1) バスや電車で1人で外出しているか	0.12	0.05
	2) 日用品の買物をしているか	0.26	0.16
	3) 預貯金の出し入れをしているか	0.21	0.14
	4) 友人の家を訪ねているか	0.29	0.06
	5) 家族や友人の相談にのっているか	0.32	0.27
	6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	0.05	-0.01
	7) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	0.10	0.02
	8) 15分位続けて歩いているか	0.20	0.08
	9) この1年間に転んだことがあるか	0.04	-0.02
	10) 転倒に対する不安は大きい	-0.01	-0.06
	11) 6カ月くらいで2~3kg以上の体重減少があるか	0.08	-0.04
	12) BMIが18.5未満であるか	0.09	-0.02
	13) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	0.07	0.00
	14) お茶や汁物等でむせることがあるか	0.12	0.05
	15) 口の渇きが気になるか	0.08	0.05
	16) 週に1回以上は外出しているか	0.33	0.03
	17) 昨年と比べて外出の回数が減っているか	0.07	0.01
	18) 周りの人から物忘れがあるとされるか	0.11	0.08
	19) 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	0.15	0.12
	20) 今日が何月何日かわからない時があるか	0.11	0.09
	21) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	0.19	0.07
	22) (ここ2週間) 楽めていたことが楽しめなくなった	0.18	0.01
	23) (ここ2週間) 楽にできていたことがおっくうである	0.11	0.00
	24) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	0.13	0.07
	25) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	0.14	0.02

※色つき枠は相関の有意性が高いもの

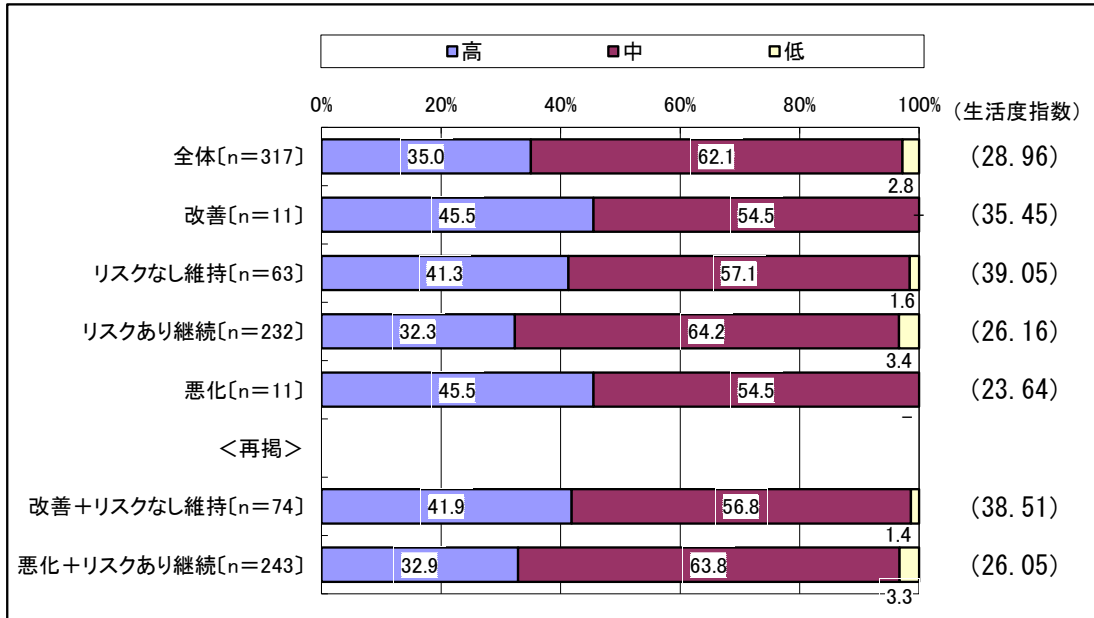
有意水準0.05: 

有意水準0.01: 

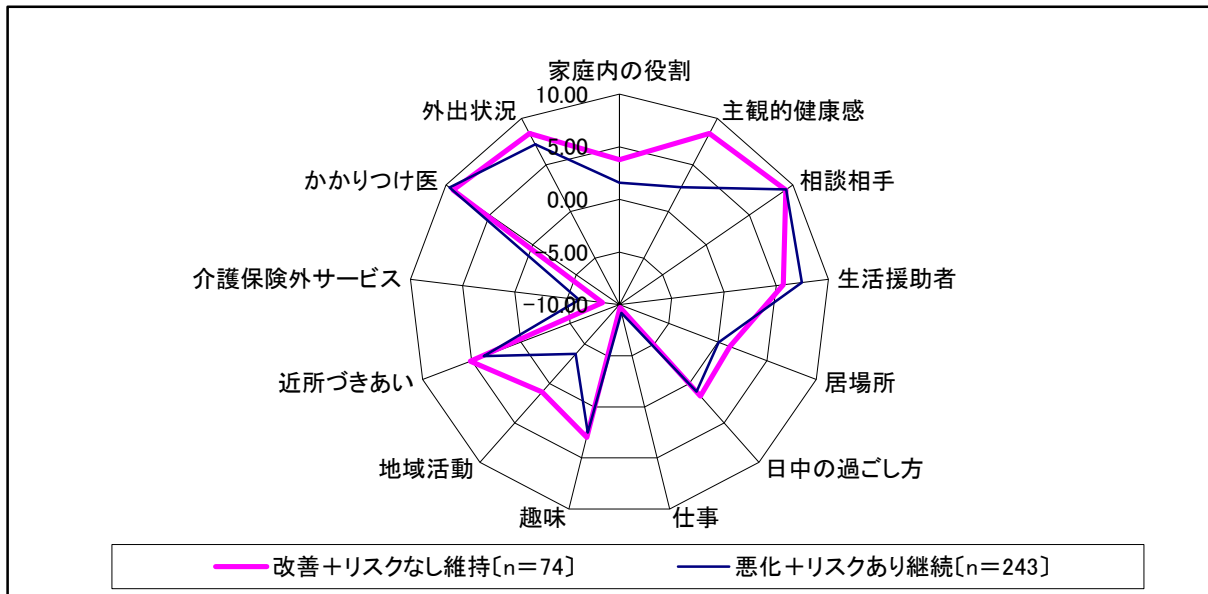
《事業対象者》

- 生活度指数は、悪化＋リスクあり継続層26.05点に対して、改善＋リスクなし維持層では38.51点と高く、要介護・要支援認定者と同様に、生活度指数が高いほど改善しやすい傾向にあるといえます。
- 各設問項目別の指数をみると、改善＋リスクなし維持層は、悪化＋リスクあり継続層よりも、主観的健康感や地域活動、家庭内の役割、近所づきあい等が活発であるといえます。

図表－34 事業対象者候補者該当状況の変化別 生活度ランク・生活度指数（事業対象者）



図表－35 事業対象者候補者該当状況の変化別 項目別生活度指数（事業対象者）



図表-36 日常生活関連項目 回答結果詳細 (事業対象者)

(%)

		全体 [n=317]	改善 [n=11]	リスクなし 維持 [n=63]	リスクあり 継続 [n=232]	悪化 [n=11]	改善+ リスクなし維持 [n=74]	悪化+ リスクあり継続 [n=243]
【家庭内の役割】	家事を担っている	44.5	45.5	54.0	42.7	27.3	52.7	42.0
	孫等の小さな子どもの世話をしている	1.6	-	1.6	1.3	9.1	1.4	1.6
	家族・親族の相談相手になっている	9.1	-	9.5	9.5	9.1	8.1	9.5
	家族・親族関係のまとめ役である	1.3	9.1	-	1.3	-	1.4	1.2
	病気や障がいを持つ家族・親族の世話や介護をしている	0.9	-	1.6	0.9	-	1.4	0.8
	家計の支え手(かせぎ手)である	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3.2	9.1	3.2	3.0	-	4.1	2.9
	特にない	39.4	36.4	30.2	41.4	54.5	31.1	42.0
【主観的健康感】 (過去1ヶ月間の健康状態)	最高に良い	1.3	9.1	-	0.9	9.1	1.4	1.2
	とても良い	7.6	18.2	15.9	4.7	9.1	16.2	4.9
	良い	60.9	54.5	77.8	56.0	72.7	74.3	56.8
	あまり良くない	26.5	18.2	6.3	33.2	9.1	8.1	32.1
	良くない	2.8	-	-	3.9	-	-	3.7
	ぜんぜん良くない	0.9	-	-	1.3	-	-	1.2
【相談相手】 (相談相手がいるか)	はい	96.2	100.0	95.2	96.1	100.0	95.9	96.3
	いいえ	3.8	-	4.8	3.9	-	4.1	3.7
【生活援助者】 (日常生活援助者がいるか)	はい	85.2	72.7	79.4	88.4	63.6	78.4	87.2
	いいえ	14.8	27.3	20.6	11.6	36.4	21.6	12.8
【居場所】 (日中、主に過ごす場所)	自宅外	2.5	-	7.9	1.3	-	6.8	1.2
	自宅敷地内	21.5	36.4	30.2	18.5	18.2	31.1	18.5
	自宅屋内(自分の部屋以外)	55.5	45.5	34.9	60.8	72.7	36.5	61.3
	自分の部屋	20.5	18.2	27.0	19.4	9.1	25.7	18.9
【日中の過ごし方】	自宅外の仕事(役割)	2.8	-	6.3	2.2	-	5.4	2.1
	家の仕事(役割)	39.1	45.5	36.5	39.2	45.5	37.8	39.5
	趣味	10.7	9.1	11.1	10.3	18.2	10.8	10.7
	主にテレビ	32.8	18.2	33.3	33.6	27.3	31.1	33.3
	その他	6.3	18.2	6.3	5.6	9.1	8.1	5.8
	特にない	8.2	9.1	6.3	9.1	-	6.8	8.6
【仕事】(仕事の有無)	している	3.5	-	1.6	4.3	-	1.4	4.1
	していない	96.5	100.0	98.4	95.7	100.0	98.6	95.9
【趣味】(趣味の有無)	ある	63.1	72.7	63.5	62.5	63.6	64.9	62.6
	ない	36.9	27.3	36.5	37.5	36.4	35.1	37.4
【地域活動】 (地域活動への参加の有無)	参加している	36.9	63.6	54.0	30.6	45.5	55.4	31.3
	参加していない	63.1	36.4	46.0	69.4	54.5	44.6	68.7
【近所づきあい】 (近所づきあいの有無)	ある	49.8	63.6	54.0	48.3	45.5	55.4	48.1
	あまりない(あいさつする程度)	41.3	27.3	42.9	41.8	36.4	40.5	41.6
	ない	8.8	9.1	3.2	9.9	18.2	4.1	10.3
【介護保険外サービス】 (介護保険以外の利用サービスの有無)	ある	16.7	-	9.5	20.3	-	8.1	19.3
	ない	83.3	100.0	90.5	79.7	100.0	91.9	80.7
【かかりつけ医】 (かかりつけ医の有無)	いる	97.5	100.0	95.2	98.3	90.9	95.9	97.9
	いない	2.5	-	4.8	1.7	9.1	4.1	2.1
【外出状況】 (週に1回以上は外出しているか)	はい	87.4	72.7	95.2	86.2	81.8	91.9	86.0
	いいえ	12.6	27.3	4.8	13.8	18.2	8.1	14.0

<関連項目>

(%)

		全体 [n=53]	改善 [n=0]	リスクなし 維持 [n=6]	リスクあり 継続 [n=47]	悪化 [n=0]	改善+ リスクなし維持 [n=6]	悪化+ リスクあり継続 [n=47]
利用している介護保険 以外のサービスの内容 [複数回答]	食事や調理に関するサービス	60.4	-	50.0	61.7	-	50.0	61.7
	外出に関するサービス	13.2	-	16.7	12.8	-	16.7	12.8
	家事や生活に関するサービス	9.4	-	-	10.6	-	-	10.6
	見守りや安否確認の声かけ	35.8	-	16.7	38.3	-	16.7	38.3
	成年後見制度	-	-	-	-	-	-	-
	日常生活自立支援事業	-	-	-	-	-	-	-
	その他	22.6	-	16.7	23.4	-	16.7	23.4

- 客観的効果に係る3つの指標（事業対象者候補者該当状況の変化、基本チェックリストに基づく7つのリスク項目の変化、チェックリスト全25項目の変化）と、生活状況の相関の状況をみると、生活度指数と基本チェックリスト項目5「相談にのる」（相関係数0.39）、項目4「友人訪問」（同0.34）、全般リスクの変化（同0.32）である程度相関がみられます。
- 生活度指数に係る家庭内の役割の有無に着目すると、基本チェックリスト項目5「相談にのる」（相関係数0.43）で中程度の相関がみられます。

図表－37 事業対象者の生活状況と客観的効果の相関分析（相関係数一覧）

		生活度指数	家庭内の役割の有無
事業対象者候補者該当状況の変化《初回→2回》		0.14	0.09
リスク項目(7分類)の変化《初回→2回》	全般リスクの変化	0.32	0.29
	運動リスクの変化	0.14	0.09
	栄養リスクの変化	0.17	0.14
	口腔リスクの変化	0.09	0.06
	閉じこもりリスクの変化	0.23	0.04
	認知症リスクの変化	0.13	0.23
	うつリスクの変化	0.09	0.03
リスク項目(チェックリスト25項目)の変化《初回→2回》	1) バスや電車で1人で外出しているか	0.17	0.09
	2) 日用品の買物をしているか	0.23	0.18
	3) 預貯金の出し入れをしているか	0.21	0.25
	4) 友人の家を訪ねているか	0.34	0.14
	5) 家族や友人の相談にのっているか	0.39	0.43
	6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	0.10	0.04
	7) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	0.14	0.06
	8) 15分位続けて歩いているか	0.28	0.08
	9) この1年間に転んだことがあるか	0.09	0.13
	10) 転倒に対する不安は大きい	-0.03	0.04
	11) 6カ月くらいで2～3kg以上の体重減少があるか	0.13	0.09
	12) BMIが18.5未満であるか	0.12	0.12
	13) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	0.12	0.07
	14) お茶や汁物等でむせることがあるか	0.08	0.10
	15) 口の渇きが気になるか	0.01	-0.06
	16) 週に1回以上は外出しているか	0.23	0.04
	17) 昨年と比べて外出の回数が減っているか	0.06	-0.03
	18) 周りの人から物忘れがあるとと言われるか	0.07	0.19
	19) 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	0.21	0.22
	20) 今日が何月何日かわからない時があるか	0.11	0.20
	21) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	0.16	0.10
	22) (ここ2週間) 楽めていたことが楽しめなくなった	0.08	-0.01
	23) (ここ2週間) 楽にできていたことがおっくうである	0.06	0.01
	24) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	0.21	0.13
	25) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	0.17	0.12

※色つき枠は相関の有意性が高いもの

有意水準0.05:



有意水準0.01:



(3) 客観的効果とサービス利用状況の関係

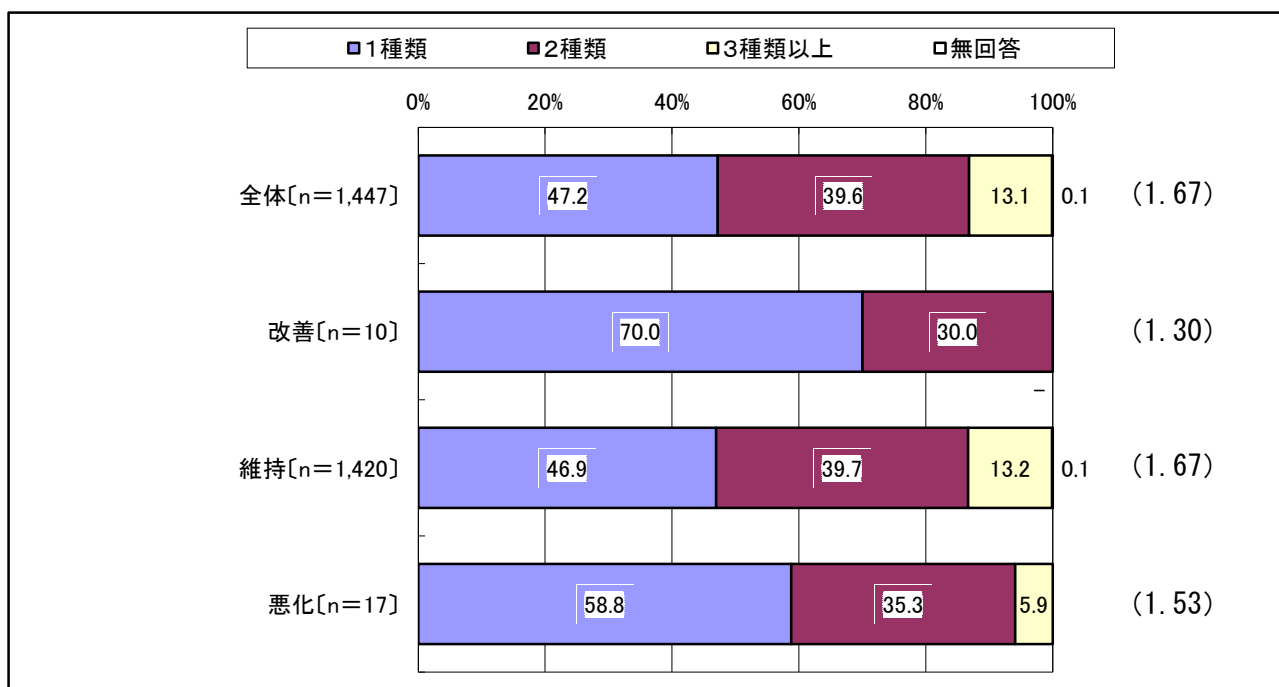
《要支援認定者》

- 利用サービスは「介護予防福祉用具」(47.2%)が最も多く、次いで「訪問型サービス(総合事業)」(41.9%)、「通所型サービス(総合事業)」(41.7%)、「介護予防通所リハ」(25.4%)となっています。
- サービス利用種類数は、全体の5割弱(47.2%)が「1種類」のみの利用であり、平均1.67種類となっています。改善層(1.30種類)よりも、維持層(1.67種類)、悪化層(1.53種類)でやや利用種類数が多くなっています。
- サービス利用期間(予定)は、5割半ば(55.4%)が「1年1ヶ月以上」であり、平均利用月数は22.42ヶ月となっています。

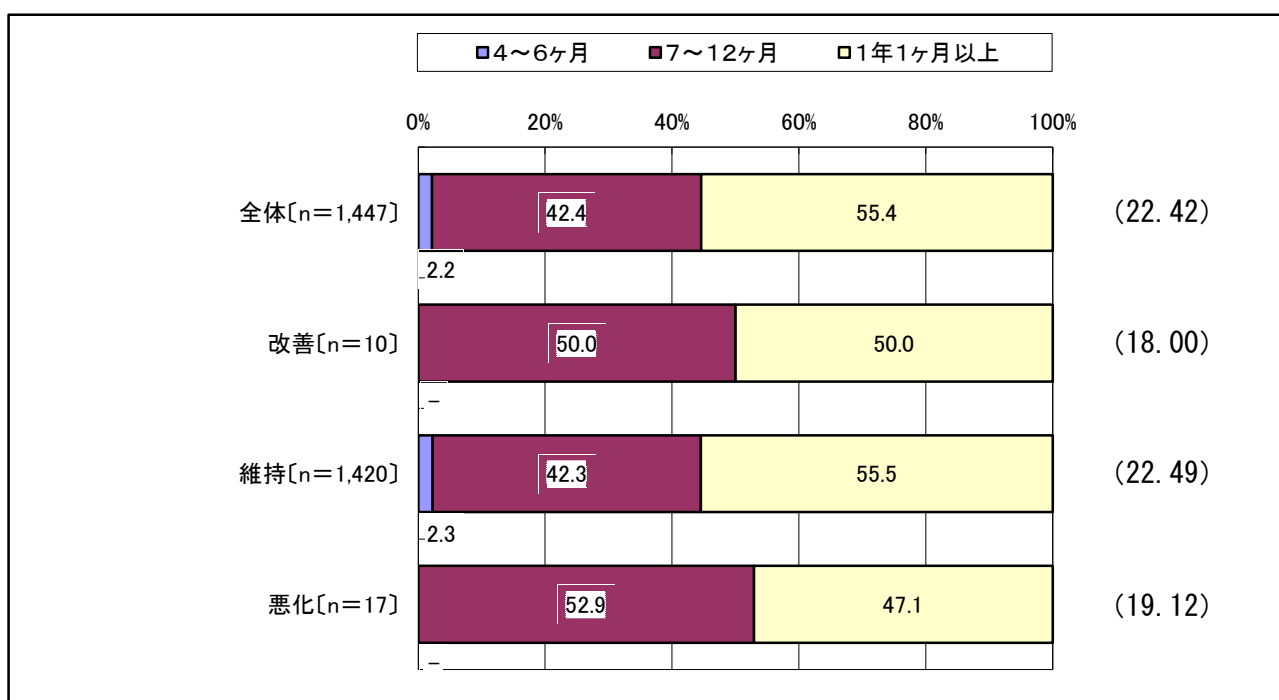
図表－38 要介護度の変化別 利用サービスの種類(要支援認定者)

	調査数(人)	利用サービスの種類(%) 複数回答										
		通所型サービス(総合事業)	介護予防通所リハ	訪問型サービス(総合事業)	介護予防訪問入浴	介護予防訪問看護	介護予防訪問リハ	介護予防福祉用具	介護予防短期入所	介護予防居宅療養管理	介護予防認知症通所介護	無回答
全体	1,447	41.7	25.4	41.9	0.1	5.1	3.0	47.2	0.6	1.5	0.1	0.1
改善	10	50.0	-	40.0	-	-	-	40.0	-	-	-	-
維持	1,420	41.8	25.6	42.0	0.1	5.1	3.0	47.2	0.6	1.5	0.1	0.1
悪化	17	29.4	29.4	35.3	-	5.9	-	52.9	-	-	-	-

図表－３９ 要介護度の変化別 サービス利用種類数（要支援認定者）



図表－４０ 要介護度の変化別 サービス利用期間（要支援認定者）



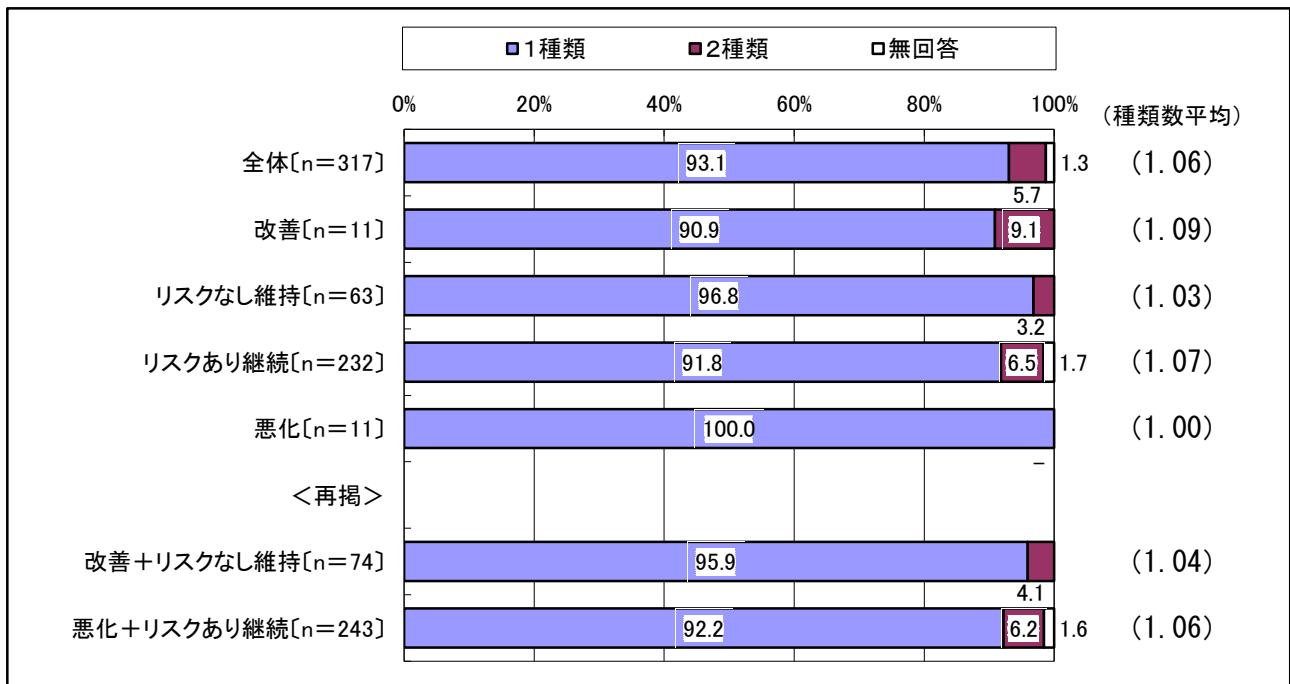
《事業対象者》

- 利用サービスは「通所型サービス（総合事業）」が83.3%で全体の8割強が利用しています。
- サービス利用種類数ではほとんどが「1種類」（93.1%）で、平均1.06種類となっています。
- サービス利用期間（予定）は、6割半ば（64.4%）が無回答であるものの、「7～12ヶ月」（24.6%）が最も多く、平均利用月数は9.38ヶ月となっています。

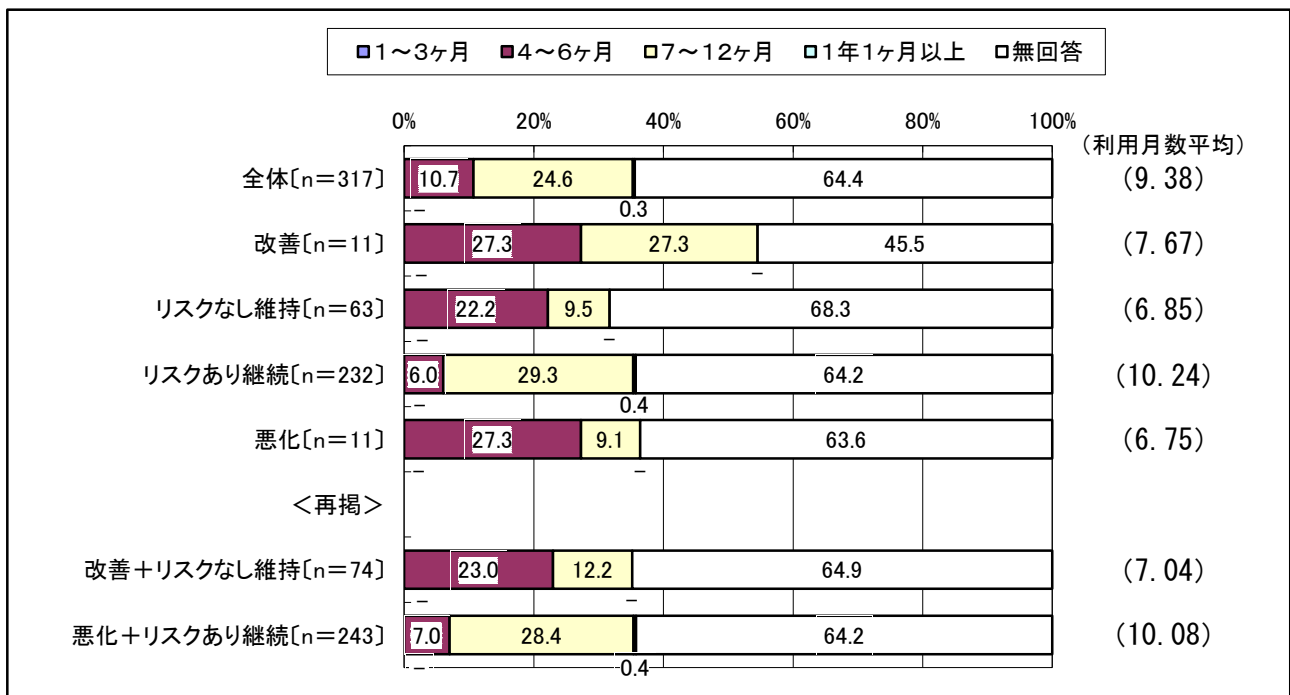
図表－4 1 事業対象者候補者該当状況の変化別 利用サービスの種類（事業対象者）

	調査数（人）	利用サービスの種類（%）複数回答		
		（通所型サービス） （総合事業）	（訪問型サービス） （総合事業）	無回答
全体	317	83.3	21.1	1.3
改善	11	81.8	27.3	-
リスクなし維持	63	98.4	4.8	-
リスクあり継続	232	78.9	25.9	1.7
悪化	11	90.9	9.1	-
改善＋リスクなし維持	74	95.9	8.1	-
悪化＋リスクあり継続	243	79.4	25.1	1.6

図表－４２ 事業対象者候補者該当状況の変化別 サービス利用種類数（事業対象者）



図表－４３ 事業対象者候補者該当状況の変化別 サービス利用期間（事業対象者）



7. 支部別の主要指標の状況

支部別の主要指標の状況は以下のとおりです。

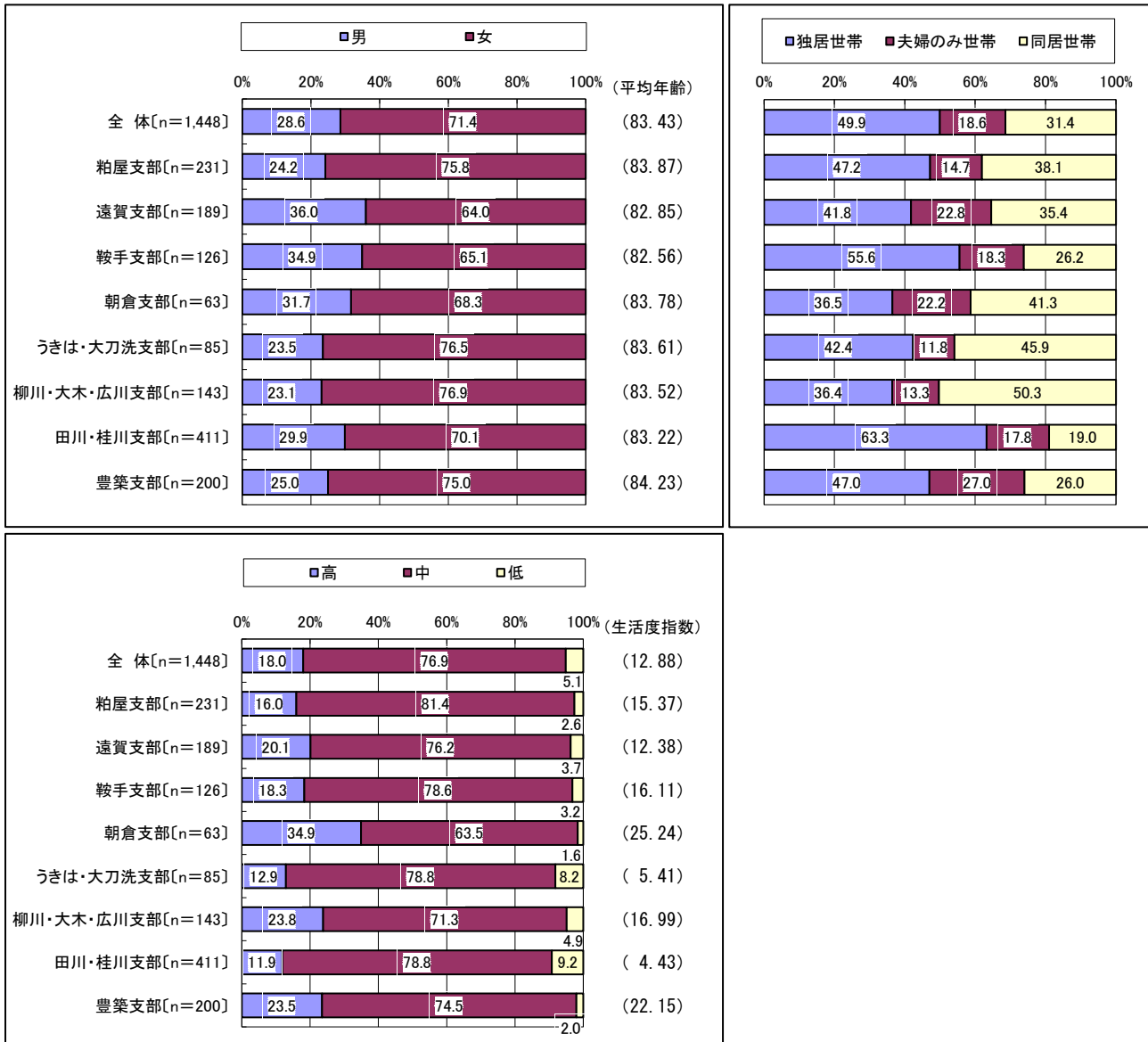
なお、調査数が少数の支部もあるため、参考値として整理するにとどめ、結果の利用には注意を要します。

(1) 要介護・要支援認定者の支部別状況

① 性別・年齢、家族構成、生活度

- 性別をみると、どの支部も概ね女性が6～7割を占めています。平均年齢は、豊築支部(84.23歳)で最も高く、鞍手支部(82.56歳)で最も低くなっています。
- 家族構成における独居世帯の割合は、田川・桂川支部(63.3%)や鞍手支部(55.6%)で高く、過半数を占めています。一方、同居世帯の割合は、柳川・大木・広川支部(50.3%)で高く、5割を占めています。
- 生活度指数は、朝倉支部(25.24)で高く、田川・桂川支部(4.43)やうきは・大刀洗支部(5.41)で低くなっています。

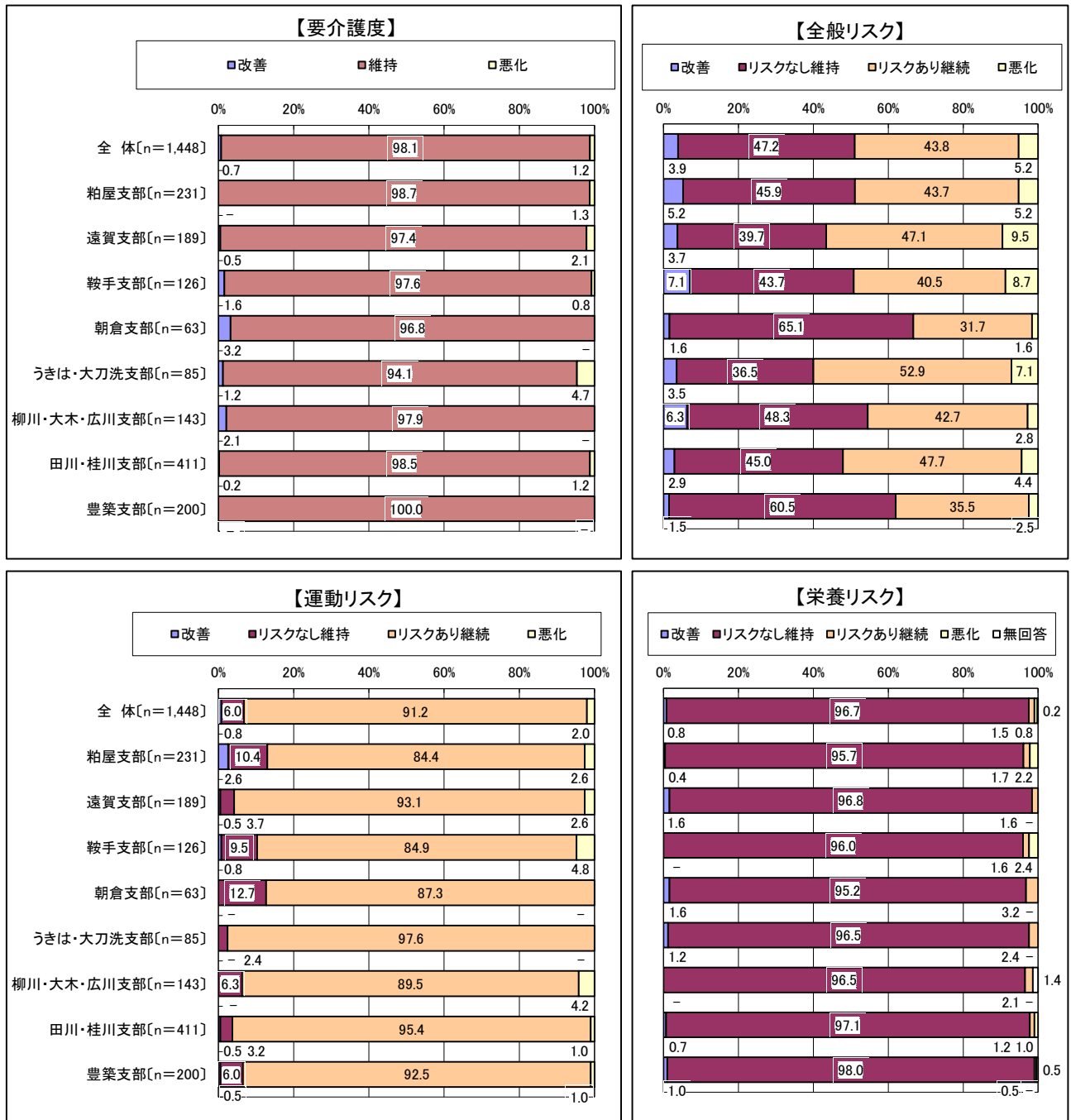
図表－4 4 支部別 性別・年齢、家族構成、生活度ランクの状況（要介護・要支援認定者）

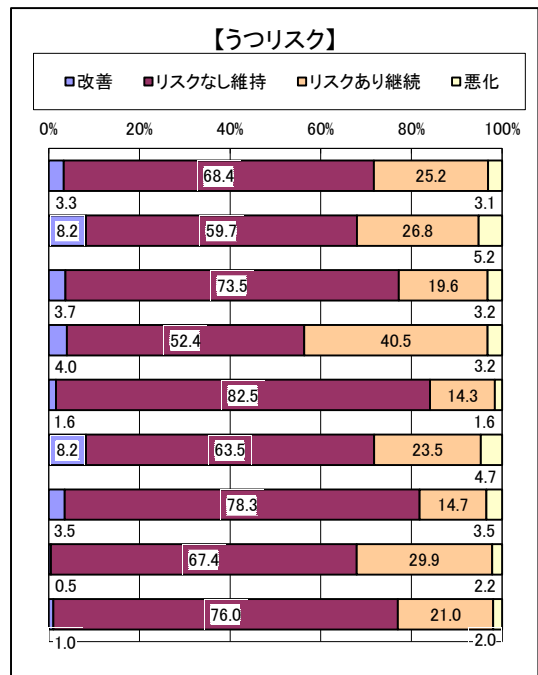
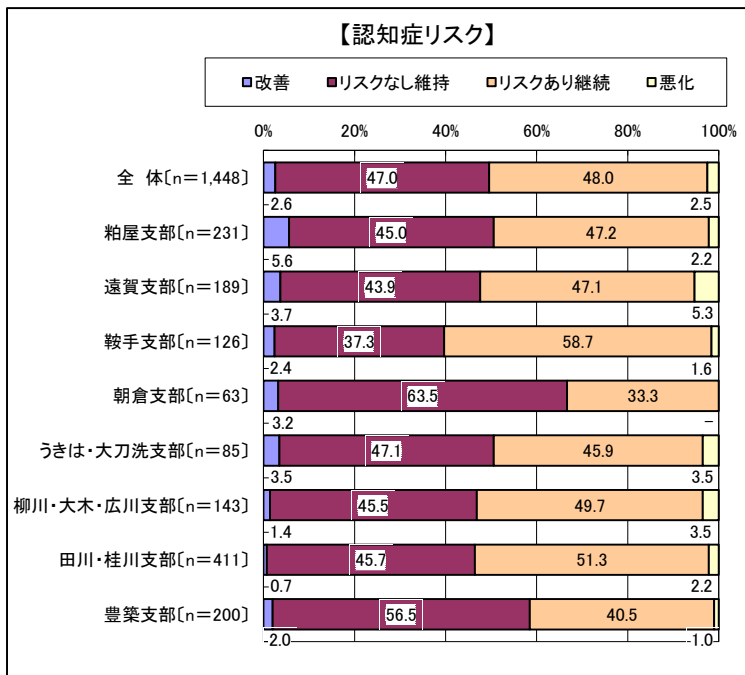
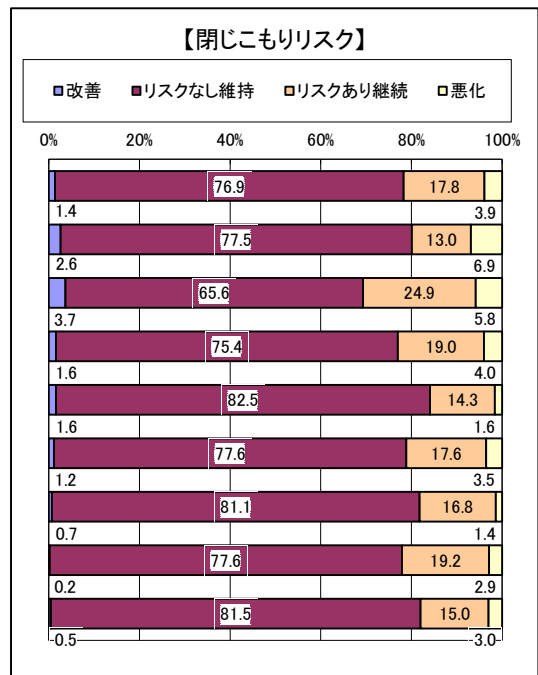
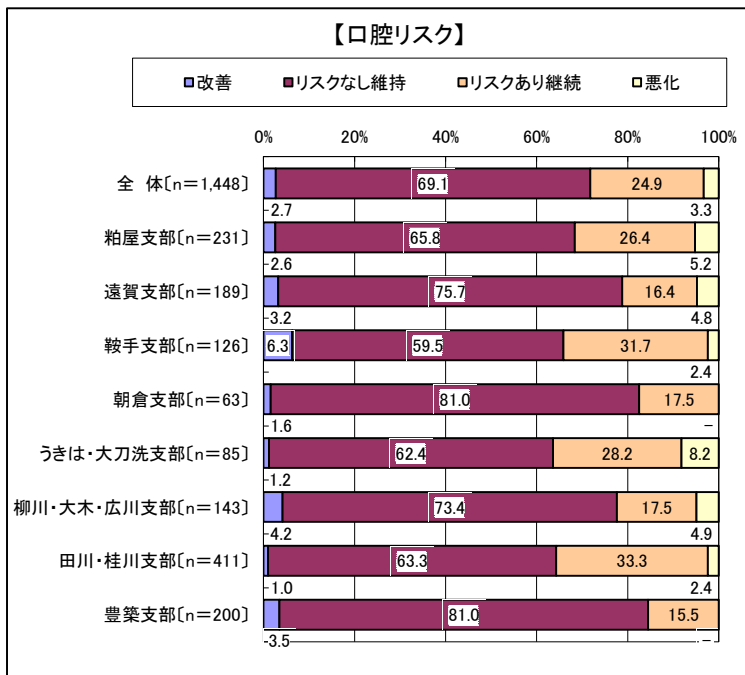


② 客観的効果の状況

- 要介護度については、朝倉支部（3.2%）は他に比べて改善層の割合がやや高く、うきは・大刀洗支部（4.7%）は悪化層の割合が他に比べて高くなっています。
- 基本チェックリストの全般リスクについては、朝倉支部（65.1%）、豊築支部（60.5%）でリスクなし維持層の割合が6割以上となっています。
- 基本チェックリスト得点は、遠賀支部（0.31）と鞍手支部（0.26）で上昇しています。

図表－４５ 支部別 要介護度・リスク項目の変化の状況（要介護・要支援認定者）





図表－４６ 支部別 基本チェックリスト得点の変化（要介護・要支援認定者）

	初 回 調 査	（第 3 2 ヶ 月 後 調 査）	（初 回 ↓ 第 2 回 増 減）
全体	10.45	10.57	0.12
粕屋支部	10.68	10.77	0.09
遠賀支部	10.44	10.75	0.31
鞍手支部	10.71	10.97	0.26
朝倉支部	9.05	9.13	0.08
うきは・大刀洗支部	11.05	11.11	0.06
柳川・大木・広川支部	10.07	10.04	▲ 0.03
田川・桂川支部	10.82	10.98	0.16
豊築支部	9.73	9.71	▲ 0.02

③ 主観的効果の状況

- 利用者が多い主要サービス（全体の利用者が50人以上）における、支部別の満足度得点・効果度得点の状況は以下のとおりです。

図表－４７ 支部別 主要サービスの満足度・効果度得点（要支援認定者）

【通所型サービス（総合事業）】				【介護予防通所リハ】			
	調査数（人）	得点（平均）			調査数（人）	得点（平均）	
		満足度	効果度			満足度	効果度
全体	603	3.57	3.44	全体	368	3.37	3.15
粕屋支部	101	3.63	3.47	粕屋支部	56	2.98	2.63
遠賀支部	80	3.20	3.49	遠賀支部	50	3.18	3.20
鞍手支部	34	3.56	3.79	鞍手支部	41	3.46	3.20
朝倉支部	33	3.42	3.33	朝倉支部	11	3.55	3.18
うきは・大刀洗支部	38	3.58	3.18	うきは・大刀洗支部	20	3.55	3.20
柳川・大木・広川支部	50	4.12	3.92	柳川・大木・広川支部	57	3.04	3.16
田川・桂川支部	185	3.30	2.98	田川・桂川支部	67	3.66	3.22
豊築支部	82	4.21	4.12	豊築支部	66	3.71	3.45

【訪問型サービス（総合事業）】				【介護予防訪問看護】			
	調査数（人）	得点（平均）			調査数（人）	得点（平均）	
		満足度	効果度			満足度	効果度
全体	606	3.67	3.51	全体	74	3.64	3.43
粕屋支部	79	3.58	3.62	粕屋支部	18	3.28	3.61
遠賀支部	72	3.83	3.72	遠賀支部	12	3.33	2.67
鞍手支部	58	3.69	3.83	鞍手支部	0	0.00	0.00
朝倉支部	19	3.00	2.95	朝倉支部	5	4.00	4.20
うきは・大刀洗支部	18	4.72	5.00	うきは・大刀洗支部	7	3.86	4.29
柳川・大木・広川支部	31	4.58	4.03	柳川・大木・広川支部	7	5.00	3.29
田川・桂川支部	275	3.42	3.16	田川・桂川支部	20	3.35	3.30
豊築支部	54	4.17	3.94	豊築支部	5	4.20	3.40

【介護予防福祉用具】				【総合的に】			
	調査数（人）	得点（平均）			調査数（人）	得点（平均）	
		満足度	効果度			満足度	効果度
全体	683	4.31	4.27	全体	1,402	3.73	3.62
粕屋支部	137	4.32	4.30	粕屋支部	222	3.60	3.50
遠賀支部	104	4.29	4.33	遠賀支部	189	3.65	3.65
鞍手支部	64	4.36	4.22	鞍手支部	126	3.74	3.83
朝倉支部	29	4.07	4.31	朝倉支部	62	3.66	3.60
うきは・大刀洗支部	45	4.49	4.36	うきは・大刀洗支部	83	4.10	3.69
柳川・大木・広川支部	55	4.35	4.20	柳川・大木・広川支部	141	4.02	3.78
田川・桂川支部	134	4.13	4.07	田川・桂川支部	380	3.39	3.23
豊築支部	115	4.47	4.43	豊築支部	199	4.30	4.18

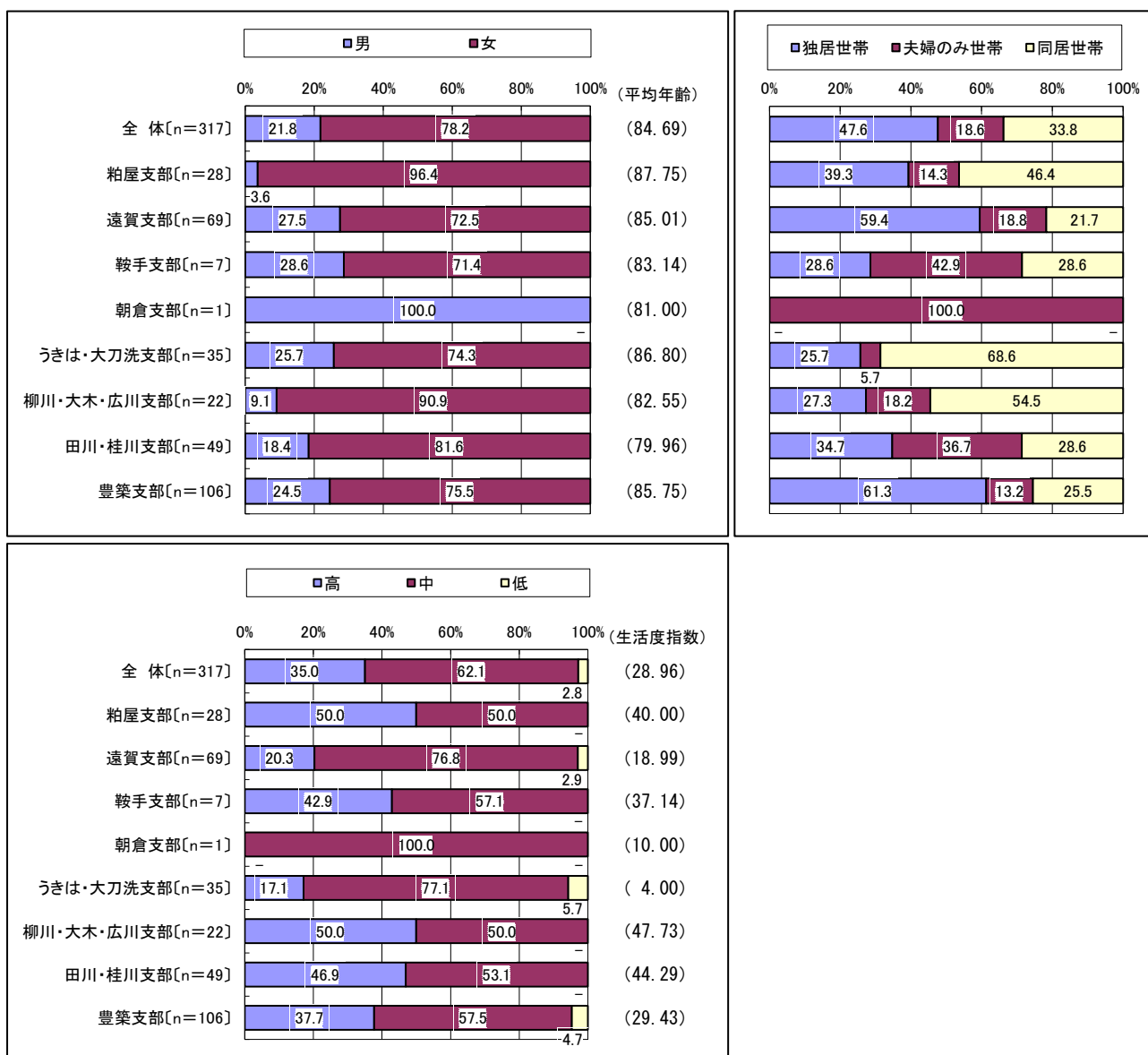
は、支部≧全体を表す。

(2) 事業対象者の支部別状況

① 性別・年齢、家族構成、生活度

- 性別をみると、男性の割合は遠賀支部（27.5%）、うきは・大刀洗支部（25.7%）、豊築支部（24.5%）で高くなっています。平均年齢は、粕屋支部（87.75歳）で高くなっています。
- 家族構成における独居世帯の割合は、豊築支部（61.3%）や遠賀支部（59.4%）で高くなっています。一方、同居世帯の割合は、うきは・大刀洗支部（68.6%）や柳川・大木・広川支部（54.5%）で高くなっています。
- 生活度指数は、うきは・大刀洗支部（4.00）で低くなっています。

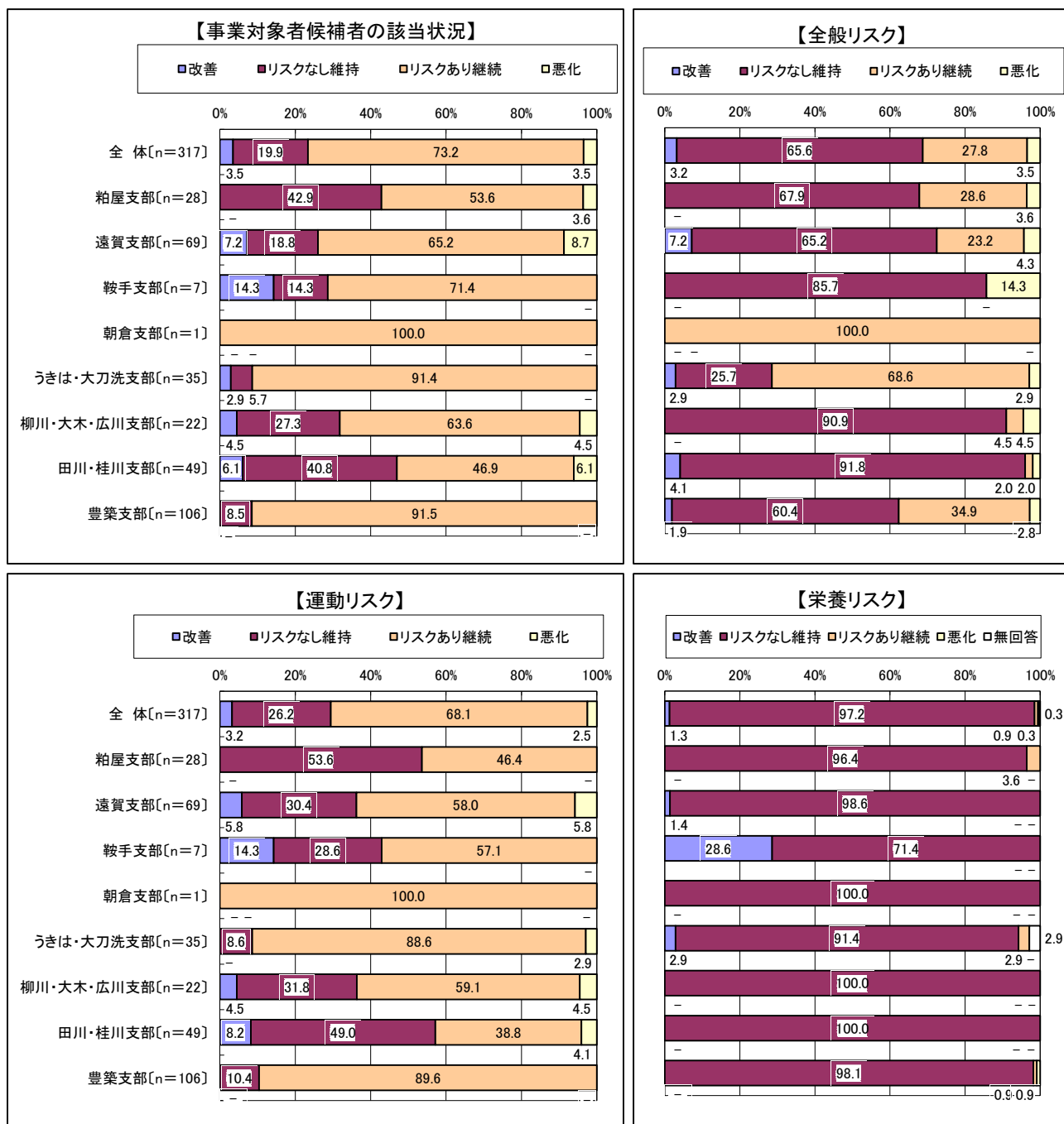
図表－４８ 支部別 性別・年齢、家族構成、生活度ランクの状況（事業対象者）

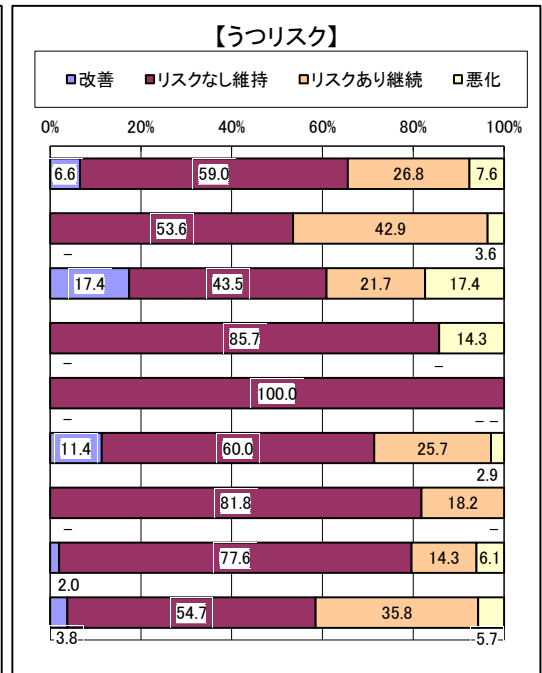
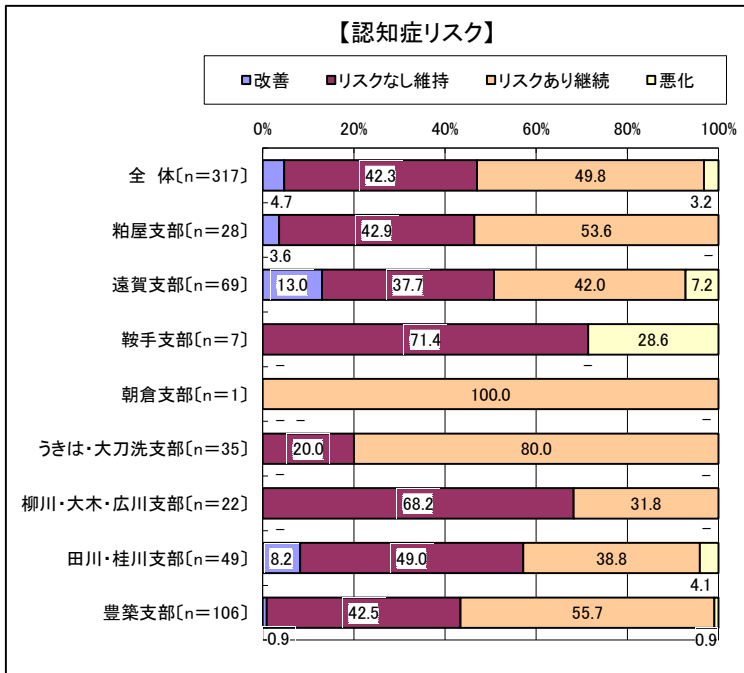
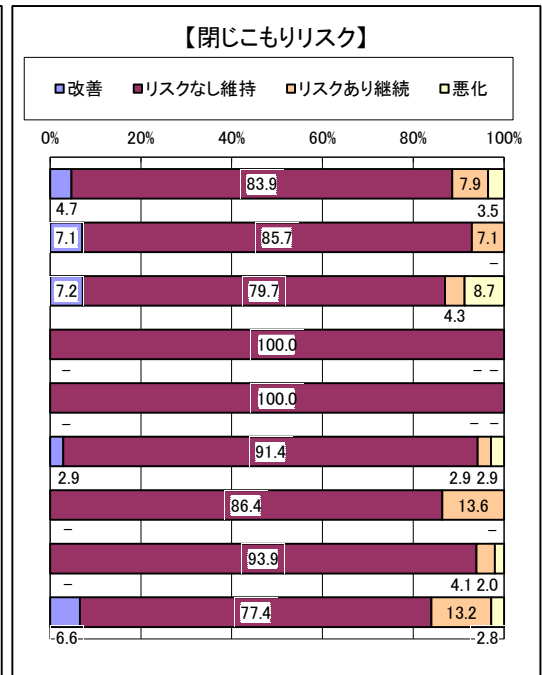
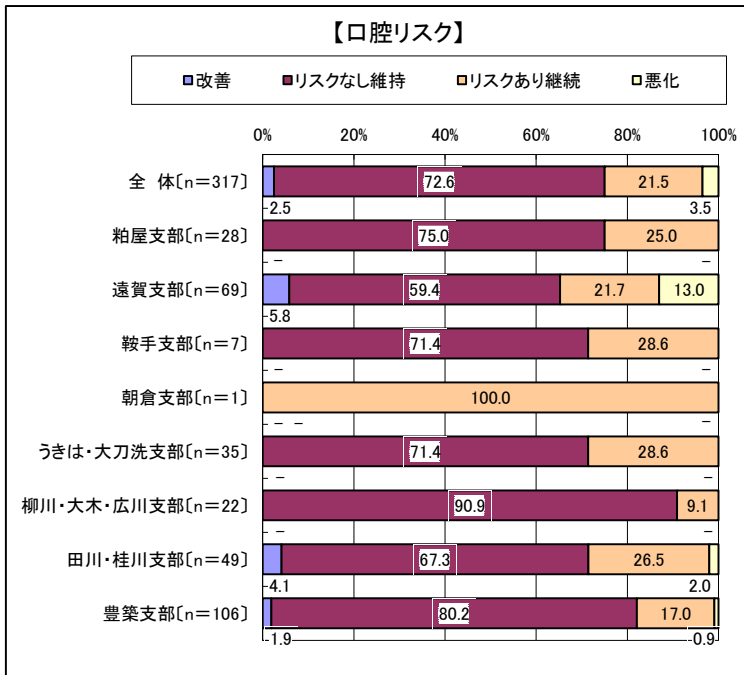


② 客観的効果の状況

- 事業対象者候補者の該当状況について、粕屋支部（42.9%）、田川・桂川支部（40.8%）はリスクなし維持層が他に比べて高くなっています。
- 基本チェックリストの全般リスクについては、田川・桂川支部（91.8%）、柳川・大木・広川支部（90.9%）でリスクなし維持層の割合が9割強となっています。
- 基本チェックリスト得点は、遠賀支部（0.42）や田川・桂川支部（0.35）で上昇しています。

図表－４９ 支部別 事業対象者候補者該当状況・リスク項目の変化の状況（事業対象者）





図表－５０ 支部別 基本チェックリスト得点の変化（事業対象者）

	初 回 調 査	（第 3 2 回 ケ 月 後 調 査）	（初 回 ↓ 第 2 回 増 減）
全体	8.95	9.11	0.16
粕屋支部	8.64	8.64	0.00
遠賀支部	8.70	9.12	0.42
鞍手支部	7.86	8.14	0.28
朝倉支部	14.00	14.00	0.00
うきは・大刀洗支部	11.69	11.71	0.02
柳川・大木・広川支部	7.23	7.32	0.09
田川・桂川支部	5.98	6.33	0.35
豊築支部	10.06	10.08	0.02

③ 主観的効果の状況

- 支部別のサービス満足度得点・効果度得点の状況は以下のとおりです。

図表－５１ 支部別 主要サービスの満足度・効果度得点（事業対象者）

【通所型サービス（総合事業）】				【訪問型サービス（総合事業）】			
	調査数（人）	得点（平均）			調査数（人）	得点（平均）	
		満足度	効果度			満足度	効果度
全体	264	3.84	3.59	全体	67	3.96	4.13
粕屋支部	23	2.78	2.43	粕屋支部	5	4.20	4.00
遠賀支部	51	3.65	3.90	遠賀支部	18	3.89	4.28
鞍手支部	5	4.00	1.40	鞍手支部	2	1.00	3.00
朝倉支部	1	5.00	5.00	朝倉支部	0	-	-
うきは・大刀洗支部	33	3.12	3.30	うきは・大刀洗支部	3	5.00	5.00
柳川・大木・広川支部	17	4.76	4.53	柳川・大木・広川支部	13	4.38	4.08
田川・桂川支部	45	3.78	3.40	田川・桂川支部	5	2.60	2.60
豊築支部	89	4.33	3.85	豊築支部	21	4.14	4.43

【総合的に】			
	調査数（人）	得点（平均）	
		満足度	効果度
全体	281	3.84	3.70
粕屋支部	28	3.04	2.71
遠賀支部	69	3.71	4.00
鞍手支部	7	3.14	1.86
朝倉支部	1	5.00	5.00
うきは・大刀洗支部	35	3.46	3.51
柳川・大木・広川支部	22	4.64	4.45
田川・桂川支部	17	3.00	2.71
豊築支部	102	4.27	3.96

は、支部≧全体を表す。

8. 介護予防に資する住民主体の「通いの場」への参加について

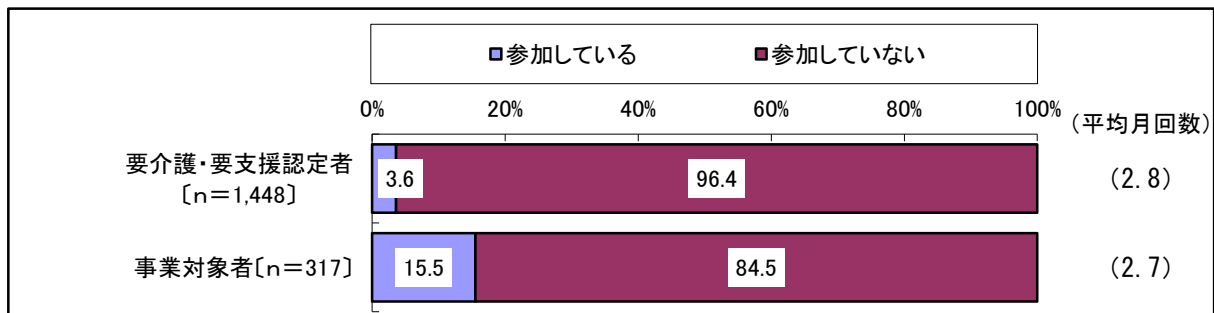
- 【定義】介護予防に資する住民主体の通いの場（保険者機能推進交付金評価指標における定義）
- ・体操や趣味活動等を行い介護予防に資すると市町村が判断する通いの場であること
 - ・通いの場の運営主体は、住民であること
 - ・通いの場の運営について、市町村が財政的支援（地域支援事業の一次予防事業、地域支援事業の任意事業、市町村の独自事業等）を行っているものに限らない

(1) 「通いの場」への参加状況

① 「通いの場」への参加率・参加回数

- 現在、総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）と並行して、住民主体の「通いの場」に参加しているかたずねたところ、参加率は事業対象者で1割半ばとなっています（要介護・要支援認定者：3.6%、事業対象者：15.5%）。
- 「通いの場」参加者の参加回数は平均で月3回程度です（要介護・要支援認定者：2.8回/月、事業対象者：2.7回/月）。

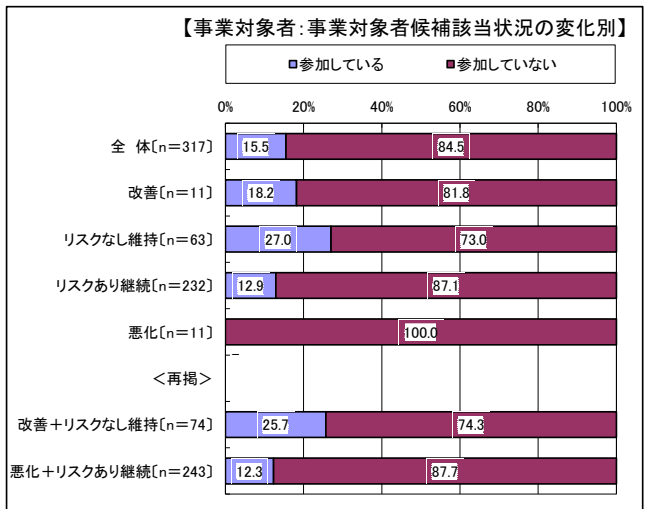
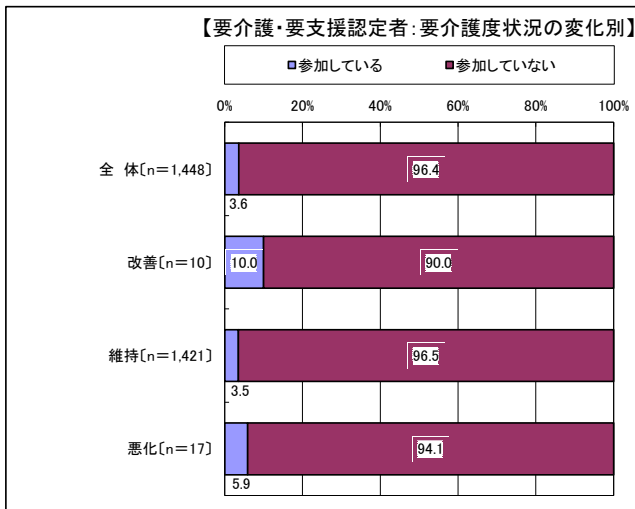
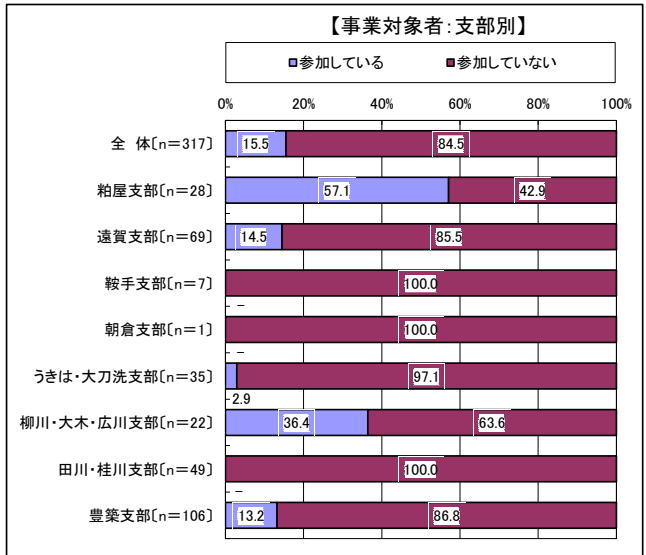
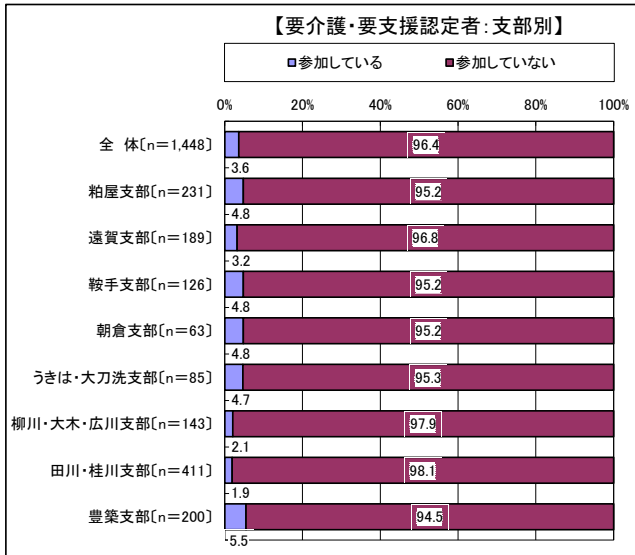
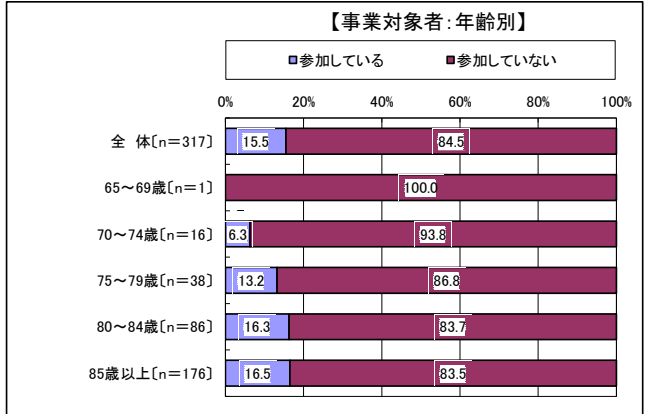
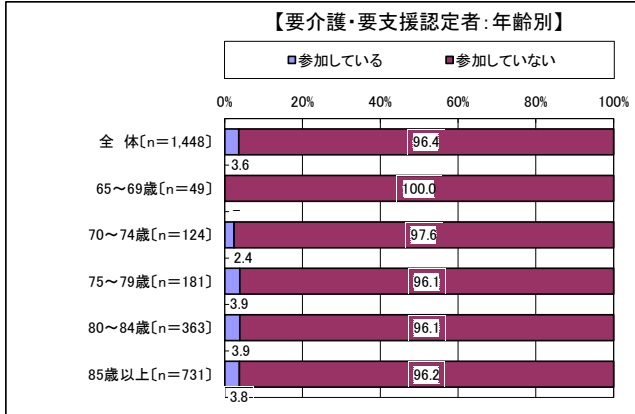
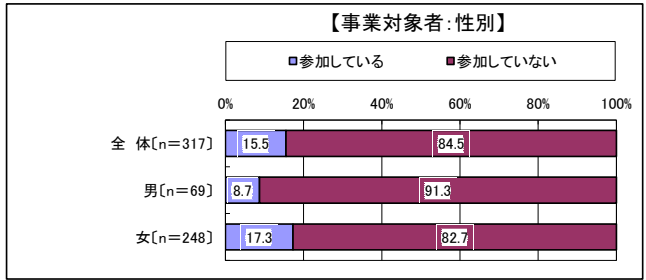
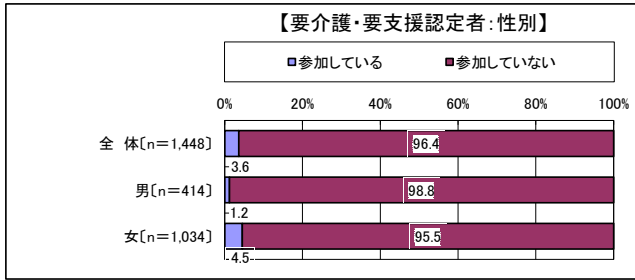
図表－52 「通いの場」への参加状況



② 「通いの場」への属性別参加状況

- 「通いの場」への参加率を性別にみると、要介護・要支援認定者、事業対象者ともに男性より女性で参加率が高くなっています。
- 年齢別にみると、要介護・要支援認定者、事業対象者ともに75歳以上で参加率が高くなっています。
- 支部別にみると、事業対象者では粕屋支部(57.1%)で6割弱、柳川・大木・広川支部(36.4%)で3割半ばと参加率が高くなっています。

図表－５３ 「通いの場」への属性別参加状況



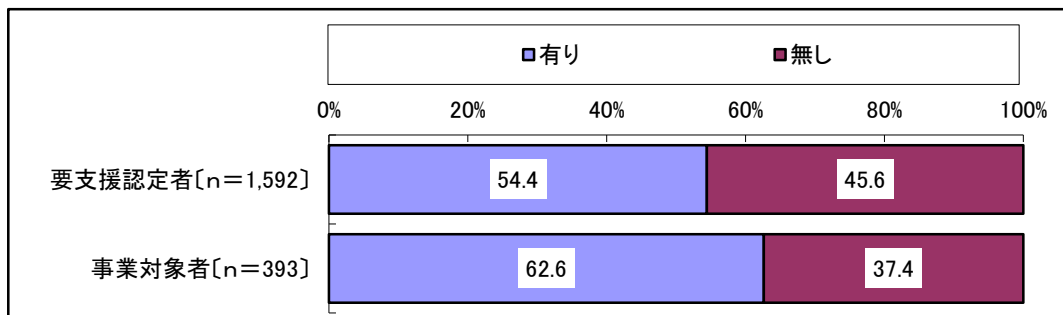
9. 将来の介護について

本調査では、厚生労働省が、主に「介護離職ゼロ」の観点から介護保険事業計画策定の基礎調査として実施を推奨した「在宅介護実態調査」（調査対象：要介護認定者及びその家族）に準拠した調査項目により、要支援認定者、事業対象者における将来の介護に関わる状況等を把握しました。

(1) 要介護状態になった場合の家族介護者

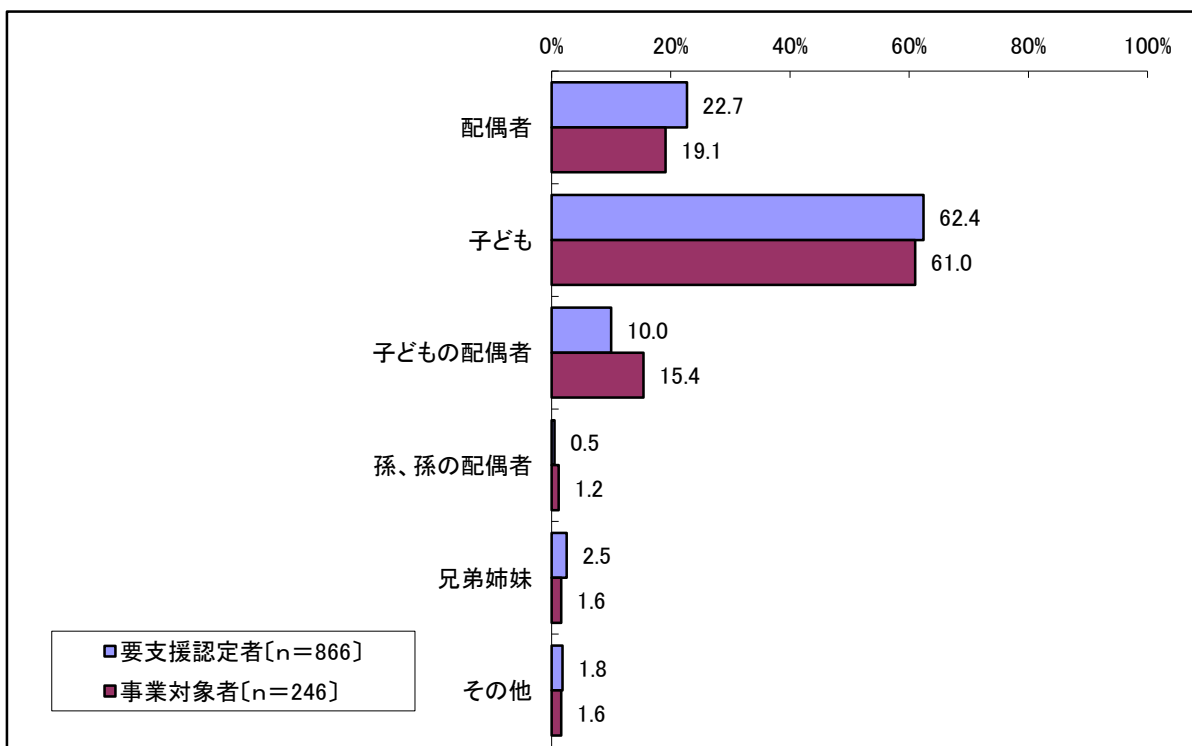
- 要介護状態（要介護1以上）になった場合に介護してくれる家族・親族がいる人が5割強～6割強となっています（要支援認定者：54.4%、事業対象者：62.6%）。
- 介護してくれる家族・親族の続柄は要支援認定者、事業対象者ともに「子ども」が6割で最も多くなっています（要支援認定者：62.4%、事業対象者：61.0%）。

図表－54 要介護状態になった場合に介護してくれる家族・親族の有無
(要支援認定者、事業対象者)



※本項（将来の介護について）に係る調査項目は初回調査時に実施（以下、同じ）

図表－55 要介護状態になった場合に介護してくれる家族・親族の続柄
(要支援認定者、事業対象者)

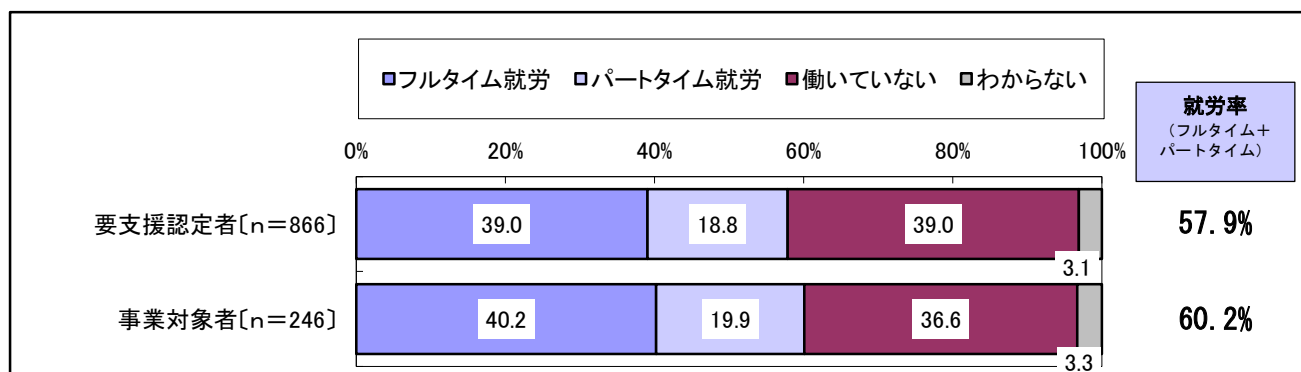


(2) 家族介護者の就労について

① 家族介護者の現在の就労状況

- 要介護状態（要介護1以上）になった場合に介護してくれる家族・親族の6割弱～6割は、現在、フルタイム又はパートタイムで就労しています（要支援認定者57.9%、事業対象者：60.2%）。内訳をみると、フルタイムでの就労が4割、パートタイムでの就労が2割となっています。

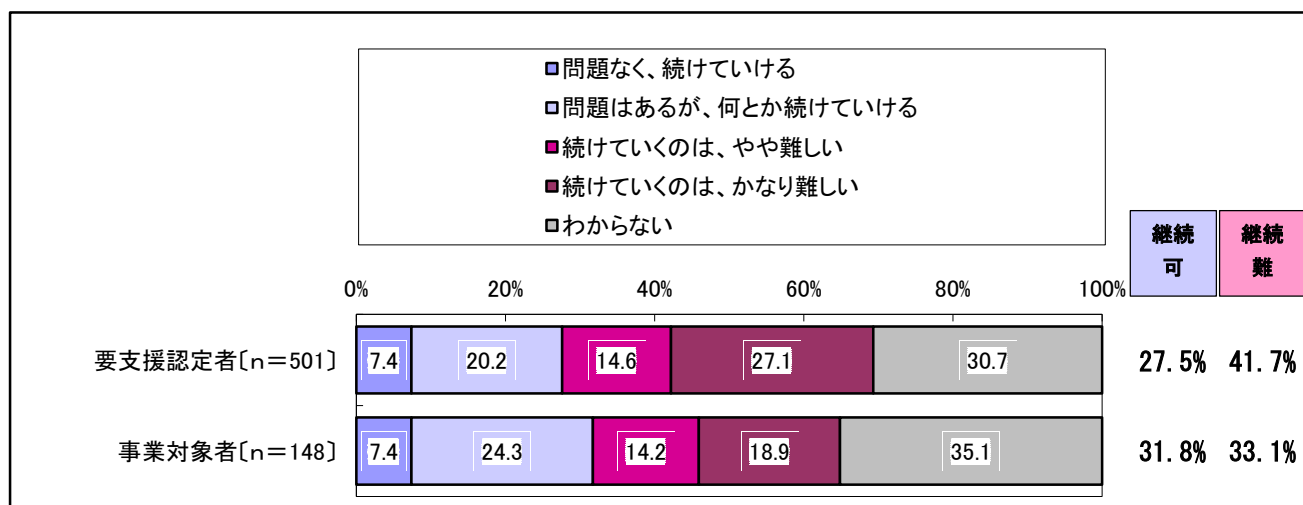
図表－56 要介護状態になった場合に介護してくれる家族・親族の現在の就労状況
（要支援認定者、事業対象者）



② 介護と仕事の両立について

- 「フルタイム」「パートタイム」で就労している家族・親族が介護と仕事を両立できるか（実際に介護が必要になった場合に、働きながら介護を続けていけそうか）たずねたところ、要支援認定者では「続けていくのは、かなり難しい」との回答が3割弱となっており、「続けていくのは、やや難しい」を合わせると、継続が難しい人が4割強となっています(41.7%)。
- 就労状況別にみると、「続けていくのは、かなり難しい」の割合は、要支援認定者、事業対象者ともにパートタイム就労者よりもフルタイム就労者で高く、要支援認定者では3割となっています（31.4%）。

図表－57 就労している家族・親族の介護と仕事の両立について
[働きながら介護を続けていけそうか]
（要支援認定者、事業対象者）



※継続可＝「問題なく、続けていける」＋「問題はあるが、何とか続けていける」
継続難＝「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」

図表－５８ 就労状況別 就労している家族・親族の介護と仕事の両立について
 [働きながら介護を続けていけそうか]
 (要支援認定者、事業対象者)

	調査数 (人)	働きながら介護を続けていけそうか(%)						[再掲]	
		問題なく、 続けて	問題はあるが、 何とか 続ける	やや 難しい が、 何とか 続ける	かなり 難しい が、 何とか 続ける	わからない	わからない	継続 可	継続 難
要介護・要支援認定者	501	7.4	20.2	14.6	27.1	30.7	27.5	41.7	
フルタイム就労	338	5.9	18.0	12.7	31.4	32.0	24.0	44.1	
パートタイム就労	163	10.4	24.5	18.4	18.4	28.2	35.0	36.8	
事業対象者	148	7.4	24.3	14.2	18.9	35.1	31.8	33.1	
フルタイム就労	99	9.1	22.2	12.1	22.2	34.3	31.3	34.3	
パートタイム就労	49	4.1	28.6	18.4	12.2	36.7	32.7	30.6	

※ 継続可＝「問題なく、続けていける」＋「問題はあるが、何とか続けていける」

継続難＝「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」

III. 介護予防・日常生活支援総合事業に関する構成市町村調査

1. 調査の概要

(1) 調査設計

構成市町村調査の調査目的・方法・対象等は以下のとおりです。

調査目的	構成市町村の地域支援事業実績報告の一環として、令和3年度の介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス、一般介護予防事業)の実施状況を把握する。
調査対象	構成市町村(33市町村)
調査方法	福岡県介護保険広域連合のシステムを通じた依頼・回収
回収状況	33市町村(回収率100.0%)

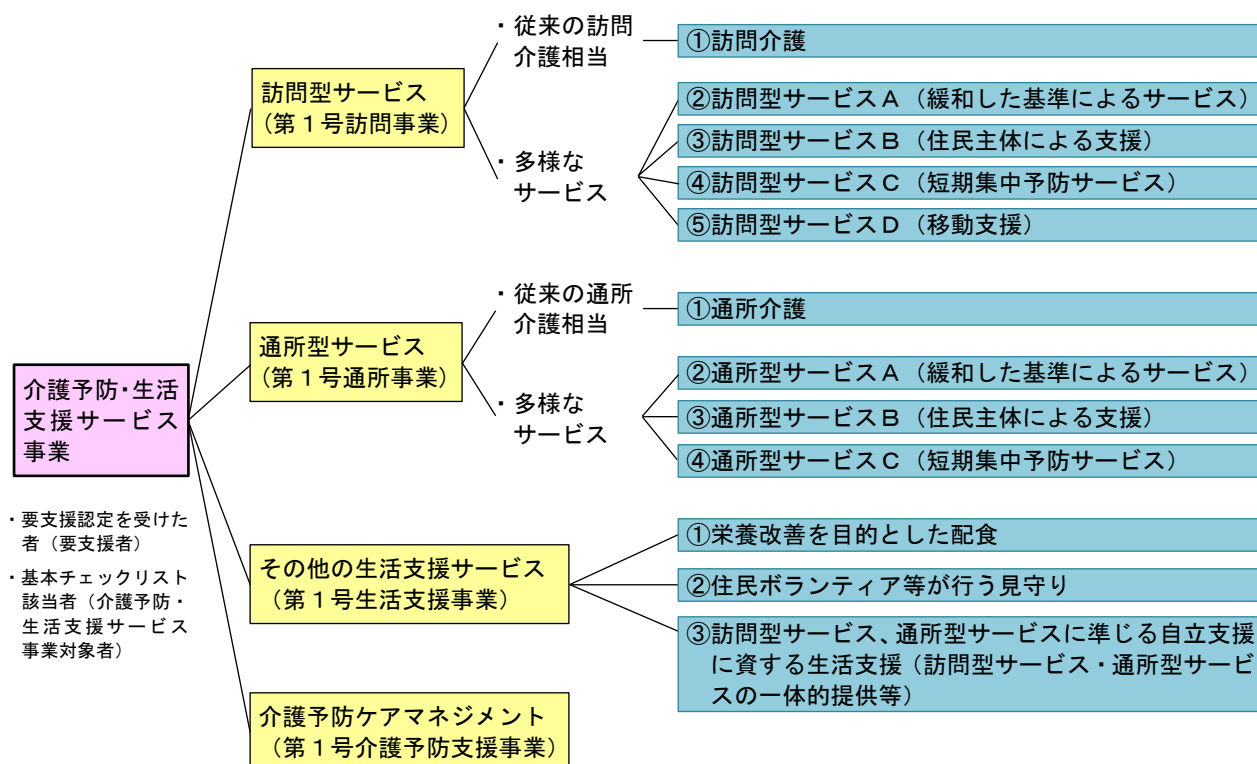
なお、新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小した場合、又は中止された場合についても、本報告書には区別なく掲載しています。

2. 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況

(1) 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況

- 介護予防・生活支援サービス事業は、要支援認定者等の多様な生活支援ニーズに対応するため、従来の介護予防訪問介護・介護予防通所介護に相当するサービスに加え、住民主体の支援等も含め、多様なサービスを制度の対象とする事業です。
- 令和3年度の実施状況をみると、訪問型サービス(第1号訪問事業)は15市町村で20事業、通所型サービス(第1号通所事業)は14市町村で21事業、その他の生活支援サービス(第1号生活支援事業)は8町で10事業が実施されています。

図表-59 介護予防・生活支援サービス事業の概要



※ 上記はサービスの典型例として示しているもの。市町村はこの例を踏まえて、地域の実情に応じた、サービス内容を検討する。

図表-60 介護予防・生活支援サービス事業の実施状況（介護予防ケアマネジメントを除く）

	訪問型サービス(第1号訪問事業)					通所型サービス(第1号通所事業)					その他の生活支援サービス(第1号生活支援事業)			
	訪問型サービスA (緩和した基準によるサービス)	訪問型サービスB (住民主体による支援)	訪問型サービスC (短期集中予防サービス)	訪問型サービスD (移動支援)		通所型サービスA (緩和した基準によるサービス)	通所型サービスB (住民主体による支援)	通所型サービスC (短期集中予防サービス)	その他		栄養改善を目的とした配食	定期的な安否確認及び緊急時の対応	その他	
全体	15市町村 (20事業)	6市町村 (7事業)	7市町 (7事業)	5町村 (5事業)	1市 (1事業)	14市町村 (21事業)	1町 (1事業)	4市町 (5事業)	11市町村 (14事業)	1町 (1事業)	8町 (10事業)	6町 (6事業)	2町 (2事業)	2町 (2事業)
宇美町	1事業	-	1事業	-	-	-	-	-	-	-	1事業	1事業	-	-
篠栗町	1事業	-	-	1事業	-	2事業	-	-	2事業	-	-	-	-	-
志免町	1事業	-	1事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
須恵町	1事業	1事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新宮町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
久山町	1事業	-	1事業	-	-	2事業	-	1事業	-	1事業	1事業	-	1事業	-
芦屋町	-	-	-	-	-	1事業	-	-	1事業	-	-	-	-	-
水巻町	1事業	-	-	1事業	-	1事業	-	-	1事業	-	2事業	1事業	-	1事業
岡垣町	1事業	1事業	-	-	-	1事業	-	-	1事業	-	2事業	1事業	1事業	-
遠賀町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮若市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小竹町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1事業	1事業	-	-
鞍手町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
筑前町	2事業	-	1事業	1事業	-	1事業	-	-	1事業	-	-	-	-	-
東峰村	2事業	1事業	-	1事業	-	2事業	-	-	2事業	-	-	-	-	-
うきは市	1事業	-	-	-	1事業	4事業	-	2事業	2事業	-	-	-	-	-
大刀洗町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
柳川市	1事業	1事業	-	-	-	1事業	-	-	1事業	-	-	-	-	-
大木町	3事業	2事業	-	1事業	-	2事業	1事業	-	1事業	-	1事業	1事業	-	-
広川町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
田川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
桂川町	-	-	-	-	-	1事業	-	-	1事業	-	-	-	-	-
香春町	-	-	-	-	-	1事業	-	-	1事業	-	-	-	-	-
添田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1事業	-	-	1事業
糸田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大任町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福智町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊前市	1事業	-	1事業	-	-	1事業	-	1事業	-	-	-	-	-	-
吉富町	2事業	1事業	1事業	-	-	-	-	-	-	-	1事業	1事業	-	-
上毛町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
築上町	1事業	-	1事業	-	-	1事業	-	1事業	-	-	-	-	-	-

※表には新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む

※以下の区分の事業は実施する市町村がない

訪問型サービス:「介護予防訪問介護相当サービス(国保連合会請求分以外)」、「その他」

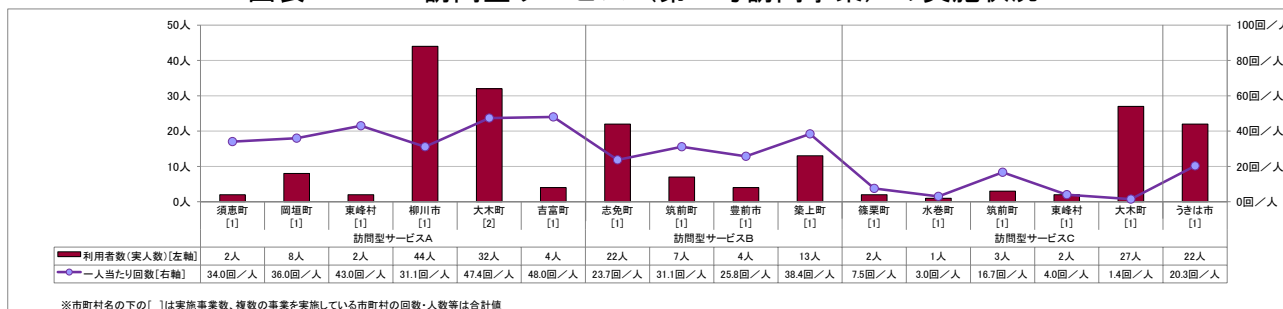
通所型サービス:「介護予防通所介護相当サービス(国保連合会請求分以外)」

その他の生活支援サービス:「訪問型サービス・通所型サービスと一体的な提供等」

(2) 訪問型サービス（第1号訪問事業）

- 訪問型サービスは A・B・C・D の4類型で実施されており、実利用者数は訪問型サービス A（緩和した基準によるサービス）の柳川市（44人）と大木町（32人）、訪問型サービス B（住民主体による支援）の志免町（22人）、訪問型サービス C（短期集中予防サービス）の大木町（27人）、訪問型サービス D（移動支援）のうきは市（22人）で多くなっています。

図表－61 訪問型サービス（第1号訪問事業）の実施状況

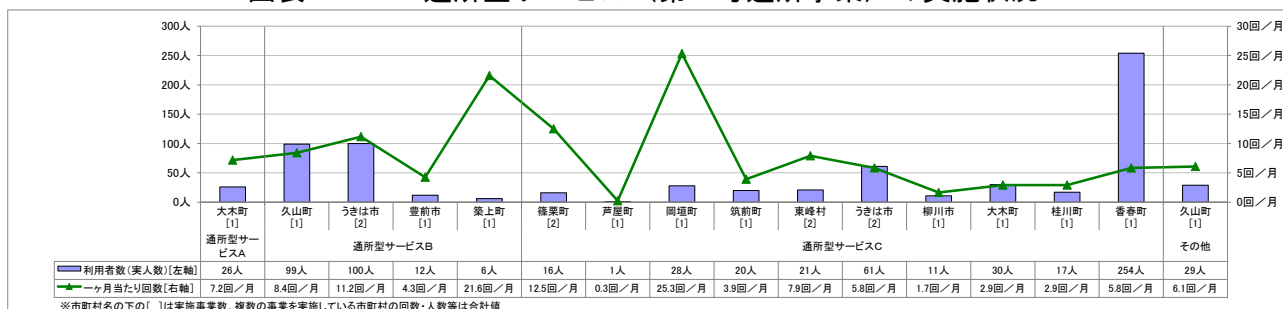


※利用者数が0人である宇美町[訪問型サービスB]、久山町[訪問型サービスB]、吉富町[訪問型サービスB]は非表示
 ※新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む

(3) 通所型サービス（第1号通所事業）

- 通所型サービスは A・B・C 及びその他の4類型で実施されており、通所型サービス C（短期集中予防サービス）での実施が10市町村と多くなっています。
- 実利用者数は通所型サービス B（住民主体による支援）のうきは市（100人）と久山町（99人）、訪問型サービス C（短期集中予防サービス）の香春町（254人）などで多くなっています。

図表－62 通所型サービス（第1号通所事業）の実施状況

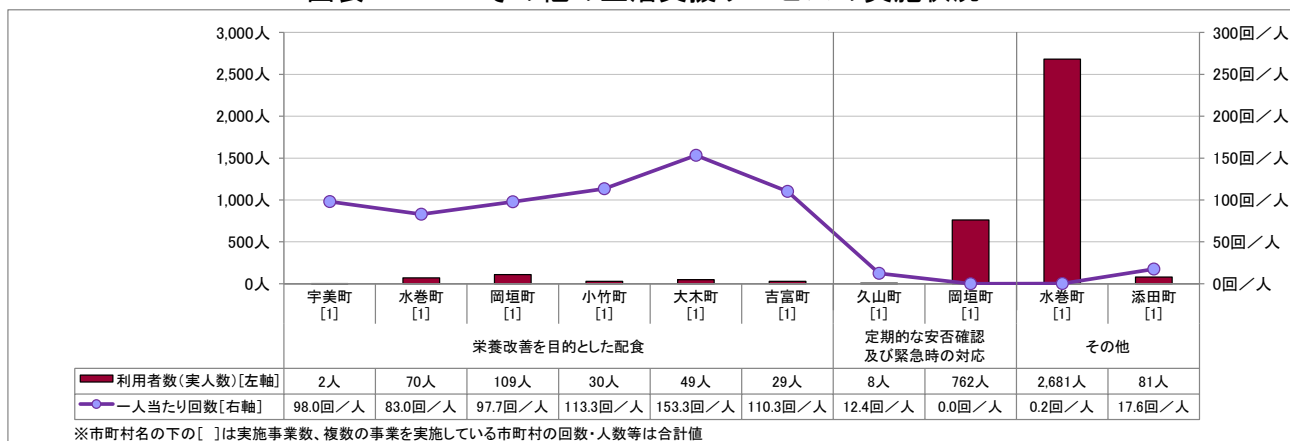


※利用者数が0人である水巻町[通所型サービスC]は非表示
 ※新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む

(4) その他の生活支援サービス（第1号生活支援事業）

- その他の生活支援サービスを実施しているのは8町であり、配食サービス関連の事業が6事業、定期的な安否確認及び緊急時の対応に関連した事業が2事業、買い物支援事業が2事業でした。
- 一人当たり実施回数は、大木町（153.3回／人）で年間約150回となっています。

図表－63 その他の生活支援サービスの実施状況



※新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む

図表-64 構成市町村別 介護予防・生活支援サービス事業一覧（令和3年度）（表には新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む）

事業区分	実施市町村	事業名	事業費	実施方法	実施回数	利用者数(各事業ごとに実人数)				一人当たり実施回数 (訪問型サービス、生活支援サービス)	一ヶ月当たり実施回数 (通所型サービス)	一人当たり事業費
						要支援1	要支援2	事業対象者	合計			
(1)訪問型サービス (第1号訪問事業)	イ 訪問型サービスA (緩和した基準によるサービス) (国保連合会請求以外分)	須恵町 須恵町高齢者生活支援サービス事業	918,247円	2.委託	68回	1人	1人	0人	2人	34.0回/人		459,124円/人
		岡垣町 訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス)	269,280円	2.委託	288回	5人	2人	1人	8人	36.0回/人		33,660円/人
		東峰村 訪問型介護予防事業	2,163,295円	2.委託	86回	0人	0人	2人	2人	43.0回/人		1,081,648円/人
		柳川市 生活管理指導員派遣事業 / シルバー家事応援隊	2,572,156円	2.委託	1,369回	8人	13人	23人	44人	31.1回/人		58,458円/人
		大木町 高齢者等ごみ出しサポート事業	387,711円	2.委託	1,133回	3人	3人	11人	17人	66.6回/人		22,807円/人
		大木町 訪問型サービスA(ホームヘルプ)	622,900円	2.委託	383回	1人	3人	11人	15人	25.5回/人		41,527円/人
	吉富町 訪問型サービスA(緩和基準・国保連請求以外)	205,200円	2.委託	192回	0人	1人	3人	4人	48.0回/人		51,300円/人	
	ウ 訪問型サービスB (住民主体による支援)	宇美町 訪問型サービスB支えあい事業	0円	4.その他	0回	0人	0人	0人	0人	-		-
		志免町 訪問型サービスB(住民主体による支援)委託事業	1,292,029円	2.委託	521回	10人	4人	8人	22人	23.7回/人		58,729円/人
		久山町 介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービスB)	0円	2.委託	0回	0人	0人	0人	0人	-		-
		筑前町 訪問型サービスB	213,640円	2.委託	218回	6人	1人	0人	7人	31.1回/人		30,520円/人
		豊前市 訪問型サービスB	139,625円	2.委託	103回	0人	0人	4人	4人	25.8回/人		34,906円/人
		吉富町 訪問型サービスB	30,000円	3.補助(助成)	0回	0人	0人	0人	0人	-		-
	エ 訪問型サービスC (短期集中予防サービス)	築上町 介護予防・日常生活支援総合事業サービスB	508,980円	2.委託	499回	5人	5人	3人	13人	38.4回/人		39,152円/人
		篠栗町 420 訪問型サービスC	123,750円	2.委託	15回	1人	0人	1人	2人	7.5回/人		61,875円/人
		水巻町 訪問型サービスC(短期集中予防サービス)	21,144円	2.委託	3回	0人	1人	0人	1人	3.0回/人		21,144円/人
		筑前町 訪問型サービスC	300,000円	2.委託	50回	1人	2人	0人	3人	16.7回/人		100,000円/人
	オ 訪問型サービスD(移動支援)	大木町 訪問型サービスD(おおき健康づくり大学)	220,000円	2.委託	39回	4人	4人	19人	27人	1.4回/人		8,148円/人
		うきは市 訪問型サービスD事業	6,024,000円	3.補助(助成)	446回	4人	4人	14人	22人	20.3回/人		273,818円/人
	(2)通所型サービス (第1号通所事業)	イ 通所型サービスA (緩和した基準によるサービス) (国保連合会請求以外分)	大木町 もみじ	3,951,360円	2.委託	86回	3人	5人	18人	26人		7.2回/月
久山町 久山町地域デイサービス事業			135,704円	1.直接実施	101回	2人	1人	96人	99人		8.4回/月	1,371円/人
ウ 通所型サービスB (住民主体による支援)		うきは市 通所型サービスB事業(立ち上げ支援及び運営に係る支援)	3,923,084円	2.委託	19回	7人	1人	42人	50人		1.6回/月	78,462円/人
		うきは市 通所型サービスB事業	5,190,000円	3.補助(助成)	115回	7人	1人	42人	50人		9.6回/月	103,800円/人
		豊前市 通所型サービスB	239,500円	2.委託	51回	0人	0人	12人	12人		4.3回/月	19,958円/人
		築上町 介護予防・日常生活支援総合事業サービスB	522,240円	2.委託	259回	0人	1人	5人	6人		21.6回/月	87,040円/人
エ 通所型サービスC (短期集中予防サービス)		篠栗町 420 はつらつ教室	4,636,084円	2.委託	54回	1人	0人	6人	7人		4.5回/月	662,298円/人
		篠栗町 420 あゆみ	5,381,004円	2.委託	96回	3人	0人	6人	9人		8.0回/月	597,889円/人
		芦屋町 通所型サービスC(短期集中予防サービス)	70,125円	2.委託	3回	1人	0人	0人	1人		0.3回/月	70,125円/人
		水巻町 通所型サービスC(短期集中予防サービス)	0円	2.委託	0回	0人	0人	0人	0人		-	-
		岡垣町 通所型サービスC(「足腰げんき塾」)	3,280,400円	2.委託	304回	3人	0人	25人	28人		25.3回/月	117,157円/人
		筑前町 通所型サービスC(短期集中予防サービス)元気が出る学校	3,195,520円	2.委託	47回	1人	0人	19人	20人		3.9回/月	159,776円/人
		東峰村 機能訓練事業	2,178,553円	2.委託	47回	0人	0人	9人	9人		3.9回/月	242,061円/人
		東峰村 通所リハビリ教室	1,398,807円	2.委託	48回	3人	2人	7人	12人		4.0回/月	116,567円/人
		うきは市 元気が出る学校	8,198,129円	2.委託	47回	2人	1人	28人	31人		3.9回/月	264,456円/人
		うきは市 うきはスマイルサポーター	1,574,000円	2.委託	23回	2人	1人	27人	30人		1.9回/月	52,467円/人
		柳川市 元気が出る学校	3,271,009円	2.委託	20回	3人	0人	8人	11人		1.7回/月	297,364円/人
		大木町 大木健康づくり大学	1,368,400円	2.委託	35回	4人	3人	23人	30人		2.9回/月	45,613円/人
桂川町 転倒予防教室		1,712,994円	1.直接実施	35回	0人	0人	17人	17人		2.9回/月	100,764円/人	
香春町 介護予防教室		9,205,069円	2.委託	70回	0人	0人	254人	254人		5.8回/月	36,240円/人	
オ その他	久山町 中長期通所型サービス事業(ふれあいスクール)	5,987,545円	2.委託	73回	3人	2人	24人	29人		6.1回/月	206,467円/人	
(3)その他の生活支援サービス (第1号生活支援事業)	ア 栄養改善を目的とした配食	宇美町 栄養改善を目的とした配食	1,932,163円	2.委託	196回	1人	1人	0人	2人	98.0回/人		966,082円/人
		水巻町 栄養改善を目的とした配食サービス	1,601,119円	2.委託	5,810回	40人	30人	0人	70人	83.0回/人		22,873円/人
		岡垣町 「食」の自立支援事業	8,022,850円	2.委託	10,649回	57人	47人	5人	109人	97.7回/人		73,604円/人
		小竹町 小竹町「食」の自立支援事業	2,161,950円	2.委託	3,399回	18人	11人	1人	30人	113.3回/人		72,065円/人
		大木町 配食サービス	6,528,797円	2.委託	7,513回	13人	9人	27人	49人	153.3回/人		133,241円/人
		吉富町 配食サービス事業	1,183,260円	2.委託	3,198回	17人	8人	4人	29人	110.3回/人		40,802円/人
	イ 定期的な安否確認及び緊急時の対応	久山町 老人世帯巡回員派遣事業	472,192円	1.直接実施	99回	3人	0人	5人	8人	12.4回/人		59,024円/人
		岡垣町 お互いさま命のネットワーク活動補助金	680,000円	1.直接実施	35回	400人	336人	26人	762人	0.0回/人		892円/人
	エ その他	水巻町 買物困難者支援事業	220,000円	2.委託	600回	1,340人	1,287人	54人	2,681人	0.2回/人		82円/人
		添田町 添田町買物弱者支援事業	3,258,069円	2.委託	1,426回	22人	12人	47人	81人	17.6回/人		40,223円/人

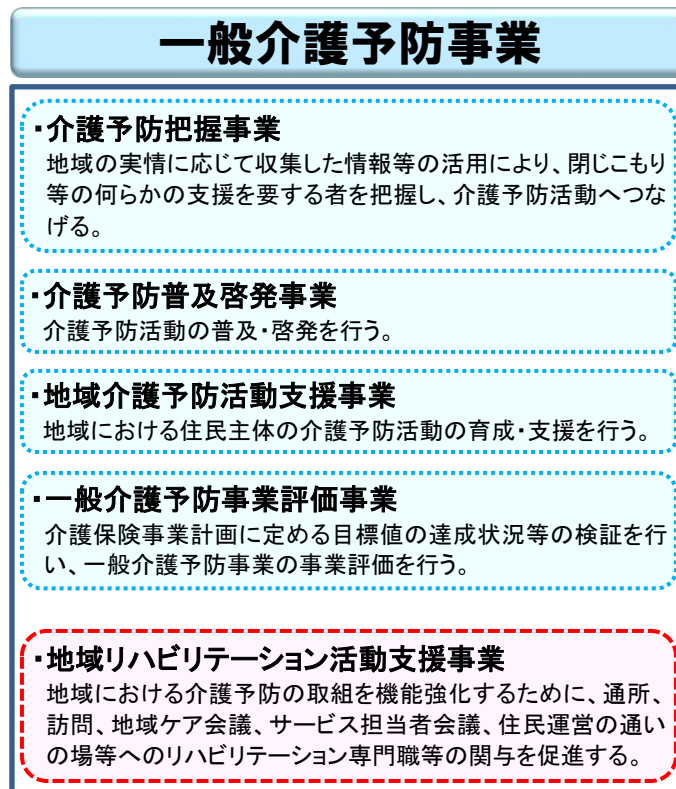
※「-」は該当欄に記入がないもの、あるいは一回当たり延べ利用人数などが算出不能であるもの

3. 一般介護予防事業の実施状況

(1) 一般介護予防事業の実施状況

- 一般介護予防事業は、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、リハビリテーション専門職等を生かした自立支援の取組を推進し、要介護状態になっても生きがい・役割をもって生活できる地域を構築することにより、介護予防を推進することを目的とした事業です。
- 令和3年度の実施状況をみると、介護予防普及啓発事業は30市町村で107事業、地域介護予防活動支援事業は28市町村で77事業、地域リハビリテーション活動支援事業は15市町で15事業が実施されています。

図表－66 一般介護予防事業の概要



図表－６７ 一般介護予防事業の実施状況（介護予防把握事業、一般介護予防事業評価事業を除く）

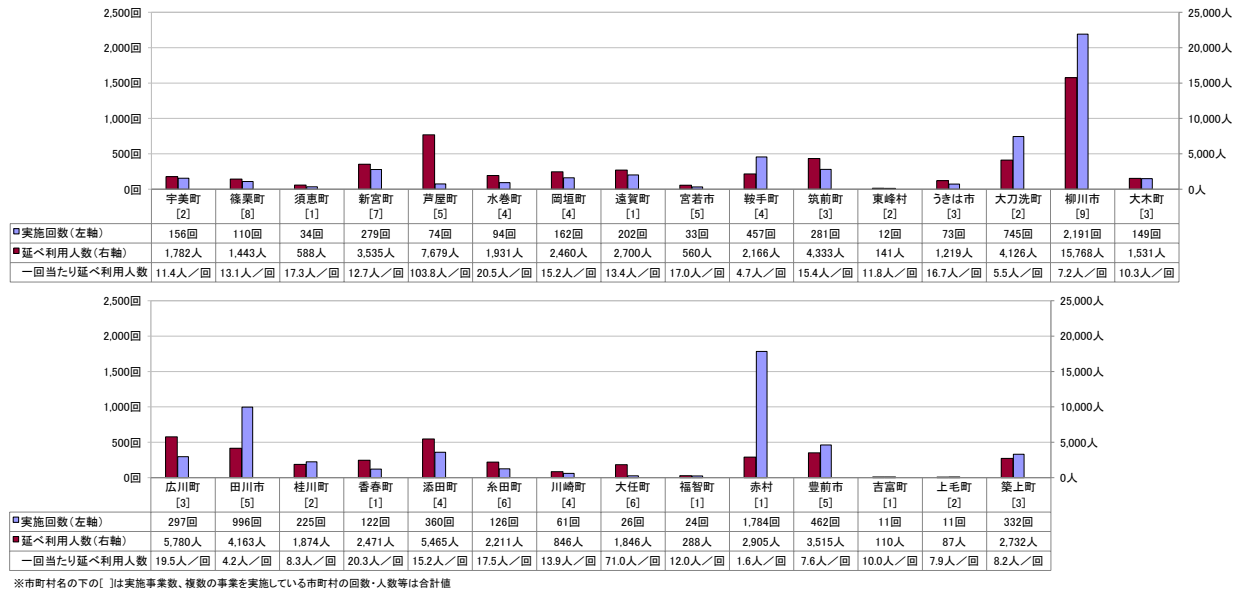
	介護予防普及啓発事業	地域介護予防活動支援事業	地域リハビリテーション活動支援事業
全体	30市町村 (107事業)	28市町村 (77事業)	15市町 (15事業)
宇美町	2事業	1事業	-
篠栗町	8事業	3事業	1事業
志免町	-	-	1事業
須恵町	1事業	2事業	-
新宮町	7事業	2事業	-
久山町	-	1事業	1事業
芦屋町	5事業	2事業	1事業
水巻町	4事業	6事業	1事業
岡垣町	4事業	2事業	1事業
遠賀町	1事業	2事業	1事業
宮若市	5事業	2事業	1事業
小竹町	-	2事業	-
鞍手町	4事業	3事業	1事業
筑前町	3事業	3事業	1事業
東峰村	2事業	-	-
うきは市	3事業	4事業	1事業
大刀洗町	2事業	3事業	1事業
柳川市	9事業	7事業	-
大木町	3事業	3事業	-
広川町	3事業	7事業	-
田川市	5事業	4事業	-
桂川町	2事業	-	-
香春町	1事業	1事業	-
添田町	4事業	2事業	-
糸田町	6事業	2事業	-
川崎町	4事業	1事業	-
大任町	6事業	-	-
福智町	1事業	5事業	1事業
赤村	1事業	1事業	-
豊前市	5事業	1事業	1事業
吉富町	1事業	2事業	1事業
上毛町	2事業	3事業	-
築上町	3事業	-	-

※新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む

(2) 介護予防普及啓発事業

- 介護予防普及啓発事業は30市町村で107事業が実施されており、実施回数は柳川市と赤村、延べ利用人数は柳川市、一回当たり延べ利用人数は芦屋町で多くなっています。

図表－68 介護予防普及啓発事業の実施状況



※新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む

図表－６９ 構成市町村別 一般介護予防事業（介護予防普及啓発事業）一覧（令和３年度）（表には新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む）

実施市町村	事業名	総事業費	実施方法	実施回数	利用人数		一回当たり延べ利用人数	一回当たり事業費	延べ一人当たり事業費
					実人数	延人数			
宇美町	介護予防普及啓発事業	22,950,711円	2.委託	53回	212人	1,404人	26.5人/回	433,032円/回	16,347円/人
	健康づくり運動推進事業	8,429,466円	2.委託	103回	42人	378人	3.7人/回	81,839円/回	22,300円/人
篠栗町	440 いきがい教室	3,127,048円	2.委託	44回	8人	137人	3.1人/回	71,069円/回	22,825円/人
	440 チャレンジセミナー	873,600円	2.委託	4回	9人	27人	6.8人/回	218,400円/回	32,356円/人
	440 おいしく元気教室	226,492円	1.直接実施	2回	19人	22人	11.0人/回	113,246円/回	10,295円/人
	440 フレイル評価	308,000円	1.直接実施	2回	48人	57人	28.5人/回	154,000円/回	5,404円/人
	440 歩こう会	1,032,500円	2.委託	24回	70人	816人	34.0人/回	43,021円/回	1,265円/人
	440 コグニサイズ	1,171,283円	2.委託	10回	15人	81人	8.1人/回	117,128円/回	14,460円/人
	440 ケアトランポリン	1,269,000円	2.委託	14回	16人	174人	12.4人/回	90,643円/回	7,293円/人
	440 健康くらぶ	1,094,694円	2.委託	10回	15人	129人	12.9人/回	109,469円/回	8,486円/人
須恵町	わくわくデイサロン	8,838,005円	4.その他	34回	454人	588人	17.3人/回	259,941円/回	15,031円/人
新宮町	元気ライフ教室	3,274,846円	2.委託	98回	156人	1,101人	11.2人/回	33,417円/回	2,974円/人
	健康づくりのための運動教室	2,964,420円	2.委託	93回	239人	2,105人	22.6人/回	31,875円/回	1,408円/人
	楽しい音教室	1,167,840円	2.委託	16回	18人	129人	8.1人/回	72,990円/回	9,053円/人
	生きがいデイサービス	682,530円	2.委託	58回	2人	58人	1.0人/回	11,768円/回	11,768円/人
	地域健康教室	475,520円	2.委託	8回	108人	108人	13.5人/回	59,440円/回	4,403円/人
	相島区サロン	352,730円	2.委託	2回	15人	29人	14.5人/回	176,365円/回	12,163円/人
	身体機能支援事業	550,580円	2.委託	4回	5人	5人	1.3人/回	137,645円/回	110,116円/人
芦屋町	自治区公民館体操	3,078,196円	2.委託	65回	229人	682人	10.5人/回	47,357円/回	4,513円/人
	認知症予防教室	1,095,724円	2.委託	6回	16人	40人	6.7人/回	182,621円/回	27,393円/人
	いきいき昼食会	357,341円	2.委託	1回	19人	19人	19.0人/回	357,341円/回	18,807円/人
	福祉サービスガイド発行	354,350円	2.委託	1回	6,630人	6,630人	6,630.0人/回	354,350円/回	53円/人
	フレイル予防啓発物資作成	2,979,500円	2.委託	1回	308人	308人	308.0人/回	2,979,500円/回	9,674円/人
水巻町	介護予防普及啓発事業	162,800円	1.直接実施	8回	258人	258人	32.3人/回	20,350円/回	631円/人
	健康課実施分：介護予防普及啓発事業	136,884円	1.直接実施	42回	301人	541人	12.9人/回	3,259円/回	253円/人
	高齢者健康増進施設利用サービス事業	4,750,968円	2.委託	8回	623人	778人	97.3人/回	593,871円/回	6,107円/人
	生涯学習課実施分：いきいき「はつらつ塾」講座（書道コース等）	791,840円	1.直接実施	36回	354人	354人	9.8人/回	21,996円/回	2,237円/人
岡垣町	【通所型介護予防事業】①「出前楽らく健康教室」②「ケア・トランポリン教室」③「脳若トレーニング教室」④「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」【訪問型介護予防事業】⑤「要配慮者定期訪問事業」	13,111,294円	2.委託	162回	211人	2,460人	15.2人/回	80,934円/回	5,330円/人
	おでかけ！ヘルシークッキング	0円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
	高齢者健康づくり教室	2,817,000円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
	いきいき長生き講座	0円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
遠賀町	介護予防普及啓発事業 いきいきクラブ	20,284,732円	2.委託	202回	68人	2,700人	13.4人/回	100,419円/回	7,513円/人
	介護予防普及啓発事業（介護予防はつらつ教室）	421,414円	2.委託	5回	10人	46人	9.2人/回	84,283円/回	9,161円/人
	介護予防普及啓発事業（シニア活き活き音楽教室）	538,963円	2.委託	5回	47人	230人	46.0人/回	107,793円/回	2,343円/人
	介護予防普及啓発事業（シニア健康教室）	94,048円	2.委託	1回	9人	9人	9.0人/回	94,048円/回	10,450円/人
	介護予防普及啓発事業（介護予防みやわか教室）	276,000円	2.委託	18回	8人	92人	5.1人/回	15,333円/回	3,000円/人
鞍手町	介護予防普及啓発事業（地域介護予防教室）	50,220円	1.直接実施	4回	183人	183人	45.8人/回	12,555円/回	274円/人
	いきいき教室	756,560円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
	ふれあい教室	1,002,079円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
	運動教室	10,747,000円	1.直接実施	97回	160人	2,040人	21.0人/回	110,794円/回	5,268円/人
筑前町	フィットネスクラブ事業	1,200,000円	2.委託	360回	15人	126人	0.4人/回	3,333円/回	9,524円/人
	脳若トレーニング教室	1,933,517円	2.委託	39回	57人	483人	12.4人/回	49,577円/回	4,003円/人
	身も心もいきいき！スイッチON教室	586,531円	1.直接実施	65回	50人	1,704人	26.2人/回	9,024円/回	344円/人
東峰村	常設サロン ひなたぼっこ	4,589,321円	2.委託	177回	65人	2,146人	12.1人/回	25,928円/回	2,139円/人
	健康運動教室	153,925円	2.委託	5回	71人	71人	14.2人/回	30,785円/回	2,168円/人
	シルバークッキング教室	1,033,612円	2.委託	7回	70人	70人	10.0人/回	147,659円/回	14,766円/人
うきは市	ノルディックウォーキング教室	264,800円	1.直接実施	49回	49人	863人	17.6人/回	5,404円/回	307円/人
	ロコモ予防教室	553,840円	2.委託	23回	33人	314人	13.7人/回	24,080円/回	1,764円/人
	認知症予防事業	3,420,284円	1.直接実施	1回	42人	42人	42.0人/回	3,420,284円/回	81,435円/人
大刀洗町	介護予防普及啓発事業（UPUP健康体操教室事業）	2,662,430円	1.直接実施	505回	211人	1,705人	3.4人/回	5,272円/回	1,562円/人
	介護予防普及啓発事業（校区・男性健康体操教室）	6,470,475円	2.委託	240回	79人	2,421人	10.1人/回	26,960円/回	2,673円/人

※「-」は該当欄に記入がないもの、あるいは一回当たり延べ利用人数などが算出不能であるもの

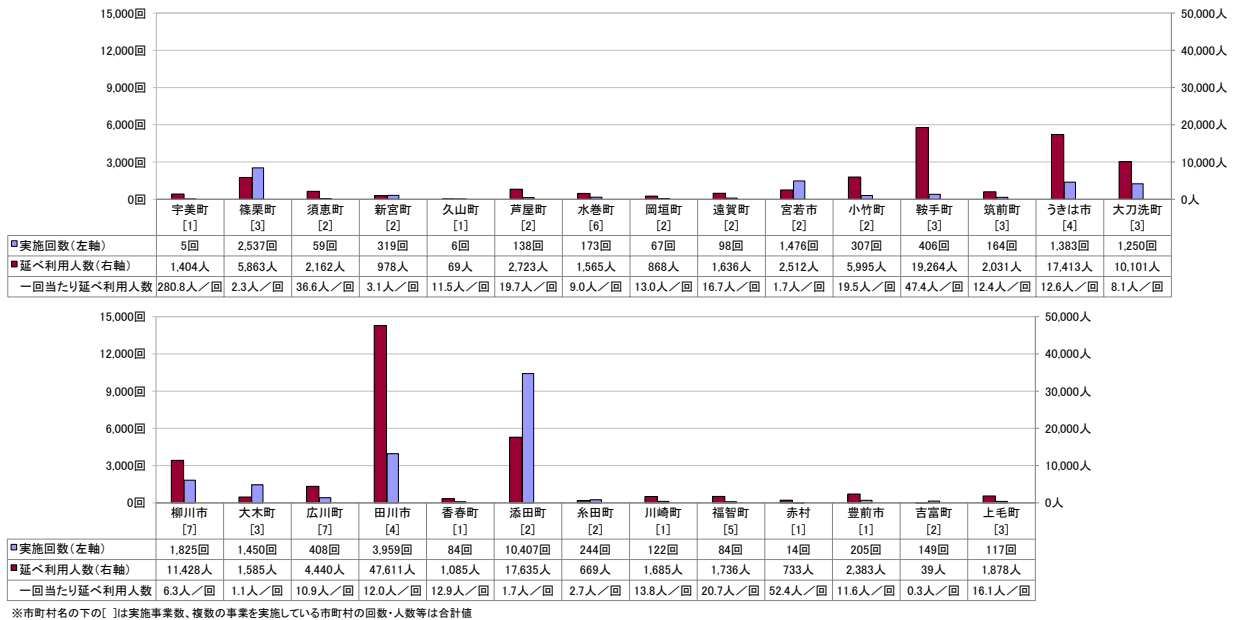
実施市町村	事業名	総事業費	実施方法	実施回数	利用人数		一回当たり延べ利用人数	一回当たり事業費	延べ一人当たり事業費
					実人数	延人数			
柳川市	介護予防普及啓発事業	5,381,046円	2.委託	47回	2,150人	10,950人	233.0人/回	114,490円/回	491円/人
	元気クラブ	2,100,540円	2.委託	20回	42人	232人	11.6人/回	105,027円/回	9,054円/人
	元気サークル	3,927,567円	2.委託	173回	337人	2,030人	11.7人/回	22,703円/回	1,935円/人
	節目型介護予防健診(65歳・70歳年齢到達時)	3,419,306円	2.委託	15回	321人	321人	21.4人/回	227,954円/回	10,652円/人
	介護予防サポーター養成講座	581,790円	2.委託	8回	6人	46人	5.8人/回	72,724円/回	12,648円/人
	訪問指導	2,810,562円	1.直接実施	120回	116人	161人	1.3人/回	23,421円/回	17,457円/人
	脳の健康教室	778,960円	2.委託	13回	18人	190人	14.6人/回	59,920円/回	4,100円/人
	健康教育等事業	35,250円	1.直接実施	4回	47人	47人	11.8人/回	8,813円/回	750円/人
大木町	在宅介護予防教室	7,850,598円	2.委託	1,791回	320人	1,791人	1.0人/回	4,383円/回	4,383円/人
	介護予防健診	555,000円	2.委託	8回	76人	76人	9.5人/回	69,375円/回	7,303円/人
	大音楽サロン	2,686,253円	2.委託	89回	23人	1,063人	11.9人/回	30,183円/回	2,527円/人
広川町	元気クラブ	1,853,400円	2.委託	52回	15人	392人	7.5人/回	35,642円/回	4,728円/人
	介護予防普及啓発事業	17,885,965円	2.委託	242回	111人	4,369人	18.1人/回	73,909円/回	4,094円/人
	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	200,000円	2.委託	5回	105人	105人	21.0人/回	40,000円/回	1,905円/人
田川市	健康寿命を延ばす運動ジム事業	1,056,710円	2.委託	50回	80人	1,306人	26.1人/回	21,134円/回	809円/人
	高齢者健康教室	6,128,939円	4.その他	37回	47人	262人	7.1人/回	165,647円/回	23,393円/人
	生きいき健康教室	32,655,484円	4.その他	901回	1,058人	2,189人	2.4人/回	36,244円/回	14,918円/人
	太極拳教室	54,000円	2.委託	9回	8人	34人	3.8人/回	6,000円/回	1,588円/人
	高齢者トランポリン教室	950,400円	2.委託	48回	52人	567人	11.8人/回	19,800円/回	1,676円/人
桂川町	健幸ポイント事業	5,378,927円	4.その他	1回	1,111人	1,111人	1111.0人/回	5,378,927円/回	4,842円/人
	一般介護予防事業	14,396,607円	1.直接実施	192回	801人	1,680人	8.8人/回	74,982円/回	8,569円/人
香春町	一般介護予防事業(機能訓練事業・送迎付)	1,320,000円	2.委託	33回	11人	194人	5.9人/回	40,000円/回	6,804円/人
	介護予防普及啓発事業	9,133,548円	1.直接実施	122回	1,037人	2,471人	20.3人/回	74,865円/回	3,696円/人
添田町	若返り教室	5,131,005円	2.委託	121回	77人	2,518人	20.8人/回	42,405円/回	2,038円/人
	若返り教室移送サービス	570,554円	2.委託	80回	32人	661人	8.3人/回	7,132円/回	863円/人
	介護予防講演会	0円	2.委託	0回	0人	0人	-	-	-
糸田町	高齢者教室(パソコン教室・健康体操教室・ストレッチ教室・トランポリン教室)	1,757,945円	2.委託	159回	195人	2,286人	14.4人/回	11,056円/回	769円/人
	元気になれる体操教室	4,698,680円	1.直接実施	39回	898人	898人	23.0人/回	120,479円/回	5,232円/人
	ここちよい運動教室	1,971,485円	1.直接実施	28回	233人	233人	8.3人/回	70,410円/回	8,461円/人
	長寿のための料理教室	223,204円	1.直接実施	10回	112人	112人	11.2人/回	22,320円/回	1,993円/人
	転ばぬ身体づくり教室	187,625円	1.直接実施	27回	744人	744人	27.6人/回	6,949円/回	252円/人
	元気に頭いきいき教室	1,715,183円	1.直接実施	14回	154人	154人	11.0人/回	122,513円/回	11,138円/人
	高齢者ふれあいサロン	15,929円	1.直接実施	8回	70人	70人	8.8人/回	1,991円/回	228円/人
川崎町	栄養・口腔教室	1,156,441円	2.委託	2回	11人	22人	11.0人/回	578,221円/回	52,566円/人
	川崎町健康教室	1,721,184円	2.委託	16回	48人	263人	16.4人/回	107,574円/回	6,544円/人
	川崎町健康リトミック	1,567,790円	2.委託	6回	17人	75人	12.5人/回	261,298円/回	20,904円/人
	川崎町地域いきいき健幸サロン	1,400,768円	4.その他	37回	129人	486人	13.1人/回	37,859円/回	2,882円/人
大任町	地域リハビリテーション活動支援事業	192,000円	2.委託	0回	0人	0人	-	-	-
	転倒予防教室(PPK体操教室)	1,335,000円	2.委託	0回	0人	0人	-	-	-
	いきいき温泉教室	9,659,705円	2.委託	26回	102人	1,846人	71.0人/回	371,527円/回	5,233円/人
	トランポリン健康運動教室	1,654,400円	2.委託	0回	0人	0人	-	-	-
	骨こつかんたん筋トレ教室	485,000円	2.委託	0回	0人	0人	-	-	-
	栄養教室	0円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
福智町	介護予防普及啓発事業 コスモス体操教室	3,302,217円	2.委託	24回	19人	288人	12.0人/回	137,592円/回	11,466円/人
赤村	介護予防普及啓発事業	9,024,696円	1.直接実施	1,784回	108人	2,905人	1.6人/回	5,059円/回	3,107円/人
豊前市	介護予防教室	5,998,388円	2.委託	331回	160人	1,427人	4.3人/回	18,122円/回	4,203円/人
	介護予防事業検証事務	1,296,784円	1.直接実施	32回	148人	1,415人	44.2人/回	40,525円/回	916円/人
	介護予防講演	880,084円	1.直接実施	48回	507人	507人	10.6人/回	18,335円/回	1,736円/人
	健康相談	259,795円	1.直接実施	12回	127人	127人	10.6人/回	21,650円/回	2,046円/人
	栄養改善事業	344,386円	1.直接実施	39回	30人	39人	1.0人/回	8,830円/回	8,830円/人
	介護予防普及啓発事業	251,623円	2.委託	11回	10人	110人	10.0人/回	22,875円/回	2,287円/人
上毛町	介護予防教室	180,000円	2.委託	6回	67人	67人	11.2人/回	30,000円/回	2,687円/人
	介護予防教室開催支援事業	72,269円	2.委託	5回	5人	20人	4.0人/回	14,454円/回	3,613円/人
築上町	介護予防普及啓発事業 元気はつらつ教室	1,416,710円	2.委託	34回	23人	299人	8.8人/回	41,668円/回	4,738円/人
	介護予防普及啓発事業 健康サロン	701,300円	1.直接実施	274回	416人	1,938人	7.1人/回	2,559円/回	362円/人
	介護予防普及啓発事業 貯金運動教室	1,256,400円	2.委託	24回	60人	495人	20.6人/回	52,350円/回	2,538円/人

※「-」は該当欄に記入がないもの、あるいは一回当たり延べ利用人数などが算出不能であるもの

(3) 地域介護予防活動支援事業

- 地域介護予防活動支援事業は28市町村で77事業が実施されており、実施回数は添田町、延べ利用人数は田川市や鞍手町、添田町、うきは市、柳川市、大刀洗町、一回当たり延べ利用人数は宇美町で多くなっています。

図表－71 地域介護予防活動支援事業の実施状況



※新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む

図表-72 構成市町村別 一般介護予防事業（地域介護予防活動支援事業）一覧（令和3年度）（表には新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む）

実施市町村	事業名	総事業費	実施方法	実施回数	利用人数		一回当たり延べ利用人数	一回当たり事業費	延べ一人当たり事業費
					実人数	延人数			
宇美町	地域介護予防活動支援事業	1,783,900円	1.直接実施	5回	212人	1,404人	280.8人/回	356,780円/回	1,271円/人
篠栗町	240 介護支援ボランティア事業	3,305,591円	1.直接実施	2,239回	93人	93人	0.0人/回	1,476円/回	35,544円/人
	220 出前講座	748,944円	1.直接実施	1回	23人	23人	23.0人/回	748,944円/回	32,563円/人
	260 おひさま活動	2,415,320円	1.直接実施	297回	645人	5,747人	19.4人/回	8,132円/回	420円/人
須恵町	行政区ミニデイサービス	8,933,769円	2.委託	47回	854人	854人	18.2人/回	190,080円/回	10,461円/人
	須恵町有機農業研究会家庭菜園事業	609,400円	3.補助(助成)	12回	109人	1,308人	109.0人/回	50,783円/回	466円/人
新宮町	サポートポイント事業	2,162,770円	1.直接実施	314回	314人	314人	1.0人/回	6,888円/回	6,888円/人
	住民主体通所型サービス助成事業	1,316,700円	1.直接実施	5回	58人	664人	132.8人/回	263,340円/回	1,983円/人
久山町	元気サポーター養成等事業	21,214円	2.委託	6回	25人	69人	11.5人/回	3,536円/回	307円/人
芦屋町	体操サポーター養成講座	1,828,279円	2.委託	13回	28人	96人	7.4人/回	140,637円/回	19,045円/人
	地域交流サロン事業	4,943,465円	1.直接実施	125回	0人	2,627人	21.0人/回	39,548円/回	1,882円/人
水巻町	小地域福祉ネットワーク事業	270,000円	3.補助(助成)	1回	160人	160人	160.0人/回	270,000円/回	1,688円/人
	地域介護予防活動支援事業(DCOM事業(ディーコム事業)※有償ボランティア事業)	343,140円	3.補助(助成)	73回	32人	71人	1.0人/回	4,701円/回	4,833円/人
	健康課実施分:地域介護予防活動支援事業	1,178,868円	2.委託	23回	242人	306人	13.3人/回	51,255円/回	3,853円/人
	健康課実施分:水巻町運動普及推進員	46,476円	3.補助(助成)	65回	462人	911人	14.0人/回	715円/回	51円/人
	健康課実施分:水巻町食生活改善推進会	300,236円	3.補助(助成)	11回	39人	117人	10.6人/回	27,294円/回	2,566円/人
	生涯学習課実施分:いきいき「はつらつ塾」手伝い隊養成講座	239,365円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
岡垣町	【介護予防ボランティア養成事業】①「介護予防サポーター養成講座」②「介護予防サポーター地区活動支援」③「介護予防サポーターのつどい」④「自動血圧計等貸出・管理業務」	2,326,340円	2.委託	12回	11人	132人	11.0人/回	193,862円/回	17,624円/人
	【地域活動組織の育成・支援等】地域介護予防活動支援事業①「ふれあいサロン」【社会参加活動を通じた地域活動】②「ふれあいサロン事業補助金」【ボランティア等へのポイント付与】③「福祉ボランティアポイント事業」	10,854,294円	2.委託	55回	736人	736人	13.4人/回	197,351円/回	14,748円/人
遠賀町	地域介護予防活動支援事業 悠遊ひろば	186,360円	2.委託	12回	38人	174人	14.5人/回	15,530円/回	1,071円/人
	介護予防型サロン事業	5,141,155円	3.補助(助成)	86回	500人	1,462人	17.0人/回	59,781円/回	3,517円/人
宮若市	地域介護予防活動支援事業(介護支援ボランティア事業)	94,545円	1.直接実施	1,385回	34人	728人	0.5人/回	68円/回	130円/人
	地域介護予防活動支援事業(高齢者居場所づくり事業)	7,218,000円	2.委託	91回	166人	1,784人	19.6人/回	79,319円/回	4,046円/人
小竹町	小竹町ふれあいサロン事業	3,728,000円	2.委託	228回	492人	5,916人	25.9人/回	16,351円/回	630円/人
	小竹町介護予防ひまわりポイント事業	154,823円	1.直接実施	79回	79人	79人	1.0人/回	1,960円/回	1,960円/人
鞍手町	介護予防サポートポイント事業	2,033,000円	2.委託	28回	266人	3,016人	107.7人/回	72,607円/回	674円/人
	介護予防サポーター養成講座	3,557,000円	1.直接実施	13回	188人	188人	14.5人/回	273,615円/回	18,920円/人
	LINE整備	3,353,000円	2.委託	365回	44人	16,060人	44.0人/回	9,186円/回	209円/人
筑前町	いきいきサロン	4,351,313円	2.委託	142回	636人	1,994人	14.0人/回	30,643円/回	2,182円/人
	介護予防サポーター活動支援事業	25,730円	2.委託	1回	12人	12人	12.0人/回	25,730円/回	2,144円/人
	介護予防サポーター養成講座	389,400円	2.委託	21回	5人	25人	1.2人/回	18,543円/回	15,576円/人
うきは市	介護予防サポーター養成事業	420,255円	2.委託	43回	22人	820人	19.1人/回	9,773円/回	513円/人
	集いの場支援事業	25,552,530円	4.その他	1,236回	629人	15,427人	12.5人/回	20,674円/回	1,656円/人
	スマイルアップ教室(脳の健康教室)	354,400円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
	地域介護予防活動支援事業	1,372,000円	3.補助(助成)	104回	425人	1,166人	11.2人/回	13,192円/回	1,177円/人
大刀洗町	地域介護予防活動支援事業(サポーター活動支援事業)	526,720円	2.委託	240回	56人	691人	2.9人/回	2,195円/回	762円/人
	地域介護予防活動支援事業(住民主体の通いの場)	421,091円	1.直接実施	505回	211人	4,705人	9.3人/回	834円/回	89円/人
	地域介護予防活動支援事業(分館体操・住民サポーター養成講座)	2,184,202円	2.委託	505回	211人	4,705人	9.3人/回	4,325円/回	464円/人

※「-」は該当欄に記入がないもの、あるいは一回当たり延べ利用人数などが算出不能であるもの

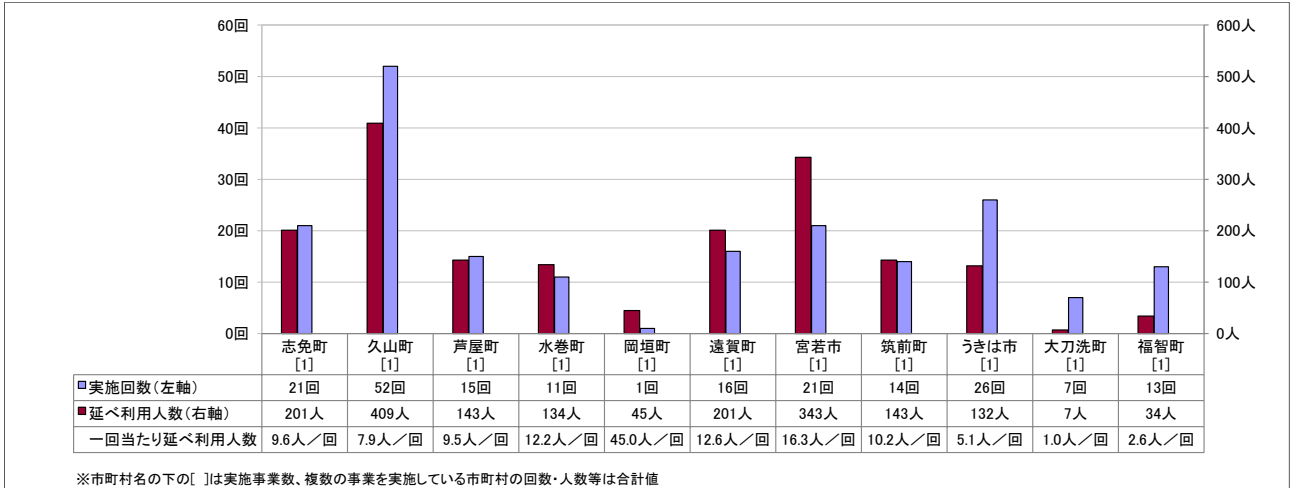
実施市町村	事業名	総事業費	実施方法	実施回数	利用人数		一回当たり延べ利用人数	一回当たり事業費	延べ一人当たり事業費
					実人数	延人数			
柳川市	介護予防リーダー活動費	55,000円	1.直接実施	6回	3人	18人	3.0人/回	9,167円/回	3,056円/人
	地域介護予防事業	7,124,191円	2.委託	228回	661人	4,226人	18.5人/回	31,246円/回	1,686円/人
	地域巡回型介護予防健診	868,120円	2.委託	15回	79人	79人	5.3人/回	57,875円/回	10,989円/人
	地域デイサービス	1,532,028円	1.直接実施	789回	385人	5,246人	6.6人/回	1,942円/回	292円/人
	高齢者生きがい活動支援通所事業	3,523,637円	2.委託	117回	45人	1,189人	10.2人/回	30,117円/回	2,964円/人
	介護予防ポイント事業	177,271円	1.直接実施	559回	39人	559人	1.0人/回	317円/回	317円/人
	生活管理指導短期宿泊事業	550,550円	2.委託	111回	10人	111人	1.0人/回	4,960円/回	4,960円/人
大木町	介護予防サポーター養成講座	126,500円	2.委託	6回	53人	53人	8.8人/回	21,083円/回	2,387円/人
	いきいきサロン事業	370,000円	1.直接実施	12回	50人	100人	8.3人/回	30,833円/回	3,700円/人
	介護ポイント付与事業	224,250円	3.補助(助成)	1,432回	100人	1,432人	1.0人/回	157円/回	157円/人
広川町	介護予防サポーター養成講座	3,584,780円	2.委託	21回	10人	100人	4.8人/回	170,704円/回	35,848円/人
	介護予防サポータースキルアップ育成事業	528,000円	2.委託	29回	40人	451人	15.6人/回	18,207円/回	1,171円/人
	高齢者いきいきサロン活動支援事業	2,930,245円	2.委託	104回	549人	2,015人	19.4人/回	28,175円/回	1,454円/人
	地域通いの場支援事業	36,300円	2.委託	3回	22人	41人	13.7人/回	12,100円/回	885円/人
	介護予防事業等活動ボランティアポイント事業	74,000円	1.直接実施	92回	22人	461人	5.0人/回	804円/回	161円/人
	地域介護予防活動支援講師派遣事業	40,000円	1.直接実施	7回	149人	149人	21.3人/回	5,714円/回	268円/人
	地域介護予防支援補助事業	607,000円	2.委託	152回	789人	1,223人	8.0人/回	3,993円/回	496円/人
田川市	生きがい公民館事業	5,175,998円	2.委託	3,841回	3,841人	36,902人	9.6人/回	1,348円/回	140円/人
	シルバー趣味の教室事業	1,156,927円	1.直接実施	104回	101人	10,504人	101.0人/回	11,124円/回	110円/人
	人材育成事業	3,031,068円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
	食生活改善推進会活動支援事業	185,000円	3.補助(助成)	14回	30人	205人	14.6人/回	13,214円/回	902円/人
香春町	地域介護予防支援事業	3,344,000円	2.委託	84回	694人	1,085人	12.9人/回	39,810円/回	3,082円/人
添田町	そえだまち元気倶楽部	20,407,546円	2.委託	797回	273人	8,025人	10.1人/回	25,605円/回	2,543円/人
	介護予防ポイント事業	553,100円	1.直接実施	9,610回	371人	9,610人	1.0人/回	58円/回	58円/人
糸田町	介護予防ポイント制度	3,000,971円	1.直接実施	191回	200人	200人	1.0人/回	15,712円/回	15,005円/人
	はつらつ遊びり倶楽部	404,695円	1.直接実施	53回	469人	469人	8.8人/回	7,636円/回	863円/人
川崎町	高齢者等見守りネットワーク	3,160,314円	4.その他	122回	211人	1,685人	13.8人/回	25,904円/回	1,876円/人
福智町	ボランティアコーディネート推進事業	2,978,675円	2.委託	1回	1人	1人	1.0人/回	2,978,675円/回	2,978,675円/人
	地域での元気向上プログラム	6,778,675円	2.委託	30回	72人	694人	23.1人/回	225,956円/回	9,768円/人
	自主運動グループ活動助成	2,040,126円	3.補助(助成)	39回	82人	817人	20.9人/回	52,311円/回	2,497円/人
	運動普及推進員による普及啓発活動	1,732,144円	3.補助(助成)	14回	19人	224人	16.0人/回	123,725円/回	7,733円/人
	食生活改善推進員による普及啓発活動	1,987,376円	4.その他	0回	0人	0人	-	-	-
赤村	地域介護予防活動支援事業	299,950円	1.直接実施	14回	54人	733人	52.4人/回	21,425円/回	409円/人
豊前市	地域サロン実施事業	3,527,002円	2.委託	205回	792人	2,383人	11.6人/回	17,205円/回	1,480円/人
吉富町	地域介護予防活動支援事業	5,000円	2.委託	1回	1人	1人	1.0人/回	5,000円/回	5,000円/人
	地域介護予防活動支援事業	1,475,518円	4.その他	148回	7人	38人	0.3人/回	9,970円/回	38,829円/人
上毛町	上毛生き活き塾	270,380円	1.直接実施	3回	24人	41人	13.7人/回	90,127円/回	6,595円/人
	介護予防型サロン普及事業	750,000円	2.委託	95回	1,613人	1,613人	17.0人/回	7,895円/回	465円/人
	脳の健康教室事業	910,000円	2.委託	19回	17人	224人	11.8人/回	47,895円/回	4,063円/人

※「-」は該当欄に記入がないもの、あるいは一回当たり延べ利用人数などが算出不能であるもの

(4) 地域リハビリテーション活動支援事業

- 地域リハビリテーション活動支援事業は15市町で15事業が実施されており、実施回数は久山町（52回）で、延べ利用人数は久山町（409人）や宮若市（343人）で、それぞれ多くなっています。

図表ー 7 4 地域リハビリテーション活動支援事業の実施状況



※利用者数が0人である篠栗町、鞍手町、豊前市、吉富町は非表示
 ※新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む

図表ー 7 5 構成市町村別 一般介護予防事業
 （地域リハビリテーション活動支援事業）一覧
 （令和3年度）

（表には新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小又は中止にした事業を含む）

実施市町村	事業名	総事業費	実施方法	実施回数	利用人数		一回当たり延べ利用人数	一回当たり事業費	延べ一人当たり事業費
					実人数	延人数			
篠栗町	440 地域リハビリテーション活動支援事業	0円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
志免町	地域リハビリテーション活動支援事業 うきうきルーム	5,906,690円	2.委託	21回	54人	201人	9.6人/回	281,271円/回	29,387円/人
久山町	地域リハビリテーション活動支援事業	983,400円	2.委託	52回	409人	409人	7.9人/回	18,912円/回	2,404円/人
芦屋町	地域リハビリテーション活動支援事業	238,976円	2.委託	15回	143人	143人	9.5人/回	15,932円/回	1,671円/人
水巻町	地域リハビリテーション活動支援事業	70,327円	2.委託	11回	134人	134人	12.2人/回	6,393円/回	525円/人
岡垣町	地域リハビリテーション活動支援事業	10,000円	1.直接実施	1回	45人	45人	45.0人/回	10,000円/回	222円/人
遠賀町	地域リハビリテーション活動支援事業	150,000円	2.委託	16回	90人	201人	12.6人/回	9,375円/回	746円/人
宮若市	地域リハビリテーション活動支援事業(あったかサロン 運動教室)	210,000円	2.委託	21回	184人	343人	16.3人/回	10,000円/回	612円/人
鞍手町	体力測定	0円	1.直接実施	0回	0人	0人	-	-	-
筑前町	生き生き体操	140,000円	2.委託	14回	27人	143人	10.2人/回	10,000円/回	979円/人
うきは市	地域リハビリテーション活動支援事業	3,944,284円	1.直接実施	26回	132人	132人	5.1人/回	151,703円/回	29,881円/人
大刀洗町	地域リハビリテーション活動支援事業	60,899円	1.直接実施	7回	7人	7人	1.0人/回	8,700円/回	8,700円/人
福智町	地域リハビリテーション活動支援事業	3,628,013円	2.委託	13回	26人	34人	2.6人/回	279,078円/回	106,706円/人
豊前市	訪問介護予防リハビリテーション	0円	2.委託	0回	0人	0人	-	-	-
吉富町	地域リハビリテーション活動支援事業	0円	2.委託	0回	0人	0人	-	-	-

※「-」は該当欄に記入がないもの、あるいは一回当たり延べ利用人数などが算出不能であるもの

IV. まとめ

1. 事業対象者等調査

《調査分析対象者や調査途中での中断者の状況》

- 本調査の分析対象者（初回・第2回調査回答者）は、要介護・要支援認定者：1,448人、事業対象者：317人です。
- 初回調査から第2回調査までの3ヶ月間の間に、要介護・要支援認定者の9.3%、事業対象者の19.3%が、調査を終了・中断しています。
- 終了・中断理由は、要介護・要支援認定者では「入院」（36.5%）や「介護給付の対象者になったため」（34.5%）、事業対象者では「一般高齢者になったため」（42.1%）が多くなっています。
- 調査終了・中断した理由が「介護給付の対象者になったため」である場合、要介護・要支援認定者、事業対象者ともに認知症の進行等の「既往症の悪化」等が原因である人が多くなっています。
- 調査終了した理由が「入院」である人の病名等をみると、要介護・要支援認定者、事業対象者ともに「骨折・転倒」が多くなっています。

《客観的効果の状況》

- 要介護度の変化の状況等の『客観的効果』は「改善」「維持」「悪化」の3区分で整理しました。また基本チェックリストに基づくリスク項目該当状況の変化の状況等の『客観的効果』は、「改善」「リスクなし維持」「リスクあり継続」「悪化」の4区分で整理しました。
- 要介護・要支援認定者の要介護度の変化の状況、事業対象者の事業対象者候補者該当状況の変化の状況をみると、要介護・要支援認定者（要介護度）は、維持層（初回・第2回調査ともに要介護度の変化なし）が98.1%と最も多く、事業対象者（事業対象者候補者該当状況）は、リスクあり継続層（初回・第2回調査ともに候補者該当のまま）が73.2%と最も多くなっています。
- 基本チェックリストに基づくリスク項目該当状況で改善＋リスクなし維持層の割合が高いものは、「栄養リスク」（要介護・要支援認定者：97.4%、事業対象者：98.4%）、「閉じこもりリスク」（要介護・要支援認定者：78.3%、事業対象者：88.6%）等が共通しています。「運動リスク」は他のリスクに比べて悪化＋リスクあり継続層の割合が高くなっています（要介護・要支援認定者：93.2%、事業対象者：70.7%）。
- 基本チェックリスト25項目の合計得点（点数が高いほど生活機能の程度が低く、リスクが高い状態を表す）の推移をみると、要介護・要支援認定者、事業対象者ともに、基本チェックリストに関する生活機能の変化はほぼみられませんでした（要介護・要支援認定者：初回10.45点から第2回10.57点、事業対象者：初回8.95点から第2回9.11点）。

《主観的効果の状況》

- サービス満足度や効果に対する評価は、要支援認定者（予防給付全体に対する評価）で満足度：93.0%・効果度：92.7%、事業対象者（介護予防事業全体に対する評価）で満足度：91.5%・効果度：89.0%と、要支援認定者、事業対象者ともに利用者の9割が、サービスに満足し、効果があったと評価しています。
- サービス利用による生活様式の変化は、通所型サービスについては「外出する機会が増えた」「友人・知人と話す機会が増えた」等の生きがいや社会参加に関する効果があったと評価しています。

《客観的効果に関する状態像分析》

- 要介護度の変化等の客観的効果があった利用者の基本属性や生活状況等の状態像把握については、要介護・要支援認定者では改善層・維持層・悪化層の比較、事業対象者では改善＋リスクなし維持層と悪化＋リスクあり継続層の比較により分析を行いました。
- 性別については、要介護・要支援認定者、事業対象者ともに、各区分で大きな違いはみられず、いずれも女性が7割強～8割強を占めています。
- 平均年齢は、要介護・要支援認定者では改善層（81.10歳）、維持層（83.43歳）、悪化層（85.53歳）と状態が悪化するにつれて平均年齢も高くなっています。事業対象者では改善＋リスクなし維持層と悪化＋リスクあり継続層で大きな違いはありません。
- 家族構成について、独居世帯の割合に着目してみると、要介護・要支援認定者の半数（49.9%）、事業対象者の半数弱（47.6%）が独居世帯です。
- 地域活動への参加状況や日中の過ごし方等の日常生活の状況（生活度ランク・生活度指数）については、要介護・要支援認定者では状態が改善するにつれて生活度指数が高くなっています。事業対象者では改善＋リスクなし維持層ほど生活度指数が高くなっています。また、各項目別にみると、要介護・要支援認定者では改善層は悪化層に比べて家庭内の役割や外出状況、主観的健康観等が活発であり、事業対象者では改善＋リスクなし維持層は悪化＋リスクあり継続層に比べて、主観的健康感や地域活動、家庭内の役割等が活発であるといえます。

《介護予防に資する住民主体の「通いの場」への参加について》

- 現在、総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）と並行して、住民主体の「通いの場」に参加している人の割合（参加率）は、事業対象者で1割半ばとなっています（要介護・要支援認定者：3.6%、事業対象者：15.5%）。
- 「通いの場」参加者の参加回数は平均で月3回程度です（要介護・要支援認定者：2.8回/月、事業対象者：2.7回/月）。
- 「通いの場」への参加率を性別にみると、要介護・要支援認定者、事業対象者ともに男性より女性で高く、また、年齢別では要介護・要支援認定者、事業対象者ともに75歳以上で高くなっています。

《将来の介護について》

- 要支援認定者、事業対象者ともに要介護状態（要介護1以上）になった場合に介護してくれる家族・親族がいる人が5割強～6割強となっています。また、介護してくれる家族・親族の続柄では「子ども」が6割で最も多くなっています。
- 要介護状態になった場合に介護してくれる家族・親族の6割弱～6割は、現在、フルタイム又はパートタイムで就労していますが、実際に介護が必要になった場合に介護と仕事を両立できるかについては、要支援認定者では「続けていくのは、かなり難しい」との回答が3割弱となっており、「続けていくのは、やや難しい」を合わせると、継続が難しい人が4割強を占めています。

2. 介護予防・日常生活支援総合事業に関する構成市町村調査

新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小した場合、又は中止された場合についても、本報告書には区別なく掲載しています。

《介護予防・生活支援サービス事業の実施状況》

- 令和3年度における介護予防・生活支援サービスについては、訪問型サービス（第1号訪問事業）は15市町村で20事業、通所型サービス（第1号通所事業）は14市町村で21事業、その他の生活支援サービス（第1号生活支援事業）は8町で10事業が実施されています。
- 訪問型サービスは A・B・C・D の4類型で実施されており、実利用者数は訪問型サービス A（緩和した基準によるサービス）で多くなっています。
- 通所型サービスは A・B・C 及びその他の4類型で実施されており、通所型サービス C（短期集中予防サービス）での実施が多くなっています。
- その他の生活支援サービスを実施しているのは8町であり、配食サービス関連の事業が6事業、定期的な安否確認及び緊急時の対応に関連した事業が2事業、買い物支援事業が2事業でした。

《一般介護予防事業の実施状況》

- 令和3年度における一般介護予防事業については、介護予防普及啓発事業は30市町村で107事業、地域介護予防活動支援事業は28市町村で77事業、地域リハビリテーション活動支援事業は15市町村で15事業が実施されています。

V. 參考資料

1. 用語解説

1 コレスポネンス分析

クロス集計表の行要素（サービス種類）と列要素（生活態様の变化）の2変数の全てのカテゴリの中から似かよったカテゴリをまとめることなどを目的とする分析。

各サービスと生活態様の变化との関係を視覚的にとらえて把握することができる。

2 相関係数

2変数間の相関の強さを表す数値。相関係数は-1から1までの間の値であり、絶対値が1に近いほど相関が強い。

<相関係数と相関性の目安>

絶対値の範囲	相関性
0.0~0.2未満	ほとんど相関はない
0.2~0.3未満	弱い相関がある
0.3~0.4未満	ある程度相関がある
0.4~0.5未満	中程度の相関がある
0.5~0.7未満	強い相関がある
0.7~1.0	かなり強い相関がある

3 生活度指数・生活度ランク

本調査における生活度ランク・指数の設定・算出方法は以下のとおり。

○日常生活関連項目の各選択肢に配点し、その合計点を生活度高・中・低の3区分に分類。

○生活度指数はその平均値（数値が大きいほど、社会参加等が活発）。

<日常生活関連項目の配点>

問10 家庭内での役割	家事～その他	10
	特になし	-10
問11 主体的健康感	最高によい～よい	10
	あまりよくない～ぜんぜんよくない	-10
問12 相談相手の有無	はい	10
	いいえ	-10
問13 日常生活援助者の有無	はい	10
	いいえ	-10
問14 日中、主に過ごす場所	自宅外	10
	自宅敷地内	10
	自宅屋内（自分の部屋以外）	0
	自分の部屋	-10
問15 日中の主な過ごし方	自宅外の仕事（役割）	10
	家の仕事（役割）	10
	趣味	10
	主にテレビ	-10
	その他	0
問16 仕事の有無	している	10
	していない	-10
問17 趣味の有無	ある	10
	ない	-10
問18 地域活動への参加有無	参加している	10
	参加していない	-10
問19 近所づきあいの状況	ある	10
	あまりない（あいさつする程度）	0
	ない	-10
問20 介護サービス以外の支援有無	ある	10
	ない	-10
問21 かかりつけ医師有無	いる	10
	いない	-10
問22-16) 週1回以上の外出状況	はい	10
	いいえ	-10

<ランク区分>

生活度ランク	合計点数
高	130
	120
	110
	100
	90
	80
	70
中	60
	50
	40
	30
	20
	10
	0
低	-10
	-20
	-30
	-40
	-50
	-60
	-70
-80	
-90	
-100	
-110	
-120	
-130	

2. 使用調査票

(1) 事業対象者等調査票

令和3年度 事業対象者・要支援認定者等 介護予防効果測定調査票 《福岡県介護保険広域連合》

I 地域包括支援センターにおいて、利用者本人からの聞き取り等に基づき記入してください。

■調査区分： 1. 要介護認定者 2. 要支援認定者 3. 事業対象者

1. 初回 2. 第2回 3. 第3回

■被保険者番号：

■記入日： 令和 ____年 ____月 ____日

■記入者：氏名：

所属する包括支援センターの名称：

■性別： 1. 男 2. 女

■生年月日： 1. 明治 2. 大正 3. 昭和 ____年 ____月 ____日

■サービス実施：
予定期間 令和 ____年 ____月 ~ 令和 ____年 ____月

■市町村：

- | | | | |
|--------|----------|---------|---------|
| 1. 宇美町 | 10. 遠賀町 | 19. 大木町 | 28. 福智町 |
| 2. 篠栗町 | 11. 宮若市 | 20. 広川町 | 29. 赤村 |
| 3. 志免町 | 12. 小竹町 | 21. 柳川市 | 30. 豊前市 |
| 4. 須恵町 | 13. 鞍手町 | 22. 田川市 | 31. 吉富町 |
| 5. 新宮町 | 14. 桂川町 | 23. 香春町 | 32. 上毛町 |
| 6. 久山町 | 15. 筑前町 | 24. 添田町 | 33. 築上町 |
| 7. 芦屋町 | 16. 東峰村 | 25. 糸田町 | |
| 8. 水巻町 | 17. うきは市 | 26. 川崎町 | |
| 9. 岡垣町 | 18. 大刀洗町 | 27. 大任町 | |

《初回調査以後、終了・中断した場合》

⇒ 1 『サービスの継続状況』まで回答ください。

2 要介護状態区分等の状況

問2 要介護状態区分等の状況について、お答えください。

(1) 現在の要介護状態区分等の状況【当てはまるもの1つに○】

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 事業対象者 | 4. 要介護1 | 7. 要介護4 |
| 2. 要支援1 | 5. 要介護2 | 8. 要介護5 |
| 3. 要支援2 | 6. 要介護3 | |

(認定日：平成・令和 ____年__月)

(2) 前問(1)の現在の要介護状態区分等になる前の要介護状態区分等の状況

【当てはまるもの1つに○】 (初回のみ回答)

- | | | |
|----------------------|---------|----------|
| 1. 一般高齢者 | 5. 要支援 | 9. 要介護4 |
| 2. 事業対象者(旧二次予防事業対象者) | 6. 要介護1 | 10. 要介護5 |
| 3. 要支援1 | 7. 要介護2 | |
| 4. 要支援2 | 8. 要介護3 | |

問3 日常生活自立度について、お答えください。

(1) 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)【当てはまるもの1つに○】

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 自立 | 4. A1 | 7. B2 |
| 2. J1 | 5. A2 | 8. C1 |
| 3. J2 | 6. B1 | 9. C2 |

(2) 認知症高齢者の日常生活自立度【当てはまるもの1つに○】

- | | | | |
|-------|---------|----------|-------|
| 1. 自立 | 3. II a | 5. III a | 7. IV |
| 2. I | 4. II b | 6. III b | 8. M |

問4 要支援認定者または事業対象者となった原因について、お答えください。

【当てはまるもの全てに○】 (初回のみ回答)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 脳血管疾患(脳出血、脳梗塞等) | 8. 糖尿病 |
| 2. 心臓病 | 9. 視覚・聴覚障害 |
| 3. がん(悪性新生物) | 10. 骨折・転倒 |
| 4. 呼吸器疾患(肺気腫、肺炎等) | 11. 高齢による衰弱 |
| 5. 関節疾患(リウマチ等) | 12. その他() |
| 6. 認知症 | 13. 不明 |
| 7. パーキンソン病 | |

問5 事業対象者の把握経路についてお答えください。

【当てはまるもの全てに○】 (事業対象者・初回のみ回答)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 基本健康診査 | 6. 民生委員からの情報提供 |
| 2. 要介護認定非該当者 | 7. 本人、家族からの相談 |
| 3. 要支援・要介護者からの移行 | 8. 高齢者実態把握調査 |
| 4. 訪問活動による実態把握 | 9. その他() |
| 5. 医療機関からの情報提供 | |

3 サービスの利用状況（種類・量）

問6（1）～（5）は、調査月における介護予防ケアプランに含まれるサービス及びプログラムについて、お答えください。
 ※11月以降サービス開始する新規利用者の初回調査については、予定される回数等を記入してください。

問6 総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）の利用状況

(1) 現在、通所型サービス（総合事業）を利用していますか。【当てはまるもの全てに○】

また、利用している方は利用状況をお答えください。

1. 利用している 2. 利用していない	1. 通所介護（従来相当）	月	回
	2. 通所型サービスA（緩和した基準によるサービス）	月	回
	3. 通所型サービスB（住民主体による支援）	月	回
	4. 通所型サービスC（短期集中予防サービス）	月	回
	予定期間：西暦2020年 月～ 年 月		
	5. その他【具体的に：_____】	月	回

(2) 現在、訪問型サービス（総合事業）を利用していますか。【当てはまるもの全てに○】

また、利用している方は利用状況をお答えください。

1. 利用している 2. 利用していない	1. 訪問介護（従来相当）	月	回
	2. 訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）	月	回
	3. 訪問型サービスB（住民主体による支援）	月	回
	4. 訪問型サービスC（短期集中予防サービス）	月	回
	予定期間：西暦2020年 月～ 年 月		
	5. 訪問型サービスD（移動支援）	月	回
	6. その他【具体的に：_____】	月	回

(3) その他の生活支援サービス（総合事業）を利用していますか。【当てはまるもの全てに○】

1. 利用している 2. 利用していない	1. 栄養改善を目的とした配食
	2. 定期的な安否確認及び緊急時対応
	3. 訪問型サービス、通所型サービスと一体的提供等
	4. その他【具体的に：_____】

(要支援認定者のみ回答)

(4)現在、介護予防通所リハビリテーションを利用していますか。【当てはまるもの1つに○】

また、利用している方は利用回数をお答えください。

1. 利用している	→ 月 _____ 回
2. 利用していない	

(5)以下の介護予防サービスを利用していますか。【当てはまるもの全てに○】

1. 介護予防訪問入浴介護	6. 介護予防短期入所療養介護
2. 介護予防訪問看護	7. 介護予防居宅療養管理指導
3. 介護予防訪問リハビリテーション	8. 介護予防認知症対応型通所介護
4. 介護予防福祉用具貸与	9. 利用していない
5. 介護予防短期入所生活介護	

(要介護認定者のみ回答)

(6)現在、通所介護を利用していますか。【当てはまるもの1つに○】

また、利用している方は利用回数をお答えください。

1. 利用している	→ 月 _____ 回
2. 利用していない	

(7)現在、通所リハビリテーションを利用していますか。【当てはまるもの1つに○】

また、利用している方は利用回数をお答えください。

1. 利用している	→ 月 _____ 回
2. 利用していない	

(8)以下の介護サービスを利用していますか。【当てはまるもの全てに○】

1. 訪問介護	8. 福祉用具貸与
2. 訪問入浴介護	9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
3. 訪問看護	10. 夜間対応型訪問介護
4. 訪問リハビリテーション	11. 認知症対応型通所介護
5. 居宅療養管理指導	12. 地域密着型通所介護
6. 短期入所生活介護	13. 利用していない
7. 短期入所療養介護	

問7 介護予防に資する住民主体の「通いの場」(※)の利用

(※)介護予防に資する住民主体の通いの場 (保険者機能推進交付金評価指標における定義) ・体操や趣味活動等を行い介護予防に資すると市町村が判断する通いの場であること ・通いの場の運営主体は、住民であること ・通いの場の運営について、市町村が財政的支援(地域支援事業の一次予防事業、地域支援事業の任意事業、市町村の独自事業等)を行っているものに限らない
--

現在、総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)と並行して、介護予防に資する住民主体の通いの場に参加していますか。【当てはまるもの1つに○】

1. 参加している [月 _____ 回]
2. 参加していない

5 日常生活全般

問11 全体的にみて、過去1カ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。

【一番よく当てはまるもの1つに○】

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 最高に良い | 4. あまり良くない |
| 2. とても良い | 5. 良くない |
| 3. 良い | 6. ぜんぜん良くない |

問12 困ったときの相談相手がありますか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問13 日常生活を援助してくれる人がいますか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

▶(1) それは主に誰ですか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 配偶者 | 6. ホームヘルパー等のサービス事業者 |
| 2. 子ども・子どもの配偶者 | 7. 自治会の役員や民生委員等の地域の世話役 |
| 3. 孫・孫の配偶者 | 8. 隣近所の人や友人・知人 |
| 4. 兄弟姉妹 | 9. ボランティア |
| 5. 父母 | 10. その他() |

問14 日中、おもに過ごす場所はどこですか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|----------|------------------|
| 1. 自宅外 | 3. 自宅屋内(自分の部屋以外) |
| 2. 自宅敷地内 | 4. 自分の部屋 |

問15 日中、おもな過ごし方はどれですか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 自宅外の仕事(役割) | 4. 主にテレビ |
| 2. 家の仕事(役割) | 5. その他() |
| 3. 趣味 | 6. 特にない |

問16 お仕事をされていますか。【当てはまるもの1つに○】

- | |
|-------------------------------------|
| 1. している(農林漁業や自営、シルバー人材センター等での仕事も含む) |
| 2. していない |

問17 趣味はありますか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

6 基本チェックリスト

問22 以下の項目につき、「はい」か「いいえ」のいずれかに○を付けてください。

※ 12) については、身長と体重をご記入ください。

質問項目	回答	
1) バスや電車で1人で外出していますか。	はい	いいえ
2) 日用品の買物をしていますか。	はい	いいえ
3) 預貯金の出し入れをしていますか。	はい	いいえ
4) 友人の家を訪ねていますか。	はい	いいえ
5) 家族や友人の相談にのっていますか。	はい	いいえ
6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	はい	いいえ
7) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	はい	いいえ
8) 15分位続けて歩いていますか。	はい	いいえ
9) この1年間に転んだことがありますか。	はい	いいえ
10) 転倒に対する不安は大きいですか。	はい	いいえ
11) 6カ月くらいで2～3kg以上の体重減少がありましたか。	はい	いいえ
12) 身長 <input type="text"/> . <input type="text"/> cm 、 体重 <input type="text"/> . <input type="text"/> kg (それぞれ小数点一桁まで記入)		
13) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい	いいえ
14) お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい	いいえ
15) 口の渇きが気になりますか。	はい	いいえ
16) 週に1回以上は外出していますか。	はい	いいえ
17) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	はい	いいえ
18) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。	はい	いいえ
19) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	はい	いいえ
20) 今日が何月何日かわからない時がありますか。	はい	いいえ
21) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない。	はい	いいえ
22) (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。	はい	いいえ
23) (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。	はい	いいえ
24) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない。	はい	いいえ
25) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする。	はい	いいえ

7 サービス利用による生活態様の変化

問23 サービスを利用して、生活に変化がありましたか。

利用しているサービスごとに、**該当する項目すべてに○をつけてください。**

(1) 事業対象者

	生活の変化														
	外出する機会が増えた	友人・知人と話す機会が増えた	体調が良くなった	歩行や移動がしやすくなった	ものが食べやすくなった	生活に張りがでた	くよくよしなくなった	楽しみ・生きがいができた	一人で過ごす時間が減った	食事の栄養バランスがよくなった	掃除・洗濯や調理等の家事の習慣が ついた	定期的にとあうので安心して生活できるようになった	その他	特に変化はない	利用していない
通所型サービス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
訪問型サービス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

(2) 要支援認定者（要支援1・2）

	生活の変化															
	外出する機会が増えた	友人・知人と話す機会が増えた	体調が良くなった	歩行や移動がしやすくなった	ものが食べやすくなった	生活に張りがあった	くよくよしなくなった	楽しみ・生きがいがあった	一人で過ごす時間が減った	食事の栄養バランスがよくなった	掃除・洗濯や調理等の家事の習慣がついた	定期的な人とあうので安心して生活できるようになった	その他	特に変化はない	利用していない	
通所型サービス（総合事業）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
介護予防通所リハ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
その他の介護予防サービス	訪問型サービス（総合事業）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	介護予防訪問入浴	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	介護予防訪問看護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	介護予防訪問リハ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	介護予防福祉用具	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	介護予防短期入所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	介護予防居宅療養管理	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	介護予防認知症通所介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

(3) 要介護認定者（要介護1～5）

	生活の変化															
	外出する機会が増えた	友人・知人と話す機会が増えた	体調が良くなった	歩行や移動がしやすくなった	ものが食べやすくなった	生活に張りがあった	くよくよしなくなった	楽しみ・生きがいがあった	一人で過ごす時間が減った	食事の栄養バランスがよくなった	掃除・洗濯や調理等の家事の習慣がついた	定期的に人とあうので安心して生活できるようになった	その他	特に変化はない	利用していない	
通所型サービス（総合事業）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
通所介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
その他の総合事業・介護サービス	訪問型サービス（総合事業）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	訪問介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	訪問看護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	短期入所生活介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	地域密着型通所介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

8 サービス総合評価

問24 総合的に考えて、利用したサービスについて、満足していますか。
 また、効果があったと思いますか。
 サービスごとに、該当する項目すべてに○をつけてください。

(1) 事業対象者

	満足度						効果					
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	利用していない	効果があった	やや効果があった	どちらともいえない	あまり効果がなかった	効果がなかった	利用していない
通所型サービス(総合事業)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
訪問型サービス(総合事業)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
上記を総合して	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

(2) 要支援認定者（要支援1・2）

		満足度						効果					
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	利用していない	効果があった	やや効果があった	どちらともいえない	あまり効果がなかった	効果がなかった	利用していない
通所型サービス（総合事業）		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
介護予防通所リハ		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
その他の総合事業・介護予防サービス	訪問型サービス（総合事業）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	介護予防訪問入浴	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	介護予防訪問看護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	介護予防訪問リハ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	介護予防福祉用具	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	介護予防短期入所	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	介護予防居宅療養管理	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	介護予防認知症通所介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
上記を総合して		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

(3) 要介護認定者（要介護1～5）

	満足度						効果						
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	利用していない	効果があった	やや効果があった	どちらともいえない	あまり効果がなかった	効果がなかった	利用していない	
通所型サービス（総合事業）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
通所介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
その他の総合事業・介護サービス	訪問型サービス（総合事業）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	訪問介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	訪問看護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	短期入所生活介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	地域密着型通所介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
上記を総合して	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	

9 将来の介護希望について

『9 将来の介護希望について』は（初回のみ回答）

問25 あなたが、今後、心身の状態が悪化して本格的に介護が必要になった（要介護1以上になった）としたら、ご家族やご親族で介護してくれる人はいますか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

→ (1) それは主に誰ですか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 配偶者 | 4. 孫、孫の配偶者 |
| 2. 子ども | 5. 兄弟姉妹 |
| 3. 子どもの配偶者 | 6. その他（ ） |

→ (2) その方は現在、働いていますか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. フルタイムで働いている | 3. 働いていない |
| 2. パートタイムで働いている | 4. わからない |

※「パートタイム」とは「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

→ (3) その方は、あなたの介護が必要になった後も、働きながら介護を続けていけそうですか。【当てはまるもの1つに○】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 2. 問題はあるが、何とか続けていける | 5. わからない |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | |

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業に関する構成市町村調査票

[令和3年度地域支援事業実績報告書 別紙1 (様式1関係)]

別紙1(様式1関係)

令和3年度地域支援事業実績報告書

市町村名

事業区分	事業名	事業費(単位:円)				事業費財源別内訳				実施方法 委託先・その他	実施回数	利用者数(各事業ごとに個人数)			
		総事業費 A	寄付金その他の 収入額 B	一般財源 C	地域支援事業費 実績額 (A-B-C) D	地域支援事業	探検者機能強化地 域交付金	探検者努力支援交 付金	要支援1			要支援2	事業対象者	合計	
1	介護予防・日常生活支援総合事業	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
(1)	訪問型サービス(第1号訪問事業)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	ア 介護予防訪問介護相当サービス (国保連合会請求以外分)				0円										0人
	ア 介護予防訪問介護相当サービス(国保連合会請求以外分) 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	イ 訪問型サービスA(緩和した基準による サービス) (国保連合会請求以外分)				0円										0人
	イ 訪問型サービスA(第1号訪問事業) 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	ウ 訪問型サービスB(住民主体による支 援)				0円										0人
	ウ 訪問型サービスB(住民主体による支援) 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	エ 訪問型サービスC(短期集中予防サー ビス)				0円										0人
	エ 訪問型サービスC(短期集中予防サー ビス) 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	オ 訪問型サービスD(移動支援)				0円										0人
	オ 訪問型サービスD(移動支援) 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	カ その他				0円										0人
	カ その他 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
(2)	通所型サービス(第1号通所事業)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	ア 介護予防通所介護相当サービス (国保連合会請求以外分)				0円										0人
	ア 介護予防通所介護相当サービス 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	イ 通所型サービスA(緩和した基準による サービス) (国保連合会請求以外分)				0円										0人
	イ 通所型サービスA(緩和した基準によるサービス) 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	ウ 通所型サービスB(住民主体による支 援)				0円										0人
	ウ 通所型サービスB(住民主体による支援) 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	エ 通所型サービスC(短期集中予防サー ビス)				0円										0人
	エ 通所型サービスC(短期集中予防サー ビス) 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	オ その他				0円										0人
	オ その他 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
(3)	その他の生活支援サービス(第1号生活支援事業)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	ア 栄養改善を目的とした配食				0円										0人
	ア 栄養改善を目的とした配食 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	イ 定期的な安否確認及び緊急時の対応				0円										0人
	イ 定期的な安否確認及び緊急時の対応 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	ウ 訪問型サービス、通所型サービスと一 体的提供等				0円										0人
	ウ 訪問型サービス、通所型サービスと一 体的提供等 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
	エ その他				0円										0人
	エ その他 合計	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		0回	0人	0人	0人	0人
(4)	介護予防ケアマネジメント (国保連合会請求以外分)				0円										0人



福岡県介護保険広域連合

福岡県介護保険広域連合行政資料	
分類記号 BB	登録年度 4
	登録番号 2